

県議会レポート
令和5年(2023年)秋号

埼玉県議会議員 **新たな時代を切り拓く**

栄 さかえ ひるみ



発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
栄寛美県政事務所
〒344-0064
春日部市南 4-26-4 大島ハイツ 101
TEL：048-706-3256

■今年度の所属委員会 産業労働企業委員会 / 公社事業対策特別委員会 / 図書室委員会

県議会9月定例会報告

補正予算 **165億1,057万9千円**
【第2号】

コロナ支援継続・重要公共事業の追加・eスポーツ普及へ

県議会9月定例会は9月22日から10月13日にかけて開催され、一般会計補正予算【第2号】165億1,057万9千円の計上等を議決しました。

補正予算の主な内容は、高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続のための予算として69億4,946万6千円、重要な公共事業の追加予算として21億6,345万3千円、企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大のためのイベント開催に要する予算として1,062万9千円など、当面对応すべき事業に対する補正予算が盛り込まれました。



公共事業の追加 / 企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大

公共事業の追加

21億6,345万3千円

公共事業の内定増に伴う追加工事の実施

- 道路・街路事業 21箇所
- 河川事業 13箇所
- 公園事業 1箇所 計 35箇所

例：越谷野田線（松伏町）

- 地盤改良工事
- 工事着手の前倒し

（令和6年4月予定→令和5年10月予定）

例：飯盛川（坂戸市）

- 排水機場整備工事、用地買収
- 工事着手の前倒し

（令和6年4月予定→令和5年10月予定）

熊谷スポーツ文化公園（熊谷市）

- 損傷の激しい駐車場舗装の改修を実施
- 工事着手の前倒し

（令和6年4月予定→令和5年10月予定）



企業版ふるさと納税を活用したeスポーツイベントの開催

1,062万9千円

概要

eスポーツの普及・裾野拡大に向け、その地域活性化など多彩な可能性を実証するため、2つのイベントを開催

企業版ふるさと納税

(1) 普及イベント

- 対象：誰もが参加可能（参加無料）
- 内容：プロ選手エキシビジョンマッチ
・ビギナー向け体験会
・プロ選手との交流会 等



(2) トレーニングキャンプ

- 対象：高校生（公募25名程）
- 内容：プロチームによる指導（操作技術、戦術等）
・メンタル、食事等指導
・学校関係者、県内企業の見学受入れ 等



県全域で約59万人が参加し大成功!!

シェイクアウト埼玉へのご参加、ありがとうございました。

■実施日：令和5年9月1日 11時58分～ ■参加人数：594,476人

関東大震災から100年を契機に、県議会が中心となって県内一斉防災訓練を働きかけることで、県民をはじめ県内在勤・在学の方の「自助」「共助」の意識向上をめざし、シェイクアウト埼玉（埼玉県内一斉防災訓練）を実施させていただきました。多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。



春日部市の発展と安心・安全の実現に向け **東奔西走**

大野知事が春日部市を訪問

大野元裕知事は10月18日、「ふれあい訪問」で春日部市内の「春日部みどりのPARK」を訪問され、地元選出県議として同行しました。同施設は旧富多小学校跡地を利用し、次世代農業やロボティクスの研究開発を行っています。大野知事との意見交換も有意義な時間でした。



春日部市議会が県議会へ要望

春日部市議会の正副議長はじめ議員の皆さまが埼玉県議会を訪れ「東武アーバンパークライン利便性向上促進議員連盟」及び「東埼玉道路及び周辺整備建設促進議員連盟」に要望書を提出されました(10月4日)。

地元選出県議として、春日部市の皆さまの声にしっかりと応えてまいります!



防犯街頭キャンペーンに参加



春日部市・春日部警察署の方々と10月20日、ララガーデン春日部にて「防犯のまちづくり街頭キャンペーン」が行われ、県議会防犯のまちづくり推進議員連盟として参加しました。

自転車盗難や振り込め詐欺など、犯罪が後を絶ちません。地域で力を合わせて防犯のまちづくりを進めましょう!



「功労賞」を頂きました。

春日部市民の日(10月1日)、4年ぶりに「令和5年春日部市表彰式」が開催されました。私も市議会議員12年11ヶ月の取り組みに対して、岩谷一弘市長から「功労賞」をいただきました。



4年ぶりに商工まつり開催

「ふれあいフェスタ2023 第27回かすかべ商工まつり」が10月14日・15日の両日、大沼公園・市民体育館で4年ぶりに開催されました。

開会式では県議会議員を代表してお祝いのご挨拶をさせていただきました。



◀くす玉開きをさせていただきました。



県東部環境事務所にて協議

春日部市内の環境問題の調査で、杉戸町にある「埼玉県東部環境事務所」へ阿部まさかず市議会議員と伺いました。状況の確認や今後の県の協力をお願いしてきました。



九都県市合同防災訓練に出席

「第44回九都県市合同防災訓練」が8月27日、志木市役所・いろは親水公園等で開催され出席しました。

首都直下地震等の被害を最小限に食い止めるために、行政・消防・警察・気象庁などとともに、相互の連携協力体制の充実・強化、住民一人ひとりの防災知識や減災への備えの向上を目指して実施されました。



大野元裕知事と

元荒川水循環センターを視察



県議会自民党議員団1期生の仲間で、楢川市の「元荒川水循環センター」を視察してきました。

下水処理施設のほか、汚泥肥料化の実証実験装置などを見学させていただきました。

議員政策研修会に参加



議員研修会(主催・県議会議長)が9月22日に開催され参加しました。「チャットGPT等の生成AIとの付き合い方」をテーマにサイエンス作家の竹内薫氏による講演があり、たいへん参考になりました。



サビて危い道路標識を新しくものに!

道路標識が新しく付け替え

地域に方々からご要望頂いていた、サビて倒れそうな道路標識が新しく付け替えられました。

◀標識も見やすくなりました。

粕壁地区道路陥没現場を確認

地元・粕壁地区で発生した、道路陥没の現場を確認してまいりました。地中の雨水管からの水漏れが原因とのことですが、市が速やかに対応・復旧し、迂回していたバスも通常に戻りました。大事にならず一安心ですが、今後も日頃の調査や老朽管の対策など、しっかり取り組んでまいります。



大池通りの整備進行中

市議会議員の時から取り組んできました、春日部市南の「大池通り」の安全対策工事が順調に進んでいます。①舗装の打ちかえ(車道・歩道とも)②車道幅員を是正(その分歩道を広く)③歩道勾配を急勾配から2%以下へ(傾いた歩道を緩やかな傾斜へ)④ガードレールを設置(安全対策)の工事です。昨年度は354mの区間、今年度はさらに350mの区間の工事が進められています。



▲地域の方々から、道が痛んでいて渡りづらい、歩道が斜めで通行しづらい、またとても狭いとの声をいただいていた。粘り強く改善を要望し、ようやく実現しました。



県議会レポート
令和6年(2024年)冬号

埼玉県議会議員

新たな時代を切り拓く

栄 さかえ ひろみ



発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
栄ひろみ事務所
〒344-0064
春日部市南 4-26-4 大島ハイツ 101
TEL：048-706-3256

■今年度の所属委員会 産業労働企業委員会 / 公社事業対策特別委員会 / 図書室委員会

県議会
12月
定例会報告

物価高への緊急支援に **約115億円** 猛暑被害の農家支援に **約1億円** を議決



県議会議員として初めて一般質問を行いました。

県議会12月定例会は12月4日から22日の日程で開催され、一般会計補正予算【第3号】9,688万1千円、【第4号】18億1,140万4千円、【第5号】114億9,715万2千円等を議決しました。

補正予算【第3号】は、令和5年の夏の猛暑による水稲、大豆の高温障害を受け、次期作付けにかかる種苗や肥料購入経費を補助するための予算、補正予算【第4号】は、職員給与の改定等に伴う予算が主な内容となっています。

補正予算【第5号】は、物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するための、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づくものです。これまで県が進めてきた福祉・医療施設等への光熱費等の支援やLPガスを使う一般家庭への支援等に加え、トラック運送事業者に対する燃料費の支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減策、一人親家庭の子供の進学等への支援等が新たに盛り込まれました。

一般会計 補正予算【第3号】 9,688万1千円

*高温などによる水稲及び大豆の被害への対応(9,676万5千円)など。

一般会計 補正予算【第4号】 18億1,140万4千円

*人事委員会勧告及び報告を踏まえた職員給与の改定等に伴う給与費のため。

一般会計 補正予算【第5号】 114億9,715万2千円

*価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するため、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく補正予算を活用した予算。

《一般会計 補正後累計 2兆2,593億9,489万5千円》

県議として初の一般質問に登壇

(12月定例会 / 12月12日)

8項目14件について県の施策に質問・提言

県議会12月定例会では県議会議員として初めて一般質問を行いました。本号ではその中から「行財政改革の推進について」「観光振興について」「県東部地域の活性化と交通網の強化について」「地元問題：西宝珠花交差点の渋滞解消について」の4項目を抜粋し掲載いたします。県政に対するご意見やご要望、ご感想などをお寄せください。

▶一般質問の詳細(全文)は県議会のHPをご覧ください。



行財政改革の推進について

(1) 行財政改革におけるマインド変革について

Q 栄ひろみ 行財政改革の基本的な考え方の「4、変化の激しい時代に対応するためのマインド改革」では、「失敗を許容しつつ、不備や不足があればその都度、迅速に修正・改善を繰り返すアジャイルの姿勢を行動原則とすべき」とされています。この姿勢は、変化の激しい今、非常に重要な視点ですが、知事は具体的にどのような方策を行っているのか伺います。

A 大野知事 私は、前例のない取り組みは、最初から完璧を目指すのではなく、トライアンドエラーを繰り返しながら完成度を高めていく方針を打ち出し、DXの取り組みなどで実践をしています。通常の事業はPDCAサイクルを1年単位で回しますが、アジャイル型は数か月、数週間という短いサイクルで改善を行い、取り組みの精度を迅速に高めていきます。例えば、生成AIなど新たなツールの導入や、フリーアドレスのように前例のない取り組みを進める場合、まずは少数のモデルで試行と検証を行い、改善を加えながら徐々に取り組みの規模を拡大してまいります。今後も、アジャイルのマインドを全庁に浸透させ、スモールスタートと迅速な改善による成功事例を着実に積み上げて、行財政改革を推進してまい

(2) 県庁のデジタル化と県民等の利便性の向上について

Q 栄ひろみ デジタル化の推進について県民の利便性を高め、万全のセキュリティ対策を組み、目標値を超える勢いで積極的に行うべきと考え、以下3点の現状と課題、今後の取り組みについて、企画財政部長に伺います。①ワンスオンリー化やファクス廃止など、行政手続における県民・事業者の利便性向上について。②行政が保有するデータの利活用しやすい形式による公開や公開拡大について。③DX推進に当たり、セキュリティ対策について。

A 企画財政部長 行政手続のオンライン化は、令和5年4月時点でオンライン申請が可能な手続は3,435件、手続全体の77.2%となっています。一方、オンラインで申請された件数の割合は24.9%に留まり、より多くの方に活用いただくことが課題となっています。このため、法令等による阻害要因の解消を国に働き掛けるほか、ワンスオンリー申請システムの構築やバックオフィス連携による添付資料の省略等を一体的に推進し、更なる利便性向上に取り組めます。次に、本県は平成27年度にオープンデータポータルサイトを構築し、現在、県と市町村合わせて899件のデータの公開と活用事例の紹介等を行っています。令和4年度は55万件を超えるアクセスがありました。今後は利活用を広げるため、ポータルサイトのリニューアルを進めています。また、公開データの拡大に向

けるとともに、現在県が構築中の地理情報システムのデータの公開も検討します。

次に、セキュリティ対策についてです。職員がセキュリティに関する基本的な知識やルールを理解し、適切な対策を確実に講じられるよう、職位や階層に応じた情報セキュリティ研修や定期的な自己点検を実施しています。また、システム面の対策として、外部にメール送信する際、送信先を自動でBCC化する機能や、AIを活用して不審な通信を監視する仕組みなどを導入しています。DXの進展に伴いセキュリティ上の脅威も増大するとの認識の下、外部専門家の知見も活用しながら、今後もあらゆる対策を講じてまいります。



Q 栄ひろみ オンライン申請を利用されている方の割合がかなり低いようです。県行政手続のオンライン利用率のKPI、目標数値を超える勢いで推進を図っていただきたいと考えていますが、企画財政部長のご留意、意気込みを再確認させてください。

A 企画財政部長 行政手続のオンライン化を阻害する要因の解消が重要です。阻害要因の根拠が法令である場合には、法令改正を国に要望するとともに、県の判断で電子化できるものは速やかに電子化を進め、県民に利便性を実感していただけるよう、オンライン利用率の向上にしっかりと取り組んでまいります。

(3) 業務の効率化について

Q 栄ひろみ ボトムアップの業務改革では、必要な業務に時間を費やせる環境を生み出すため、省くことができる業務や優先順位の低い業務を実務担当者の視点を踏まえて積極的にやめていく業務改革、業務改善運動を実施するとあります。そこで、全庁横断での業務改革の推進状況と今後の見通しについて、企画財政部長に伺います。

A 企画財政部長 これまで音声認識AIの活用により議事録作成を省力化したり、RPAを活用して入力作業を自動化するなどの業務改革を推進してきました。今後はさらに、デジタルに任せられる仕事とそうでない仕事を仕分けるタスクトランスフォーメーション(TX)を重点的に推進します。業務の自動化・省力化に資するデジタルツールの積極的な導入と、ツールを使いこなすための職員のスキルアップが重要です。このため、令和5年度から生成AIやノーコードツールを試行的に導入し、様々な業務に効果的に活用する方策の研究を開始しています。今後、成功事例を横展開することにより、全庁横断的な業務改革を推進してまいります。

観光振興について

(1) いちご等の強みを活かしたグリーンツーリズム推進について

Q 栄ひろみ 本県の農作物は、安全でおいしい野菜や果物が豊富にあり、充実した観光農園、グリーンツーリズムが実施できると考えます。特にいちごでは、第1回全国いちご選手権において、春日部市の「あまりん」が最高金賞を受賞しました。また、令和5年3月には埼玉県が「プレミアムいちご県」として、日本野菜ソムリエ協会から全国初の認定を受けるなど、本県の大きな強みとすることが期待できます。そこで、農林部長にグリーンツーリズムも推進について所見を伺います。

A 農林部長 県では観光農園や農業体験、農産物直売所等の多彩な観光資源の情報をホームページで発信するなど、グリーンツーリズムを推進しています。令和5年度は「あまりん」をはじめ、県産いちごの新たなイベントを県内と都内で開催し、県産いちごの魅力を伝えるとともに、観光農園もPRすることで、県内への誘客を促進していきます。また令和5年はいちごのほか、1月の「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」の日本農業遺産認定、7月の「武蔵野の落ち葉堆肥農法」の世界農業遺産認定、9月の全国梨選手権の最高金賞受賞と本県農業に多くの魅力が加わりました。今後、新たに加わった魅力を含め、SNSを活用したPRをなど、本県の強みを生かしたグリーンツーリズムを推進してまいります。



←一般社団法人日本野菜ソムリエ協会主催「第1回全国いちご選手権」において最高金賞を受賞を受賞した「あまりん」(ヒロファーム)。

(2) 観光消費額の増加と専門家派遣等による現場でのサポートについて

Q 栄ひろみ 本県への滞在時間を延ばし、消費額の増加につなげるためには、点在している観光資源を複数の観光資源と関連づけ魅力ある広域の観光ルートを作成しPRしていくことや、ルート上の観光施設の割引サービスなどの展開が考えられます。また、新たな観光コンテンツを生み出せるように、現場でサポートすることも重要と考えます。埼玉県観光づくり基本計画では、観光消費額を令和8年に7,400億円という目標を掲げています。今後、どのように本県の観光消費額を増加させていくのか。また、観光コンテンツ創出のため、専門家派遣等により現場でサポートすべきと考えますが、産業労働部長の所見を伺います。

A 産業労働部長 県公式観光サイト「ちよこたび埼玉」では、観光スポットの紹介に合わせ、周辺の見どころや飲食店、土産物店、宿泊施設を掲載し、プ

ラスアルファの消費を促しています。また、現在は話題の映画「翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～」のロケ地と、その近隣の観光スポットやグルメを紹介するマップを作成し、映画をきっかけとした県内の周遊を促進しています。

一方、県DMOでは、リゾート地や観光地で働きながら休暇を取るワーケーションに注目し、令和5年度から、秩父地域などの宿泊施設と連携したプランの販売を行い、首都圏のファミリー層から人気を博しています。引き続き県観光プロモーション戦略会議にも諮りながら検討を続けてまいります。

次に、県DMOは、各地域の観光コンテンツの創出を支援しています。令和5年7月には、以前旅行会社で商品企画やマーケティングを行っていた人材を採用。例えば、東松山市観光協会から新たな魅力づくりに関する相談を受け、現状分析などの支援を行っています。また、県北・秩父地域の観光協会等で構成する協議会と連携して、新たな観光ルートづくりにつなげる、人流データの活用に関する勉強会も予定しています。県としては、県DMOの取り組みを支援するとともに、観光コンテンツの創出に向けた各地域の取り組みをサポートする手法について更に検討してまいります。

県東部地域の活性化と交通網の強化について

(1) 春日部駅付近連続立体交差事業について

Q 栄ひろみ 現在進行中のプロジェクト、春日部駅付近連続立体交差事業について、①鉄道の高架化区間の用地取得の進捗状況、工事の進捗状況、都市計画道路袋陣屋線の進捗状況について伺います。②春日部市にとって重要な事業であり、早期完成を望む声がありますが、今後の見通しについて伺います。

A 県土整備部長 現在の用地取得と借地を合わせた進捗状況は約75%となっています。工事の進捗状況は現在、伊勢崎線上下線の仮線路の敷設工事や、仮ホームの設置工事などを進めています。

次に、袋陣屋線は、春日部駅付近連続立体交差事業にあわせて、令和2年度から県道さいたま春日部線の市役所通り入口交差点と成就院付近の交差点の間の延長503mで事業を進めています。令和4年度から用地取得に着手し、現在の用地買収率は約43%となっており、令和5年度は、用地取得及び道路詳細設計を実施しています。



▲春日部駅付近連続立体交差事業イメージ図(春日部市HPから)

これらの事業は計画どおり順調に進んでおり、引き続き、地元の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、東武鉄道や春日部市と連携を図り、春日部駅付近連続立体交差事業の推進に全力で取り組みます。

(2) 東武野田線の更なる利便性向上について

Q 栄ひろみ 大宮駅のグランドセントラルステーション化構想では、東西通路の整備に合わせた乗換え改善を実施するなど、広域交通結節点としての駅機能の高度化を図るとされています。また、知事が初当選した際の政策集では、大宮駅を拠点とした東日本連携及び埼玉高速鉄道延伸を前提に、東武線をも巻き込んだ交通の便の向上の取り組みを進めようとしていたことが、2期目に向けた政策集にこの項目はなく、いざさか寂しい思いがします。

春日部駅は連続立体交差事業で高架化され、野田線のホームが現在の1面2線から2面4線に拡張され、将来の輸送需要の変化にも柔軟に対応できるようになります。春日部駅の高架化は、東武野田線の全線複線化に向け大きなきっかけになるのではないのでしょうか。改めて大宮駅のグランドセントラルステーション化構想や東武野田線の複線化を積極的に推進し、東西交通網の強化に本腰を入れて取り組むべきと考えますが、企画財政部長の所見を伺います。

A 企画財政部長 さいたま市が策定した大宮駅グランドセントラルステーション化構想については、県も市が設置した推進会議やまちづくり調整会議に参画し、積極的に協力をしています。

東武野田線の複線化については、沿線市町で構成する協議会から要望を頂いており、県としても、東武鉄道に毎年度、要望活動を行っています。東武鉄道からは、現状の需要動向を勘案すると複線化の早期実現は難しいとの回答ですが、引き続き粘り強く要望をしてまいります。沿線市町とより一層緊密に連携をするとともに、鉄道事業者に対してしっかりと働き掛けをしてまいります。

地元問題 西宝珠花交差点の渋滞解消について

Q 栄ひろみ 宝珠花橋に向かう手前の西宝珠花交差点は、朝晩に車列が長く続き慢性的な渋滞となっています。特に宝珠花橋を渡り、千葉県からすぐに茨城県に入る有料道路が無料化され、この道路を目指す車両の増加で渋滞が更に悪化したと聞いています。また弊害として、渋滞を避けるため住宅街を通行する車両が増え、地域住民も苦慮しています。この件は、地元市議会議員、自治会長とともに越谷県土整備事務所に相談もしています。西宝珠花交差点の渋滞解消について、県土整備部長に見解を伺います。

A 県土整備部長 西宝珠花交差点の渋滞解消については、まずは交通状況の調査を行い、混雑の原因や対策について検討してまいります。



県議会レポート
令和6年(2024年)春号

埼玉県議会議員

新たな時代を切り拓く

栄 さかえ ひろみ



発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
栄寛美県政事務所
〒344-0064
春日部市南 4-26-4 大島ハイツ 101
TEL：048-706-3256

■今年度の所属委員会 総務県民生活委員会 / 地方創生・行財政改革特別委員会

駆け抜けた県議会議員の1年目



公社事業対策特別委員会室前にて(2月定例会)

令和5年5月に県議会議員として、1期目の任期をスタートして約1年となりました。

1年目は産業労働企業委員会、公社事業対策特別委員会、図書室委員会に所属して、議会活動を行ってまいりました。2年目は、総務県民生活委員会、地方創生・行財政改革特別委員会、予算特別委員会に所属が決まりました。

1期目の新人のため、初めてのことばかりでしたが、1年間の間、県議会議員として様々な経験をさせていただきました。

これからも県政の課題に真摯に取り組んでまいります。地域の皆様のご意見・ご要望などをぜひお寄せください。

埼玉県議会議員 栄ひろみ

令和6年度当初予算が可決しました!

県議会2月定例会では、令和6年度一般会計当初予算2兆1,197億4,400万円を議決しました。

埼玉県は今、人口減少・超少子高齢社会の到来、そして激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応という2つの大きな課題に直面しています。また、社会の在り方が変化し、多種多様な価値観が広がっている中、県民全ての人々が活躍でき、安心して暮らせる社会の

実現が、一層強く求められています。

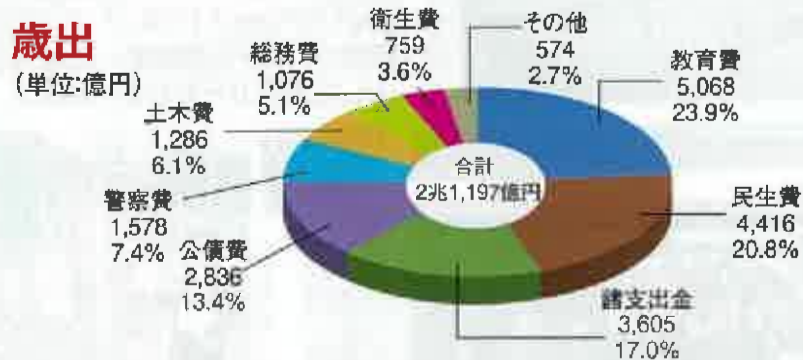
令和6年度当初予算は、これらの課題に真摯に挑戦する、未来を切り拓く内容となっています。初めての予算議会でしたが、予算特別委員会において詳細に審査が行われました。

知事が掲げる「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けて、これからも全力で働いてまいります。

令和6年度一般会計当初予算



●県税収入は、個人県民税や法人二税など8,052億円を計上
●県債は、臨時財政対策債や緊急防災・減災事業債など1,802億円を計上
●国庫支出金は、義務教育費負担金や社会資本整備総合交付金など1,661億円を計上



●教育費は、教職員給与費や県立学校大規模改修費など5,068億円を計上
●民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金、新たな児童相談所の整備など4,416億円を計上
●諸支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、他会計への支出金など3,605億円を計上

令和6年度 地元・春日部市の主な県事業

令和6年度において予算を確保することができました。春日部市内の主な県事業(インフラ整備)をご報告します。今後も地域の発展と安心・安全の実現に向け全力で邁進してまいります。

県土整備部 令和6年度当初予算

路線名等	事業内容
① 袋陣屋線	街路改良事業(L=510m、W=10.0(18.0)m)
② 袋陣屋線	街路整備(L=510m、W=10.0(18.0)m)
③ 東武鉄道伊勢崎線・野田線	連続立体交差事業(L=3,500m)
④ 東武鉄道伊勢崎線・野田線	連続立体交差事業(L=3,500m)
⑤ 大場大枝線	街路改良事業(L=1,046m、W=6.0(16.0)m)
⑥ 野田岩槻線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=430m、W=6.0(18.0)m)
⑦ 西金野井春日部線	橋りょう架換(L=1,050m、W=6.0(12.0)m)
⑧ 野田岩槻線	道路改築(L=430m、W=6.0(18.0)m)
⑨ 春日部松伏線(赤沼)	舗装道整備(舗装修繕、W=5.9m、L=500m)
⑩ 松伏春日部関宿線(下柳)	舗装道整備(舗装修繕、W=6.1m、L=300m)
⑪ 宝珠花橋(次木杉戸線)	橋りょう修繕(補修設計、塗替え塗装)
⑫ 古岡田川	河川改修(橋梁架換工)
⑬ 会之堀川	河川改修(護岸工、測量設計)
⑭ 新方川	河川改修(樋門整備工、借地)
⑮ 中川	河川改修(河道掘削)
⑯ 古岡田川	河川改修(橋梁架換工、借地)
⑰ 新方川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(橋梁架換工)
⑱ 大落古利根川	河川改修(河川管理施設修繕)
⑲ 大落古利根川	川の再生推進(設計、遊歩道整備工)

①②補1 袋陣屋線



▲街路改良



令和5年度2月補正予算《国の補正対応分》

路線名等	事業内容
補1 袋陣屋線	街路改良事業(L=510m、W=10.0(18.0)m)
補2 野田岩槻線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=430m、W=6.0(18.0)m)
補3 古岡田川(城殿宮橋下流)	社会資本整備総合交付金(河川)事業(橋梁架換工、用地買収、測量設計)

A 産業基盤整備事業(赤沼・銚子口地区)



▲可能性調査の調査区域(産業団地の区域を示したものではありません)

赤沼・銚子口地区では、広域幹線道路である東埼玉道路連絡線の交通結節点としての利便性を生かした産業団地の整備に向け準備が着々と進んでいます。

春日部市は「第2次総合振興計画」において、赤沼・銚子口地区を産業集積検討ゾーンとして位置付け、事業主体となる県との共同事業により産業団地整備を行う計画です。

私も昨年の一般質問(令和5年12月定例会)にて、赤沼・銚子口地区の産業団地整備の見通しについて質問したところ、県は「現在、調整池などの工事費を精査・検証している。春日部市の取り組みと連携して事業化に向け進めたい」との答弁を得ています。

今後も事業がスピード感をもって進むよう、事業主体となる県と市との架け橋として、しっかり取り組んでまいります。

⑥⑧補2 野田岩槻線



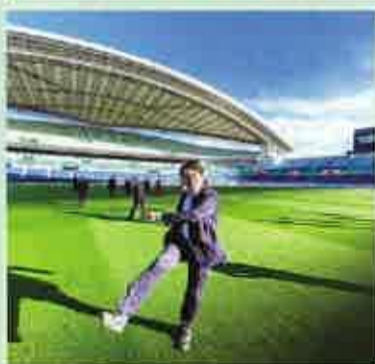
▲街路改築

⑥大場大枝線



▲街路改築

公社事業対策特別委員会視察



公社事業対策特別委員会の視察で「埼玉スタジアム2002」と「さいたまスーパーアリーナ」を視察しました(2月1日)。

「埼玉スタジアム2002」では芝のピッチに入れていただき、施設の状況や経営状況について色々伺いました。「さいたまスーパーアリーナ」では、オリンピックでバスケットボールの会場となったレガシーとして、展示が行われていました。



▲埼玉スタジアム2002にて



▲さいたまスーパーアリーナにて

彩の国ビジネスアリーナ2024を視察

さいたまスーパーアリーナで開催された「彩の国ビジネスアリーナ2024」を視察しました。埼玉県が主催するビジネスマッチングイベントです。「第1回埼玉DX大賞」の受賞企業やサーキュラーエコノミー関連、ロボット、先端産業、スポーツ産業など多くの企業の皆さまのお話を伺うことができました。また、地元春日部市から出展されている企業の皆さまを激励させていただきました。



東武鉄道株式会社へ要望活動



2月19日、東武鉄道株式会社本社を訪問し、春日部駅付近連続立体交差事業の早期完成や利便性・安全性のさらなる向上などを求める要望書を提出しました。



34 春日部駅高架化事業(東武伊勢崎線・野田線)

春日部駅付近には、4箇所の「開かずの踏切」を含む10箇所の踏切があり、多くの歩行者、自転車、自動車の交通の妨げとなっています。特に、県道さいたま春日部線の踏切はピーク時には1時間あたり53分遮断する開かずの踏切となっています。このような状況を解消するため、鉄道を高架化し、複数の踏切を撤却することにより、利便性の向上や交通安全の確保はもとより、地域の賑わいの創出と中心市街地の一体化を図る事業です。



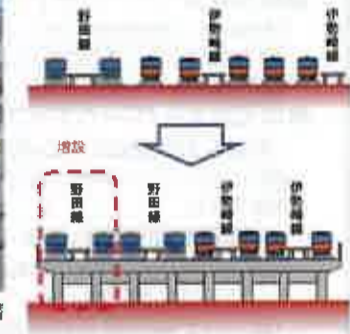
▲春日部駅東口仮駅舎(2月6日撮影)



▲伊勢崎線仮上りホーム(2月26日撮影)



▲春日部駅(3月21日撮影)。現在は伊勢崎線仮上り線の切替に向けて、順次、工事が進められています。



▲橋りょう架け換え

～埼玉県産いちごが熱い～ あまりんが最高金賞受賞!

日本野菜ソムリエ協会主催の「第2回全国いちご選手権」にて、本県のいちご「あまりん(市川いちご園)」が最高金賞を受賞しました(2月7日)。プレミアムいちご県に、全国初2年連続して認定されました。昨年は春日部市のあまりんが全国いちご選手権で最高金賞を受賞しています。お近くの量販店で見つけた際は、ぜひご賞味ください!

かおりん	あまりん	べにたま
		
香り押し! 酸味と甘味が高く豊かな香り。張りのある食感に濃厚な味わい。	甘さ押し! 際立つ甘さと深みのある味わい。鮮やかな赤色に美しい色ツヤ。	バランス押し! 高い糖度と爽やかな酸味。果実のルビー色と真っ白な果肉のコントラストも綺麗。



▲河川改修(護岸工、測量設計)



産業労働企業委員会視察

産業労働企業委員会の視察で、麻布台ヒルズ内にある「TOKYO VENTURE CAPITAL HUB」と、志木市の「利根導水総合事業所 秋ヶ瀬管理所」を視察しました。

「TOKYO VENTURE CAPITAL HUB」は日本初の大規模なVC、CVCの集積拠点で、スタートアップ企業とベンチャーキャピタルを結びつけるだけでなく、VC同士の先端情報の共有などにより、VCによるスタートアップ企業への投資等を促す取り組みを展開しています。また、「独立行政法人水資源機構 利根導水総合事業所」は、埼玉県をはじめ首都圏約1,670万人に水道用水を供給しています。特に、大規模地震対策事業として、耐震性を有する水路の新設などによる安定供給について視察・調査をしました。



▲TOKYO VENTURE CAPITAL HUBにて



▲利根導水総合事業所 秋ヶ瀬管理所にて

大風の文字書きに参加

5月3日と5日に開催予定の「春日部大風あげ祭り」に向け、百景敷きの大風に文字を書き入れる「大風の文字書き」に参加しました(2月28日)。今年の大風文字は「大風」(制作:上若組)と「昇龍」(制作:下若組)です。



▲岩谷一弘市長と

古利根川清掃活動に参加

「第51回 古利根川清掃」が3月3日に行われ参加しました。自治会、団体、企業等の多くの皆さまが参加しての一斉清掃です。今回は64団体、2,889人の方が参加され、可燃物1,660kg、不燃物480kgのゴミが収集されました。古利根川は、年々きれいになっていると感じています!



令和6年度の主な施策(概要)

令和6年度当初予算の詳細については、
二次元コードを読み込み県のホーム
ページをご覧ください。



～歴史的課題への挑戦 1 人口減少・超少子高齢社会への対応～

1. 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上 9億1,168万円

- デジタルトランスフォーメーションの推進・DX推進事業..... 7億954万円
 - 全庁GIS基盤搭載業務の拡大、● メタバース空間の整備、● セキュアな生成AI基盤の構築、● ノーコードツールの全庁導入、他
- 公金収納DXの推進・県有施設等への更なるキャッシュレス化推進事業..... 1,851万円
 - 県有施設等へのキャッシュレス環境の整備、他
- 学校教育のデジタル化の推進・電子出願システム導入事業..... 1億1,740万円
 - 入学者選抜における電子出願の実施、● 入学選考手数料の電子収納の実施
- 中小企業のDX推進・県内企業デジタルトランスフォーメーション推進..... 6,623万円
 - DXを目指す企業へのオーダーメイド型支援、他

2. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現..... 26億4,889万円

- 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進事業..... 3億4,945万円
 - 市町村と企業等のマッチングを行うガバメントピッチの充実(開催回数を2回(最大4日間)に拡充)、● 市町村と企業等の交流会の充実(開催回数を3回(計3日間)に拡充)、他
- 埼玉版スーパー・シティプロジェクトを加速させる新たな市町村支援
 - 地域公共交通DX・コンパクトネットワーク促進事業..... 4,000万円
 - 「地域まちづくり計画」に基づく市町村の公共交通分野の取り組みに対する上乗せ補助を行う。
 - 介護基盤整備促進事業..... 3,200万円
 - 既存の国庫補助事業の補助基準額に加えて、独自に上乗せ補助を実施する市町村に対し新たに補助を行う。
 - 新たな子供支援活動拠点の整備促進事業..... 1,200万円
 - 子どもの居場所を中心として、多様な主体の交流機能と助け合い機能を付加した子供支援活動拠点を整備する市町村に対し新たに補助を行う。
 - 地域商業活性化支援事業..... 1,550万円
 - 商店街の空き店舗活用を支援する市町村に対し新たに補助を行う。
 - 既存住宅流通促進事業..... 4,000万円
 - 市町村の空き家バンクの空き家購入者への改修費補助に対する新たな補助。市町村の空き家バンクの空き家を活用した、地域の活性化に資する取り組みに対する新たな補助。
- 埼玉版スーパー・シティプロジェクト市町村事業と連動して実施する県事業
 - スーパー・シティまちづくり支援県道整備事業..... 5億5,200万円
 - 県道整備(電線の地中化、スマート交通システム基盤整備、道路ネットワークの構築)
 - スーパー・シティまちづくり支援事業(水辺deベンチャーチャレンジ)..... 7,000万円
 - 水辺deベンチャーチャレンジ(河川管理施設や河川敷地など水辺環境を整備)
 - スーパー・シティまちづくり支援事業(浮きウキカーボンニュートラル)..... 5,000万円
 - 浮きウキカーボンニュートラル(県管理調節池を活用した太陽光発電設備を設置する市町村を支援するための基盤整備)
 - 地域脱炭素化×エネルギーレジリエンス強化事業..... 2,300万円
 - 県有施設における再エネ活用設備の導入に係る設計
- 「渋沢栄一起業家サロン(仮称)」イノベーション創出支援事業..... 1億9,436万円
 - サロンの開設準備、● スタートアップ起業志望者に対する支援、● イノベーション人材の育成、他
- 「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」の整備
 - 整備事業(3か年継続事業第1年次)..... 7億2,813万円
 - 農大跡地活用等推進事業..... 1億1,408万円
 - センターの建設、● アグリテック フードテックの促進、他

- サーキュラーエコノミーの推進..... 3億5,567万円
 - 埋立跡地を活用した資源循環モデル整備事業..... 5,445万円
 - 廃棄物処理業者のリサイクル技術高度化支援、● 埼玉県SDGs官民連携プラットフォームを活用したサーキュラーエコノミーの推進、● サーキュラーエコノミー推進センター埼玉による支援、● サーキュラーデザイン リーディングモデル構築支援、● 食のサーキュラーエコノミーリーディングモデル構築支援、● サーキュラーエコノミービジネスプランコンテストの開催、● 資源循環農場・公園の整備、他

3. あんしんしあわせ たのしい 子育て支援の充実..... 45億7,931万円

- 子供等の意見を反映した「こどもまんなか社会」推進事業..... 1,353万円
 - こども県政サポーター(仮称)の募集、及び同システムの構築、他
- プロスポーツチーム等と連携した「出会いのきっかけづくり」
 - 家族形成に向けた気運の醸成..... 1,438万円
 - プロスポーツチーム等と連携した婚活イベントの開催、● 様々な情報発信、他
- 子育て世帯の医療費負担の軽減・こども医療費助成..... 37億6,910万円
 - 補助対象の拡大(対象年齢を「通院」は就学前児童から小学校3年生まで、「入院」は就学前児童から中学校3年生までに拡大するとともに所得制限を撤廃)
- 困難を抱える妊産婦が安心して出産・子育てできるための支援
 - 妊婦緊急一時受入れ事業..... 704万円
 - 安心して生活できる場のない妊婦に緊急一時的な居場所を提供
 - 妊産婦等生活援助事業..... 2,613万円
 - 困難を抱える妊産婦等に生活支援、● 養育が困難な妊産婦等に相談支援
- 保育士の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的取り組みの推進
 - 潜在保育士活躍応援事業..... 3,224万円
 - 潜在保育士に対する情報発信とポータルサイトの構築、他
 - 保育士研修等事業(うち、保育補助者雇上強化事業)..... 2億9,500万円
- 男性の家事・育児参加の促進
 - 男性の育児取得推進事業..... 567万円
 - 企業と連携した男性の家事・育児参加推進事業..... 1,290万円
 - 男性の育児休業取得の推進、● ハンドブック(仮称)の作成及びセミナーの実施
- こどもの居場所づくりの支援
 - こどもの居場所等地域ネットワーク支援事業..... 2,811万円
 - 地域におけるこどもの居場所支援団体育成事業..... 900万円
 - 新たな子供支援活動拠点の整備、● こどもの居場所等地域ネットワークの立上げ支援、● こどもの居場所支援団体の育成
 - パーチャルユースセンター(仮称)の設置事業..... 1,886万円
 - パーチャルユースセンター(仮称)の設置・試験運用
- 放課後児童クラブの充実・放課後児童クラブ待機児童解消支援事業..... 1,257万円
 - 待機児童解消のための緊急対策、● 待機児童対策検討のための調査・研究
- 児童虐待防止対策の強化
 - 子供の見守り支援事業..... 3,018万円
 - 課題を抱える子供や家庭に対する支援を実施する市町村に補助
 - 一時保護所環境改善・機能強化推進事業..... 1億453万円
- 社会的養育の充実
 - 子供の意見表明等推進事業..... 718万円
 - 児童養護施設等体制強化事業..... 7,500万円
 - 里親委託推進事業..... 6,751万円
 - 児童養護施設等職員の家賃負担軽減事業..... 3,836万円
 - 権利擁護のための支援体制の整備、● 児童養護施設等の人材確保、● 乳児院における医療機関連携強化、● 里親支援センターの設置、他



(1万円未満：四捨五入)

～歴史的課題への挑戦 2 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え～

災害対応力の底上げと自然災害・新たな感染症への備え..... 131億8,982万円

- 災害対応力強化推進(埼玉版FEMA)..... 1,758万円
 - 新たなシナリオの作成及び図上訓練、● 指揮命令権者訓練、他
- ドローンを活用した発災初期の情報収集力強化
 - DXを活用した災害対応力の強化事業..... 735万円
 - ドローンを活用した災害現場の上空緊急観測の実証実験
- ジェンダーの視点による避難所開設・運営の充実強化事業..... 919万円
 - ジェンダー視点による避難所開設・運営の充実強化、他
- 埼玉版流域治水対策の推進..... 123億2,399万円

- 洪水予報河川の拡大と水位予測モデルの構築、● 新たな河川管理施設整備に向けた調査・検討、● 道路整備における雨水貯留施設設置等、他
- 安全・安心を確保するための道路の維持管理・道路情報強化事業..... 7,200万円
 - 道路冠水常襲箇所への対策の実施
- 新たな感染症への備え・新興感染症対策事業費..... 7億5,972万円
 - 協定締結医療機関の施設・設備整備支援、● 新興感染症発生初期の検査実施体制の整備、● 地域の関係者の連携強化、他



(1万円未満：四捨五入)

栄寛美県政事務所

〒344-0064

春日部市南 4-26-4 大島ハイツ 101

TEL : 048-706-3256



ホームページ



Facebook



X



YouTube

県政たより

2023.8 Vol.1

埼玉県議会議員

誠実・決断・実行力

しぶやまみこ



所属委員会 総務県民生活委員会／経済・雇用対策特別委員会

発行：埼玉県議会自由民主党議員団

皆さまの負託に応えるため 全力で働きます！

埼玉県議会議員就任から、早いもので三カ月が経ちました。日々勉強をしながら、県民の皆さまの負託に応えなければと、身の引き締まる思いであります。

私は今期、総務県民生活委員会と、経済・雇用対策特別委員会に所属しております。総務県民生活委員会では、自動車税(環境性能割)の燃料基準引き上げの趣旨について、県民生活第一の観点から質問いたしました。経済・雇用対策特別委員会では、県内高校生への就職支援と、県による公共事業の地元事業者発注のための取り組み等について質問させていただきました。

郷土の人材育成、産業振興、ひいては日本の発展のために、県議会自民党議員団総勢58名の仲間とともに、皆さまの声を取りこぼさず、小さなことから大きなことまで、しっかりと受け止めて県政へ反映させるべく、全力で取り組んで参ります。

今後とも皆さまのより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりよろしくお願ひ申し上げます。



5月16日、県議会において「初顔合わせ会」が行われました。写真は議事堂1階ロビーにて、議員登壇ランプを初めて押した様子。



埼玉県

県議会5月臨時会・6月定例会報告

※県の施策の詳細は県HPをご参照ください。

大型補正予算約183億8千万円を議決

選挙後初となる県議会は5月23・24日に「5月臨時会」が開催され、令和5年度第1号補正予算183億8,387万9千円の計上等を議決しました。また、6月19日からは「6月定例会」が開催され、「埼玉県税条例の一部を改正する条例」などを議決し7月7日に閉会しました。

5月臨時会で議決した第1号補正予算は、国の「物価高克服に向けた追加策」に対応した、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者への支援策です。その概要は右記の通りとなります。

- ①物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援 **46億7,877万8千円**
- ②物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援 **115億4,191万1千円**
- ③物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援 **21億6,319万円**

農業者等の免税軽油の利用環境改善へ

6月定例会で議決した「埼玉県税条例の一部を改正する条例」は、主に自動車税(環境性能割)と軽油引取税の改正です。

軽油引取税の改正は、原油価格の高騰を受け、県への報告頻度を年1回に簡素化し、より免税軽油が利用しやすい環境とすることで、農業者等の税負担の軽減を図るものです。(詳細は下表を参照)

埼玉県税条例の一部を改正する条例

条例の概要

概要

<自動車税(環境性能割)>

地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率の基となる燃費基準の達成度合いを段階的に引き上げる。

<軽油引取税>

トラクターや掘削機など公道を走らない車両の軽油は、免税を受けることが可能。この免税軽油の利用者のうち**農業者等**について、軽油購入数量等の報告頻度を緩和する。

○緩和の内容(購入数量が年間3キロリットル以下の場合)

現行		改正案
区分	報告頻度	
免税1年目	毎月	1年に一度
2年目以降	1年に一度	



物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援(一例)

子供の居場所づくり拡大への支援強化 2億3,209万2千円

概要

子供たちが安心して過ごすことのできる「子供の居場所」を拡大するため、パッケージで支援するとともに、夏休み期間の子供の食事を確保



内容

- (1) 活動を支える地域ネットワークの立ち上げ促進・強化
 > 拠点となる地域ネットワークの設置等に必要経費を補助
 (市町村等NW 上限300万円×30団体、県域NW 上限500万円×3団体)
 > 専門家による助言
- (2) 新たな居場所の運営を担う人材の発掘・育成に向けた入門動画の作成・配信等
- (3) 支援企業と運営団体等が交流できるイベントの実施
- (4) 夏休み期間、子供の居場所等を通じレトルト食品(30万食)を提供

学校給食等の物価高騰に直面する保護者等に対する支援 9,003万1千円

概要

保護者等の負担増加を回避するため、県立及び私立の学校に対し、緊急的措置として給食費等の物価高騰相当額を補助

補助内容

> 学校給食等の食材価格高騰相当額を学校に対し補助
(例)一食当たり300円から354円に高騰した場合 価格高騰相当分54円を補助



地元・川越と県政の架け橋として全力で働きます!

「初顔合わせ会」に出席



5月16日、県議会議員が選挙後初めて一堂に会する「初顔合わせ会」が開かれました。大野元裕知事は「県議会と切磋琢磨し、あるいは車の両輪のように協力して、県政を前に進めていきたい」と挨拶されました。

◀大野知事から激励のお言葉を賜り、身の引き締まる思いです。

▶自民党議員団に所属する同期の仲間と。前列左から栄寛美県議(春日部市)須賀昭夫県議(川越市)、森伊久磨県議(蓮田市)、金子裕太郎県議(鴻巣市)、私、林薫県議(さいたま市南区)。後列左から尾花瑛仁県議(上尾市・伊奈町)、長峰秀和県議(鶴ヶ島市)、東山徹県議(狭山市)、大野元裕知事、渡辺聡一郎県議(白岡市・宮代町)、松本義明県議(入間市)、鈴木理裕県議(熊谷市)。



総務県民生活委員会報告



6月定例会で総務県民生活委員会に付託された議案は「地方税法の一部改正に伴い、自動車税の環境性能割の税率適用区分を改める等するとともに、併せて農業を営む者等の免税軽油の引取り等に係る報告の期限の特例を定めるための「埼玉県税条例の一部を改正する条例」の1件でした。

また当面する行政課題として「屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設について」などの報告がされました。

川越警察署へ要望活動

5月15日、地域の代表の方と川越警察署へ伺い、市内の交通危険箇所などの交通安全標識の整備を要望しました。



大野知事が川越をふれあい訪問



大野知事が5月10日、「ふれあい訪問」として川越市内の「有限会社大野農場」を訪問され、地元選出県議として同席しました。

小江戸黒豚の飼育に始まりチョウザメの養殖事業、オリーブオイルの栽培事業など、生産者としての熱意とこだわりが強く伝わりました。

▶チョウザメのお刺身やキャビアを試食させていただきました。本当に美味でした!



利根川水系連合・総合水防演習に出席

第71回利根川水系連合・総合水防演習が5月27日、利根川右岸新上武大橋下流にて開催され出席しました。

地元水防団による水防訓練、自衛隊等の救出・救護訓練、非常食炊出訓練など地域防災力の強化及び推進に資する総合的な水防演習が行われました。

▶立石議長はじめ水防演習に出席されていた県議と。左から阿左美健司県議(秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・東秩父村)、杉田茂実県議(熊谷市)、立石泰広県議会議長(川口市)、齊藤邦明県議(本庄市・神川町・上里町)と私。



狭山茶摘みフェスタに出席

6月3日(土曜日)、「狭山茶摘み体験フェスタ2023」が6月3日、埼玉県茶業研究所で開催され出席しました。茶摘み体験をはじめ、お茶の製造過程などを見学させていただきました。

◀かすりの着物、姉さんかぶりの茶姫の皆さんと。

女性団体連絡協議会総会に出席

5月13日、川越市女性団体連絡協議会総会が開催され、地元選出の県議としてお祝いのご挨拶をさせていただきました。

同連絡協議会は1998年に設立され、現在22団体が加盟し相互に情報を交換し協力しあうことにより、女性も男性も住みやすい男女共同参画社会を実現するために活動しています。



倉ヶ谷戸堰水利組合の堀浚い

「倉ヶ谷戸堰水利組合の堀浚い」が9月29日に行われ参加しました。

古谷小学校運動会に参加

川越市立古谷小学校運動会が5月20日に開催され、地元選出県議として参加させていただきました。



埼玉県政に対する意見や要望など、皆さまの声をお寄せください。

しぶや まみこ 政務活動事務所

〒350-0001 川越市古谷上5928-3
TEL:049-235-7100 FAX:049-277-8473
mail:info@shibuya-mamiko.jp



ツイッター、フェイスブック、インスタグラムで情報発信中!!

県政たより

2024.1 Vol.2

埼玉県議会議員

誠実・決断・実行力

しぶやまみこ



所属委員会 総務県民生活委員会／経済・雇用対策特別委員会

発行：埼玉県議会自由民主党議員団

県議会12月定例会報告 物価高への緊急支援に約115億円等を議決

県議会12月定例会は12月4日から22日の日程で開催され、一般会計補正予算【第3号】9,688万1千円、【第4号】18億1,140万4千円、【第5号】114億9,715万2千円等を議決しました。

補正予算【第3号】は、令和5年夏の猛暑による水稲、大豆の高温障害を受け、次期作付けにかかる種苗や肥料購入経費を補助するための予算、補正予算【第4号】は、職員給与の改定等に伴う予算が主な内容となっています。

補正予算【第5号】は、物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するための、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づくものです。これまで県が進めてきた福祉・医療施設等への光熱費等の支援やLPガスを使う一般家庭への支援等に加え、トラック運送事業者に対する燃料費の支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減策、一人親家庭の子供の進学等への支援等が新たに盛り込まれました。



県議会12月定例会では県議会議員として初となる一般質問を行いました。写真は一般質問終了後、傍聴に来られた地元・川越市の皆様の控室に大野知事が激励に来てくださいました。

県議として初の一般質問に登壇 (12月定例会／12月13日)

県の施策に対し5項目14件について 質問 提言

県議会12月定例会では県議会議員として初となる一般質問を行いました。本号ではその中から「多文化共生社会の実現に向けて」「多様な人材の活躍推進について」「建設業界における諸問題について」の3項目を抜粋し掲載いたします。

県政に対するご意見やご要望、ご感想などをお寄せください。



県議会議員初の一般質問に立つ。

多文化共生社会の実現に向けて

(1) 多文化共生社会の実現に向け、どのように取り組んでいくのか

Q 国は、多文化共生を国籍や民族などの異なる人々が互いに文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくとしており、本県においても、こうした多文化共生社会を実現するための取り組みがより一層求められます。私は、この多文化共生の考え方において、日本人と外国人が互いに、共にという点が特に重要であると認識しており、その実現のためにはどちらか一方だけではなく、双方が歩み寄る形で協調して努力していくべきものと考えますが、知事の所見を伺います。

A 県はこれまで、地域の日本語教室の運営を支援してきました。一方で、言葉の壁を取り除く手段として、例えば、「やさしい日本語※」をコミュニケーション手段として使用する方法があります。日本語教室支援と併せ「やさしい日本語」等の新たな手法を取り入れ、誰もが暮らしやすい多文化共生社会の実現を目指します。

※「やさしい日本語」とは：普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことです。災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」の始まりですが、現在は、平時における外国人への情報提供手段としても研究され、行政情報や生活情報、毎日のニュース発信等、様々な分野で広がっています。

(2) 外国人犯罪への対応について

Q 外国人との共生推進の面から見ても、外国人犯罪の発生・増加は県民感情に影を落とし、真摯に共生を進める外国人住民の信頼を損なう可能性があり、犯罪に対する捜査や取締りを強化することも重要です。不法滞在者対策について、本県ではどのように推進しているのか、また、在留外国人との共生のため、犯罪防止対策についてどのように推進しているのか伺います。

さらに、外国人犯罪に対応するためには、様々な国の言語に対応しなくてはならない中で、全国的には通訳人が不足しているという話も聞きます。県警察として通訳

人の確保と運用について、どのように取り組まれているのか県警本部長に伺います。

A 県警本部長 県警察では、悪質・重大な犯罪や犯罪を助長する犯罪インフラ事犯の徹底した取締りを推進しています。また、外国人コミュニティの実態を踏まえた防犯講話や交通安全教室の開催のほか、合同パトロール、通訳人を帯同した巡回連絡等にも取り組んでいます。

次に、県警察では通訳が可能な警察職員18言語153名を部内通訳人として、その他57言語266名の民間通訳人を登録、運用しています。部内通訳人の確保・育成方策としては、語学能力を有する警察官の採用、警察大学校国際警察センターで実施している語学研修科への入校、民間語学学校での研修等により職員の新規確保・育成に努めています。通訳人の運用は、捜査支援・通訳センターが24時間体制で通訳人の派遣対応を行っています。

Q 偽造在留カード取締りについて、在留カードは入管のホームページやアプリで登録情報の確認が可能となっていることも含めて、在留カードの偽変造の判定について周知徹底すべきです。県警察と出入国在留管理局等がどのように連携しているのか伺います。

次に今後ますます増えると予想される外国人犯罪に対応するためにも、希少言語の必要な通訳人の確保は必要です。希少通訳人の現状をどう把握し、どう対応していくのか伺います。

A 県警本部長 県警察では出入国在留管理局と合同で、不法滞在者の摘発を実施しています。また「不法就労防止キャンペーン」の際、在留カードの偽変造の判定方法が記載されたチラシを配布するなど、各種施策を推進しています。

次に希少言語通訳人ですが、これまでトルコ語の通訳ができる警察官3人の育成を図っており、春にはさらに1人、トルコ語の語学能力を有する警察官を採用します。その他の希少言語についても民間通訳人の募集活動を行っています。

(3) 在留外国人児童生徒に関するいじめ問題について

Q **しづやまみこ** 学校は共生について学ぶメインステージです。児童生徒がいじめなどの被害者にも加害者にもならず、安心して学校生活を送ることができるよう支援を充実することが重要です。在留外国人児童生徒に対するいじめや在留外国人児童生徒によるいじめ等、トラブルが起きた際の学校対応について、県はどのように指導しているのか伺います。また、日本人・外国人児童生徒が分け隔てなく学校生活を円滑に過ごすため、在留外国人児童生徒への的確な支援や、在留外国人児童生徒を受け入れるクラスメートたちの多文化共生への理解促進をどのように進めているのか伺います。



A **教育長** 県では生徒指導ハンドブック等を活用し、在留外国人も含め全ての児童生徒のいじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組むよう、生徒指導担当者会議等で働き掛けてまいります。

日本語指導が必要な児童生徒に対しては、小・中学校では日本語指導教員、県立高校では日本語支援員を配置し、授業や放課後等に日本語指導や教育相談を行っています。また、学校からの要請に応じて国際交流員を派遣したり、帰国児童生徒等支援アドバイザーによる相談支援等も行っています。一方で、他国の言語や文化等について理解し、互いを尊重することの大切さについて学ぶなど、多文化共生への理解促進も図っています。

多様な人材の活躍推進について

Q **しづやまみこ** 県は潜在的労働力である女性や高齢者がライフスタイルに合わせた働き方を選択できるよう、県内中小企業の実態整備をどのように推進していくのか伺います。次に若者の県内就職の促進について、若者が埼玉県で希望の職に就き、やりがいを持って仕事を続けていけるようにすることが重要です。本県経済を支える若者を支援するために、これから県ではどのように取り組んでいくのか伺います。

A **産業労働部長** 県では「多様な働き方実践企業認定制度」において、令和2年度から女性の管理職比率を認定項目の一つに設定し、女性の登用を後押ししています。また、管理職を目指す女性を対象としたマネジメント研修や、女性社員が活躍できる職場づくりを促す経営者向けセミナー等を開催しているほか、社会保険労務士等の専門家を企業に派遣し、女性の職域拡大に向けた助言等を行っています。

一口に女性・高齢者といっても置かれた状況は様々であり、一人ひとりに寄り添った支援を行っています。企業に対しては70歳雇用確保助成金の交付により、高齢者の活躍の場を広げるとともに、多様な働き方実践企業やシニア活躍推進宣言企業の認定を通じて、誰もが働きやすい職場環境づくりを後押ししています。

最後に、県では賃金アップにつながる価格転嫁の促進や、DX等による生産性の向上支援、従業員の奨学金返還支援補助等、県内企業の魅力を向上させる施策を実施しています。また就活イベント「ジョブフェス埼玉」を開催するとともに、県内企業の魅力を伝えるガイドブックを発行し、現在スマートフォンにより簡単にアクセスできるよう改良を進めています。

一般質問全項目 (12月定例会/12月13日)

- 多文化共生社会の実現に向けて
 - 多文化共生社会の実現に向け、どのように取り組んでいくのか(知事)
 - 外国人犯罪への対応について(警察本部長)
 - 在留外国人児童生徒に関するいじめ問題について(教育長)
- 多様な人材の活躍推進について(産業労働部長)
- 誰もが暮らしやすい社会へ
 - 訪問看護教育ステーションの増設を(保健医療部長)
 - 女性のQOL向上のための健康づくりの推進について(保健医療部長)
 - 高齢者に対する歯科保健対策の推進について(保健医療部長)
 - 障害者施設利用者の高齢化問題について(福祉部長)
 - 障害者と共に大切な時を過ごすご家族の心を元気に、交流サロンの設置について(福祉部長)
- 教育現場における子供の健全な育成に向けた取組について(教育長)
 - 起立性調節障害等への理解促進と児童生徒への対応について
 - 親による教育と学校教育について
- 建設業界における諸問題について
 - 県における建設工事の働き方改革に関する県の取組について(県土整備部長)
 - 建設現場の生産性向上に向けた革新的技術の導入・活用の推進について(県土整備部長)
 - 公共工事の物価高騰への対応について(総務部長)



▲一般質問を動画でご覧になることもできます。



▲一般質問の詳細(全文)は県議会のHPをご覧ください。

建設業界における諸問題について

(1) 県における建設工事の働き方改革に関する県の取り組みについて

Q **しづやまみこ** 建設業界はベテラン建設工事従事者の大量離脱を控え、将来の担い手不足が懸念されています。また、建設業における働き方改革も待ったなしの状況です。さらには、近年の気温の上昇に伴う熱中症の増加や、建設工事現場における女性の活躍など、現場での労働環境にも大きな変化が求められています。建設業における就労環境の改善等、働き方改革を進めることにより、将来の担い手の確保につなげていくべきと考えていますが、県はどのように対応していくのか伺います。



A **県土整備部長** 公共事業は年度当初に工事量が少なく、逆に年度末に工事が集中する傾向にあり、県では工事量の偏りを是正するため発注・施工時期の平準化に努めています。また令和元年度から「週休2日制モデル工事」を導入し、令和4年度からは、緊急工事等を除いた全ての工事に対象を拡大し、取り組みを推進しています。さらに、猛暑日を考慮した工期設定や熱中症対策に要する費用を計上する等、就労環境の改善に努めているところです。加えて誰もが快適に使用できる仮設トイレの設置等にも取り組んでいます。今後も働き方改革を推進し、担い手の確保・育成に努めてまいります。

(2) 建設現場の生産性向上に向けた革新的技術の導入・活用の推進について

Q **しづやまみこ** 人口減少、高齢化が進む中、デジタル技術を活用して建設現場の生産性を向上させることが不可欠です。県もICT施工に取り組んでいるかと思われませんが、現在の取り組み状況はどのようになっているのか、また、今後どのように進めるのか県土整備部長に伺います。

A **県土整備部長** 県としても重要な課題として捉えており、現在、ICT活用した施工について7工種の要領を定めています。令和4年度は1,000㎡以上の土工を含む工事の約60%がICTを活用した施工となり、令和5年度はさらなる普及・拡大を図るため、自治体が活用しやすい小規模土工等を追加し、対象工種を16工種に拡大する予定です。今後とも県内建設企業を後押しできるよう、国や建設業界と連携して取り組むとともに、併せて市町村への技術的支援を行い、ICT施工の更なる普及・拡大を図ってまいります。

(3) 公共工事の物価高騰への対応について

Q **しづやまみこ** 公共工事の品質確保と建設業の健全な発展を図るためには、最新の取引価格を反映した適正な価格で契約が行われることが必要です。県内の市町村発注工事においても、スライド条項の適切な運用に向けて市町村への支援ができないか総務部長に伺います。

A **総務部長** 議員ご指摘のとおり、スライド制度運用のための具体的な基準を設けている市町村は約4割にとどまっています。県では手続の流れや相談窓口を明記したリーフレットを配布するとともに、スライド請求額の計算例等をホームページに掲載し、周知を図っています。併せて、市町村の担当課長で構成する協議会の場等において、スライド制度の解説や取り組み事例の共有等を通じて、丁寧に働き掛けていきたいと考えます。さらに、市町村から個別のご相談があれば、県の担当者が専任で継続的にサポートしてまいります。



埼玉県政に対する意見や要望など、皆さまの声をお寄せください。

しづや まみこ 政務活動事務所

〒350-0001 川越市古谷上5928-3
TEL:049-235-7100 FAX:049-277-8473
mail:info@shibuya-mamiko.jp



X(旧ツイッター)、フェイスブック、インスタグラムで情報発信中!!

県政たより

2024.2 Vol.3

埼玉県議会議員

誠実・決断・実行力

しぶやまみこ



所属委員会 総務県民生活委員会／経済・雇用対策特別委員会

発行：埼玉県議会自由民主党議員団

一般質問報告 12月定例会 12月13日

県の施策に対し 質問 提言

県議会12月定例会では県議会議員として初めての一般質問を行いました。本号ではその中から「誰もが暮らしやすい社会へ」「教育現場における子供の健全な育成に向けた取り組みについて」の2項目を抜粋し掲載いたします。県政に対するご意見やご要望、ご感想などをお寄せください。



県議会議員として初めての一般質問を行いました(12月13日)。

誰もが暮らしやすい社会へ

(1) 訪問看護教育ステーションの増設を

Q **しぶやまみこ** 訪問看護ステーションは、在宅医療を支える事業所として重要ですが、慢性的な看護師不足に悩まされています。また、県内のステーションは小規模な事業所が多く、職員同士のノウハウの蓄積なども課題となっていると聞きます。訪問看護ステーションに従事する訪問看護師の確保・育成・定着を図るため、県はどのような支援を行っているのか伺います。また、県が位置付けている「訪問看護教育ステーション」への支援について、具体的な支援内容を説明願います。さらに、将来に向けて県内の訪問看護のさらなる充実強化を図るためには、訪問看護教育ステーションの増設が必要で

A **保健医療部長** 県では訪問看護師に興味を持つ看護師等を対象に体験実習を行い、訪問看護師の確保に努めています。また令和2年度に改定した訪問看護師育成プログラムを訪問看護ステーションへ周知するとともに、このプログラムを活用した研修を行っています。このほか、末期がん等医療依存度の高い患者を多く扱うステーションでは、新人看護師に対するOJTを行う費用等に対し補助を行い、訪問看護師の育成を支援しています。さらに相談窓口を設置し、訪問看護師の定着支援を行っています。

また、県では訪問看護教育ステーションが行う研修等に係る経費を補助しているほか、管理者が集う交流会等に参加して、必要な情報の提供等を行い支援をしています。

訪問看護教育ステーションの増設については、令和7年度までに県内の10の全二次保健医療圏に1か所ずつ、教育ステーションの指定を目指しています。令和4年度までに3圏域で指定をしました。候補の事業所からは「指定初年度から教育ステーションとしての役割を果たすことに不安がある」との声もいただき、令和5年度からは、教育ステーションとなる前年度を訪問看護「協力ステーション」と位置付け、必要なノウハウの蓄積等を行い、体制整備に努めていただくこととしました。令和5年度は協力ステーションとして3か所を指定し、翌年には「教育ステーション」へ移行していただく見込みです。



(2) 女性のQOL向上のための健康づくりの推進について

Q **しぶやまみこ** 女性の活躍を下支えるためには、女性特有の悩みに対するケアの拡充が重要であり、日常的なレディースクリニックの受診が有用です。国は、国立成育医療センターに女性の健康に関するナショナルセンター機能を持たせ、女性の健康や疾患に特化した研究や相談支援等を進めるとしています。本県としても、女性のクオリティ・オブ・ライフ向上のために健康づくりを推進すべきと考えますが、現在の県の取り組み、今後の対応について、保健医療部長の見解を伺います。

A **保健医療部長** 県では各保健所で、妊娠、不妊、メンタルヘルスケア、更年期等女性特有の健康問題に関する電話相談等を実施しています。また助産師を講師とする出前講座を、中高生や大学生向けに各地域で開催しています。議員ご提案のレディースクリニックの受診については、こうした出前講座の機会を通じて受診してもらうよう伝えているところです。さらに、令和5年4月に、不妊・不育症相談のほか、思春期の健康や将来の妊娠を踏まえた日々の健康相談まで幅広く応じる「プレコンセプションケア相談センター埼玉 ぶれたま」を開設しました。今後も関係部局との連携も深めながら、しっかり取り組んでまいります。

(3) 高齢者に対する歯科保健対策の推進について

Q **しぶやまみこ** 歯や口腔の健康と全身の健康は大きく関連しており、後期高齢者が急増する見込みでもある埼玉県においては、**医科と歯科の連携がますます重要になります。**県として、今後さらに高齢者の歯科保健対策の推進に取り組んでいくべきだと考えており、保健医療部長の見解を伺います。

A **保健医療部長** 県では、県内に在宅歯科医療推進拠点・支援窓口を30か所設置し、訪問歯科診療を行う歯科医院の紹介等の支援を行っています。この拠点では、訪問歯科診療のための診療機器の貸し出しを行うほか、地域の病院と連携し入院患者の歯・口腔のサポートも行っています。また市町村の保健・福祉関係者に対するオーラルフレイル予防等の研修を実施しています。さらに、令和6年5月にさいたま市岩槻区に県警本部が開設する高齢者講習施設において高齢者歯科保健事業を実施し、待ち時間等を活用して口腔機能向上に関する周知啓発を行う予定です。今後も高齢者の歯科保健対策の推進にしっかりと取り組んでまいります。



(4) 障害者施設利用者の高齢化問題について

Q **しぶやまみこ** 埼玉県は異次元の高齢化に直面しており、障害者自身の高齢化も進んでいます。**障害者施設の入所者の高齢化は今後ますます進んでいくものと考えられますが、**県は障害者の高齢化に対してどのように取り組んでいくのか見解を伺います。

A **福祉部長** 入所者の高齢化に伴い、入所者一人ひとりの状態に応じて、食事や入浴等の介助やリハビリ、日中の活動等の支援を適切に行っていくことが必要です。県では毎年、入所者の日常生活能力や心理状態等を踏まえて、施設が作成する支援計画に基づいて、日常生活上の支援が適切に実施されているか書面で確認するとともに、3年に一度の実地検査により助言や指導を行っています。また介護ロボットやタブレット端末等のICT導入の費用を補助し、その活用を進めています。さらに、施設を運営する団体と連携し、高齢期に配慮した健康管理や医療的なケアを取り入れている先進事例などを収集して、情報提供を行ってまいります。

(5) 障害者と共に大切な時を過ごすご家族の心を元気に、交流サロンの設置について

Q **しぶやまみこ** 私は、障害者福祉の推進の中で目指すべきことは、**障害者の方が地域社会の中で当たり前のように生活できること**だと考えます。しかし一番身近で障害者を支えなければならない家族の負担は大きく、特に医療的ケアが必要な重度障害者の家族の場合、一時も目が離せないことから、冠婚葬祭等の行事にも参加することが難しい等の声を聞きます。また普段の生活の中でも、ご家族の、例えばご兄弟の心身に影響が出てくることもある等、決してきれいごとで済ませることができないのが現状です。こうした**障害者の家族をとりまく課題**について、**県としてはどのように支援していくのか**伺います。

A **福祉部長** 一時的に家族の在宅介護が困難となる場合には、障害者施設への短期入所サービスや日中一時預かりサービスを利用することができます。県では、特に医療的ケアが必要な重症心身障害児者については、受け入れる事業所が不足していることから、受入れ事業所に対して補助を行っています。今後とも、短期入所や日中一時預かりサービスの利用拡大に努めてまいります。

教育現場における子供の健全な育成に向けた取り組みについて

(1) 起立性調節障害等への理解促進と児童生徒への対応について

Q **しづやまみこ** 起立性調節障害など、見た目だけでは判断が難しい疾患や特性について、教職員や周りの児童生徒が正しく理解することが私は重要と考えています。その上で、児童生徒に対しきめ細かい支援をしていくことも必要と考えますが、県の取り組みについて伺います。

A **教育長** 起立性調節障害等の児童生徒は、倦怠感といった症状から、「怠け」等と誤解されることもあり、教職員や周囲の児童生徒が正しく理解をすることは重要と認識しています。各学校では養護教諭を中心に教職員研修を行っているほか、保健の授業等において、本人の心情に配慮しつつ、周囲の児童生徒が理解を深めるよう指導しています。今後は養護教諭以外の教職員が理解を深めるため、保健主事研修会や市町村担当者の会議等を通じて啓発してまいります。また不登校の対応に関する教職員研修資料等においても、起立性調節障害等への配慮について取り上げてまいります。

次に配慮の必要な児童生徒へのきめ細かい支援について、学校では疾患や特性により、学校生活に困難さを感じている児童生徒には、主治医の指示に基づき規則正しい生活等個別の保健指導を行うとともに、体調によっては保健室で休養させる等、必要な配慮を行っています。県では、引き続き児童生徒の健康状態を的確に把握した上で、きめ細かい配慮を行うよう、市町村や学校に働き掛けてまいります。



活動

県国土利用計画審議会に出席

第76回埼玉県国土利用計画審議会が1月23日、知事公館にて行われ委員として出席しました。埼玉県土地利用基本計画の変更等について審議を行いました。



川越市二十歳のつどいに出席

第75回川越市二十歳のつどいが1月7日、ウエスタ川越で開催され出席しました。皆様にとって、これから経験することは必ず意味があり、自身の糧となります。皆様の益々のご活躍を祈念申し上げます。

川越矯正展が開催

令和5年度川越矯正展が11月18日、川越少年刑務所にて開催されお伺いしました。受刑者が刑務施設で製作された作業製品の展示・即売のほか、パネル展示による矯正広報など、丁寧にご説明いただきました。



川越商工会議所賀詞交換会に出席

川越商工会議所新年賀詞交換会が1月11日、川越プリンスホテルで開催され出席しました。地域の発展に向け、経済政策のさらなる充実にしっかり取り組んでまいります。

山村学園創立100周年記念祭に出席

山村学園創立100周年記念祭が11月14日、ペルーナドーム(所沢市)で開催され出席しました。私も一卒業生として、母校の温かなマインドを社会で少しでも発揮できるよう、日本一暮らしやすい埼玉の実現に向け、忠恕の精神を忘れず日々尽力することを心に誓いました。



(2) 親による教育と学校教育について

Q **しづやまみこ** 子供の健全育成のためには、学校や地域における学びも重要ですが、やはり家庭における教育が果たす役割は重要です。少子化・核家族化、地域との関係の希薄化や現代的な課題が多様化する中で、家庭の教育力の向上を図るためには、親が子供を教育するため、親にも時代に合った知識やスキル等の力をつけるための機会が必要だと思われませんが、県ではどのように対応するのか伺います。

A **教育長** 県では「親の学習」に取り組んでおり、県家庭教育アドバイザーを養成し、小学校や公民館の講座等に派遣しています。また、家庭教育アドバイザーを対象に研修を実施し、令和5年度は専門家を招いて、ネット社会の現実等について講義をしていただきました。今後もこうした取り組みを推進し、時代の変化に伴う新たな課題等について、保護者に知識や学ぶ機会を提供することで、家庭教育への支援を進めてまいります。

一般質問全項目 (12月定例会/12月13日)

- 多文化共生社会の実現に向けて
 - 多文化共生社会の実現に向け、どのように取り組んでいくのか(知事)
 - 外国人犯罪への対応について(警察本部長)
 - 在留外国人児童生徒に関するいじめ問題について(教育長)
- 多様な人材の活躍推進について(産業労働部長)
 - 訪問看護教育ステーションの増設を(保健医療部長)
 - 女性のQOL向上のための健康づくりの推進について(保健医療部長)
 - 高齢者に対する歯科保健対策の推進について(保健医療部長)
 - 障害者施設利用者の高齢化問題について(福祉部長)
 - 障害者と共に大切な時を過ごすご家族の心を元気に、交流サロンの設置について(福祉部長)
- 誰かが暮らしやすい社会へ
 - 教育現場における子供の健全な育成に向けた取組について(教育長)
 - 起立性調節障害等への理解促進と児童生徒への対応について
 - 親による教育と学校教育について
- 建設業界における諸問題について
 - 県における建設工事の働き方改革に関する県の取組について(県土整備部長)
 - 建設現場の生産性向上に向けた革新的技術の導入・活用の推進について(県土整備部長)
 - 公共工事の物価高騰への対応について(総務部長)



▲一般質問を動画でご覧になることもできます。



▲一般質問の詳細(全文)は県議会のHPをご覧ください。

視察

経済雇用特別委員会視察

創業支援、起業家の育成 ビジネスの支援について

東京都が運営する、企業や大学、行政などの組織とスタートアップを結びつけるオープンイノベーションプラットフォームである「Tokyo innovation Base(千代田区)」と、スタートアップ(新しく



設立されたばかりの企業)をはじめ、多様な企業が集まるオープンイノベーション施設「Plug and Play Shibuya(渋谷区)」を視察しました。

スピード感を持った東京都の官民連携の取り組みは、たいへん参考になりました。埼玉県でも誰もが強い気持ちで起業できるよう、県内の経済好循環も含めしっかり推進してまいります。



総務県民生活委員会視察

働き方を発信するワークプレイス「ITOKI TOKYO XORK」

株式会社イトーキの本社オフィス「ITOKI TOKYO XORK」を視察しました。「XORK(ゾーク)」とは、働き方を次の次元へと進化させるという意味だそうです。「人と活動を軸にした新たなオフィスづくり」をコンセプトに、個々のワーカーの活動に対応して高集中ブース、情報共有スペースなど様々なブースがあり、生産性と創造性を引き上げるオフィス空間の大切さを再認識いたしました。



埼玉県政に対する意見や要望など、皆さまの声をお寄せください。

しづやまみこ 政務活動事務所

〒350-0001 川越市古谷上5928-3
TEL:049-235-7100 FAX:049-277-8473
mail:info@shibuya-mamiko.jp



X(旧Twitter)、フェイスブック、インスタグラムで情報発信中!!

シェイクアウト埼玉 ~県内一斉防災訓練~ を実施します。

シェイクアウト埼玉

県内一斉防災訓練

令和5年9月1日(金)11時58分

防災週間(9月1日~9月5日)の期間でも実施可能

あなたがいるその場所で

参加者募集!

3つの安全行動を
その場で行うだけ!



シェイクアウト訓練とは?



1分程度で終了

シェイクアウト訓練のあとは

プラスワン

動かない

- 災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用
- 避難場所の確認
- マイタイムラインの作成
- 避難経路の確認
- ハザードマップの確認
- 備蓄品の確認 など

埼玉県議会

白土幸仁 プロフィール

- 1973年サラリーマンの父と幼稚園先生の母より誕生
- 武里小学校・武里中学校・県立庄和高校(10期生)・帝京大学文学部史学科考古学専攻卒業・日本大学大学院法学研究科政治学専攻 博士前期課程修了 政治学修士
- 日本ビューホテル株式会社入社 サラリーマン生活5年
- 大前研一氏主宰の政策学校「一新塾」(第10期生)で学ぶ
- 2003年4月 春日部市議会議員選挙に初当選、その後3期連続当選、建設常任委員会委員長、監査委員に就任
- 2011年4月 埼玉県議会議員に初当選 現在4期目 自民党県議団 政務調査会長、産業労働委員会委員、人材育成・文化スポーツ振興特別委員会委員、自民党埼玉県連・前青年局長、東埼玉道路推進協議会幹事長代理、春日部駅鉄道高架協議会事務局長、アニメコンテンツ活用推進協議会幹事長、県議会鉄人部事務局長、越谷アルファーズ後援会幹事長等に就任し現在活動中
- 市内外活動も積極的にこなしています。春日部市サッカー協会顧問、商工会議所青年部OB会、春日部青年会議所OB会

▶こちらの2次元コードよりお申込み頂けます。



あなたも参加しませんか? ぜひ参加登録をお願いします。

関東大震災から100年を契機に、県議会議員が中心となって県内一斉防災訓練を働きかけることで、県民をはじめ、県内在勤・在学の方の「自助」「共助」の意識向上を図るため実施します。

実施日時:
令和5年9月1日(金曜日)11時58分
〈関東大震災から100年〉

＜実施内容＞

・多くの県民・企業・団体等に呼びかけ、実施時に一斉にシェイクアウト訓練を実施します。

・シェイクアウト訓練は、短時間で誰でもどこにいても実施できる訓練です。

・シェイクアウト訓練の他に、各自でさらにプラスワン(例:災害用伝言ダイヤル171の体験利用)の訓練を実施してみましょう。災害用伝言ダイヤルは防災週間や毎月1日と15日などに体験利用できます。



▲予算委員会にてアニメコンテンツの活用を求めて
■好きな事 耳かき、土手で昼寝、みんなでわいわいビール ■家族 妻・娘(12歳)・息子(10歳) ■趣味 博物館・史跡巡り、トライアスロン、卓球、波乗り(ロング) ■特技 けん玉4級、水泳 ■資格 実用タイ語検定5級、情報処理技術者、1級小型船舶免許、手相リーディング資格所持

本人直通: 090-9323-0330 Eメール: yukihito@xj8.so-net.ne.jp
【春日部中央事務所 平日10:00~16:00】TEL:048-739-7223 FAX:048-739-7224
春日部市中央1-59-4恵ビル101(内谷陸橋通り 藍屋さんの隣)
【武里事務所】春日部市備後西3-4-13 TEL:048-795-7140 FAX:048-736-1568

The shirato report 白土レポート ● 日本を変える力に

2023年 70号 発行元 埼玉県議会自由民主党議員団 白土幸仁事務所【討論資料】
埼玉県 議会議員 白土 幸仁
自由民主党議員団 所属

新たな気持ちで、これらも地域から日本を変える力に!

皆様におかれましては、健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。5月からの新たな役割の中で、新たな任期がスタートしました。これからも初心を忘れず、地域の力を信じながら、様々な関係機関と連携し、今後とも県民の皆様への多くの思いに応えて参ります。さて、依然としてエネルギー価格の高騰による物価高騰に歯止めがかからない状況です。臨時議会や6月定例議会などの出来るだけ早い段階で、家計や企業の負担増に対し、県民の皆様が安心出来る流れを創って参ります。また、春日部駅高架化事業や赤沼銚子口産業団地、北春日部駅西口周辺再開発など、市内における主要事業について、今後とも力強く前に進めて参ります。白土幸仁に対する叱咤・激励とともに、皆様のご支援・ご協力のほど、引き続きよろしくお願い申し上げます。

県政なんでも課 白土課長の利用方法

- ＜業務内容＞ 一緒に政治を変えたい方。何でもどうぞ!
- ①県政を解かりやすく説明します。出前訪問も致します。
 - ②議会へ条例案や議会方針等の提出をお考えの方。

県政なんでも課の課長に、自ら勝手に就任しております白土幸仁です。

大盛況 24時間受付中
連絡先: 090-9323-0330
E-mail: yukihito@xj8.so-net.ne.jp

マンガでわかる 『令和5年度の埼玉県予算』について

こんにちは 白土幸仁です
2月定例議会が閉会しました
令和5年度の県の一般会計の当初予算はコロナ後の持続可能な発展に向けて、2兆2,110億9,500万円(前年比0.8%減)を計上しました
当初予算額が何があるのか? あります

埼玉県議会議員 白土幸仁 しらとゆきひと

◆国際規格の屋内50m水泳場の整備
・整備・運営・維持管理業務を一体で行う PFI事業者の公募・選定
▶ 限度額: 210億4,784万6千円
▶ 期間: 令和5年度~23年度 令和9年度オープン予定

◆通学路グリーンスポットの整備
・児童などが安全に待機できる空間の整備

◆スポーツ科学拠点施設の整備
・新たに整備するスポーツ科学拠点施設(上尾市内)の事業者公募に向けた準備(債務負担行為 限度額1,485万4千円)

他にも、通学路優先の歩道整備を進めます
交通安全対策の推進です! 29億5,591万円

次ページへ続く 毎号の恒例になりましたマンガですが、もっと詳しくお知らせしたいのですが、濃い内容にすると分かり難くなるし、その間が難しいのですが、その時々注目ニュースを中心にお知らせして参ります。ぜひご意見下さい。



北春日部駅西口も春日部駅西口も街が大きく変わりますね

楽しみにしております



ここでは全てをお話する事ができませんでしたが、今回ご紹介した事業以外にもお知りになりたい方はぜひお気軽にここまでお問い合わせ下さい

出前県政報告会も開催します。

電話:090-9323-0330
FAX:048-736-1568

埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進 3億6,174万9千円



プロジェクトに取り組む市町村 (R4当初: 11 ▶ R5当初: 29)

◆市町村と企業等とのマッチング強化

市町村と企業等とのマッチングを行うガバメントピッチ等の開催

◆プロジェクトに取り組む市町村への補助

①事業化検討補助	②事業推進補助
補助率 1/2(※)、補助上限 500万円 まちづくりの事業化に向けた検討費用	補助率 1/2(※)、補助上限 5,000万円 まちづくりに関するソフト・ハード事業

※令和4年度の普通交付税不交付団体は1/3

◆市町村のまちづくりへの技術的支援

市町村の状況に応じたオーダーメイド型支援

課題に対応した3種類の取組の提案・助言

整備手法・事業スキームの提案・助言

事業実施のノウハウを提供 事業をバックアップ

北春日部駅の区画整理事業と春日部駅西口中央一丁目の再開発事業は、こちらのスーパーシティプロジェクト事業の一つとして、県として最大限バックアップします

他にはいかがですか？

議員提案 政策条例制定に向けて パブリックコメント募集!

自民党県議団内プロジェクトチームにて、検討を重ね、昨年7月21日から8月21日まで、以下の条例の骨子案について、自民党埼玉県連のホームページにて県民の皆様よりパブリックコメントを頂き、9月定例会に議員提案として上程させていただきます。

自民党埼玉県連支部連合会ホームページ <https://kengidan.jimin-saitama.net>

埼玉県虐待禁止条例の一部を改正する条例案

保護者のいない住居や自家用車の車内等に児童が放置され死亡する等、児童の放置による深刻な事案が全国的に相次いでいます。一方で、児童を放置する事自体を全般的に禁止する法令や条例は存在しない。しかし、短時間であれ、児童を放置することで、当該児童が熱中症になったり、誘拐、火災などの危険な目にあう可能性があることから、それ自体を禁止させるべきであることを発信する事としました。



<児童の放置の禁止>

義務規定 → 小学3年生以下の児童の放置 努力義務 → 小学4~6年生の児童の放置

<通告・通報の義務>

虐待を受けた児童等を発見した場合は、速やかに通告又は通報をしなければならない。

<児童の放置の防止に資する施策の検討>

県は、待機児童に関する問題を解消するための施策その他の児童の放置の防止に資する施策について検討を加え、その結果に基づいて必要な処置を講ずるものとする。



地図でわかる。春日部の未来の発展に繋がる 令和5年度埼玉県事業

古岡田川の河川改修
480m矢板補修、2つの橋の掛け替え工事にて冠水の無い街に

東埼玉道路(国事業)
-本年度は古利根川橋工事、中川橋工事春日部地区改良工事
-事業効果を数値化する 費用便益比4.9は異例の高さ
-既に庄和IC付近では406億円経済効果

次木杉戸線(宝珠花橋)
橋面の舗装、塗装塗り替え 令和5年度までに全て完成

西金野井春日部線
新川橋の工事や、周辺に歩道整備など、牛島交差点付近の改良工事を推進

松伏春日部関宿線
二ツ橋の断面修繕

古利根川の護岸改修
新たな川の再生として、船着場など常時賑わいが期待される、改修推進

西金野井春日部線
約300m舗装修繕

松伏春日部関宿線
約750m舗装修繕

赤沼・鏡子口産業団地
埼玉県企業局が、産業団地を造成。令和6年度以降、工事開始予定

春日部松伏線(赤沼)
約500mの補修修繕 振動や騒音の軽減

大場大枝線整備(アンダーパスへ)
今年度は、無電柱化の設計を進め、いよいよ本体工事へ。工事着工後、約5年間の工事期間を経て完成へ。渋滞の解消と、踏切事故のゼロを目指す

北春日部駅周辺地区 土地地区画理事業
埼玉版スーパーシティプロジェクトとして、新市街地創出を強力に支援。約1000戸の住宅と商業施設の建設を目指す

春日部駅周辺 鉄道高架事業
本年2月には、駅東口の仮駅舎が完成。仮線路の敷設に着手

6年後には野田線の高架を完成させ、早期の駅利便性向上を図る

春日部駅西口再開発事業への支援
再エネ等の先端技術を積極的に取り入れ、今までに無い市街地を創出する再開発を支援。本年度の都市計画決定を目指し、駅と接続させ、賑わいのある回遊ゾーンを創る

野田岩槻線(上野長宮線)
16号より順次工事を推進。3年以内の開通を目指す

春日部夢の森公園の全面開

あらゆる世代がみどりに親しみ、森を通して人とつながる拠点となる公園を目指す。今後とも施設内容の充実へ整備推進



白土レポート71号 発行元 埼玉県議会自由民主党議員団 白土幸仁事務所【討論資料】

埼玉県議会議員 しらと ゆきひと

本人直通:090-9323-0330
yukihito@xj8.so-nat.ne.jp
春日部市中央1-59-4 恵ビル101

白土 幸仁

■埼玉県議会議員 現在4期目 県議団政務調査会長、自民党埼玉県連・前青年局長、東埼玉道路推進議連幹事長代理、春日部駅鉄道高架議連事務局、アニメコンテンツ活用推進議連幹事長、県議会鉄人部事務局、越谷アルファーズ後援会幹事長

虐待禁止条例の一部改正の取り下げについて

県民の皆様には、多大なご不安とご心配をお掛けいたしました事、深くお詫びを申し上げます。以下の内容が我々の真の思いでした。今回は真摯に反省し、今後とも子育て支援は最重要事項として取り組んで参ります。

昨年の放置による児童の事故が455件という事で、年々増加している現状があり、児童の目線に立って児童の安全を守りたいというのが立法事実となります。
＜児童の放置の禁止＞義務規定→小学3年生以下の児童の安全確保に配慮しないで放置 努力義務→小学4～6年生の児童の安全確保に配慮しないで放置

【一部の報道による事例】

- × 子ども達だけでの自宅での留守番
- × 子ども達だけで公園などで遊ぶ
- × 子ども達だけでの登下校
- × 子どもだけを残してゴミ捨て、回覧板

我々が想定していた本当の事例はこちら

- 子育て世代に義務を課す意図は無く、今一度子どもの安全を考える機会としたかった
- 施錠や留守番時の約束(火の扱い等)をした上で、子ども達だけでの自宅での留守番
 - 防犯ブザーの持参や公園時での約束をした上で、子ども達だけで公園などで遊ぶ
 - 防犯ブザーの持参や寄り道時の約束をした上で、子ども達だけでの登下校
 - 施錠をした上で、子どもだけを残してゴミ捨て、回覧板

＜通告・通報の義務＞ 虐待を受けた児童等を発見した場合は、速やかに通告又は通報をしなければならない。

こちらの条文は、国の法律にて既に規定されております。この条例の施行当時に、この条文が欠けており、改正する際に加える必要があった為に、今回の改正時に加えさせて頂きました。直接、今回の改正の内容と関係するものではありません。

＜県の責務＞ 県は、待機児童に関する問題を解消するための施策その他の児童の放置の防止に資する施策について検討を加え、その結果に基づいて必要な処置を講ずるものとする。

児童の安全に対しては、家庭のみでは無く、社会全体で支えていくと共に、特に県が大幅に予算を増加させ、積極的に責任を持ち、市町村と連携して学童保育の充実をはじめ、子育て環境を改善していく施策を求める為の条文になります。

わが会派が筆頭紹介者となり

一ノ割駅西口に改札口の設置を求める請願が全会一致で可決!



改札口の無い一ノ割駅西口

一ノ割駅周辺の自治会長様より一ノ割駅西口に改札口を設置して欲しいと強い要望を頂き、この度の9月議会において自民・無所属の会が筆頭紹介者となり全会一致で可決されました。議会での決定事項はとても重いものです。今後の春日部市の動向に注目です。



※ 筆頭紹介者とは、その請願に対し率先して他会派に賛同の声を掛けをした事を意味します。

※ 請願の詳細はこちらをご覧ください。

土屋品子復興大臣

表敬訪問

地元の代議士である土屋品子衆議院議員が9月13日の内閣改造におきまして復興大臣に任命され、大臣室へ表敬訪問をさせて頂き、現在の復興状況や私たちが今何をすべきなのか。短い時間ではありましたが貴重な意見交換をさせて頂きました。これからも国務大臣としての職責を果たして頂けるように全力で応援いたします。



土屋品子復興大臣を囲んで



石川 友和



金子 進



山口 剛一



山崎 進

春日部市議会

自民・無所属の会

発行
自民・無所属の会
春日部市中央6丁目2番地
TEL 048-736-1111



会田 吉幸



鬼丸 裕史



永田 飛鳳



水沼 日出夫

昨年もお支え頂き深く感謝!



▲前青年局長として、台湾 蔡英文総統の前でけん玉外交(笑)。あの帽子をプレゼント。



▲知事に議会BCPを提出し、ご協力を依頼。
▶昨年は政調会長として、国へ様々な要望にて訪問。ご協力に感謝。



日々の活動はTwitterにて



◀現場の声こそ、新しい政策の一歩になるとの思いから、子育て支援のご要望を直接伺いするべく、政調会役員で訪問。

▶昨年は多くのミニ集會に参加させて頂きました。ご参加を頂いた皆様ありがとうございます。
◀自民党県議団を超越ながら代表して、NACK5に出演。広報の大切さを学ぶ。



白土幸仁 プロフィール

■1973年サラリーマンの父と幼稚園先生の母より誕生
 ■武里小学校・武里中学校・県立庄和高校(10期生)・帝京大学文学部史学科考古学専攻卒業・日本大学大学院法学研究科政治学専攻 博士前期課程修了 政治学修士
 ■日本ビューホテル株式会社入社 サラリーマン生活5年
 ■大前研一氏主宰の政策学校「一新塾」(第10期生)で学ぶ
 ■2003年4月 春日部市議会議員選挙に初当選、その後3期連続当選、建設常任委員会委員長、監査委員に就任
 ■2011年4月 埼玉県議会議員に初当選 現在4期目 自民党県議団 政務調査会長、産業労働委員会委員、人材育成・文化スポーツ振興特別委員会委員、自民党埼玉県連・前青年局長、東埼玉道路推進議連幹事長代理、春日部駅鉄道高架議連事務局局長、アニメコンテンツ活用推進議連幹事長、県議会鉄人部事務局局長、越谷アルファーズ後援会幹事長等に就任し現在活動中
 ■市内外活動も積極的におこなっています。春日部市サッカー協会顧問、商工会議所青年部OB会、春日部青年会議所OB会



▲予算委員会にてアニメコンテンツの活用を求めて
 ■好きな事 耳かき、土手で昼寝、みんなでわいわいビール
 ■家族 妻・娘(12歳)・息子(10歳) ■趣味 博物館・史跡巡り、トライアスロン、卓球、波乗り(ロング) ■特技 けん玉4級、水泳 ■資格 実用タイ語検定5級、情報処理技術者、1級小型船舶免許、手相リーディング資格所持

ご意見
ご感想募集

本人直通: 090-9323-0330 Eメール: yukihito@xj8.so-net.ne.jp
 【春日部中央事務所 平日10:00~16:00】TEL:048-739-7223 FAX:048-739-7224
 春日部市中央1-59-4 恵ビル101(内容陸橋通り 藍屋さんの隣)
 【武里事務所】春日部市備後西3-4-13 TEL:048-795-7140 FAX:048-736-1568

The shirato report 白土レポート ● 日本を変える力に

2024年 72号 発行元 埼玉県議会自由民主党議員団 白土幸仁事務所【討論資料】 県政報告

埼玉県 議会議員 白土 幸仁

自由民主党県議団 所属

しらと ゆきひと




謹賀新年。気持ちを新たに、これからも地域から日本を変える力に!

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は、責任ある政策集団の思いのもとで「虐待防止条例の一部改正」の議案を提案、そしてその後、取り下げに至り、皆様にはご迷惑とご心配をお掛け致しました事に関し、強い反省とともに深くお詫びを申し上げます。この教訓を本年にしっかりと活かす為、県民の皆様の思いをより具現化できるよう、条例制定の過程をゼロから見直しつつも、時代の変化に即応した政策を力強く前に推し進めたいと考えております。また、春日部市内においては、鉄道高架事業や赤沼銚子口産業団地事業など、埼玉県が関わるビックプロジェクトの推進にも努力して参ります。本年を未来に繋げる挑戦の年と位置付け、努力して参ります。皆様の叱咤激励とご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。

県政なんでも課 白土課長の利用方法

◀業務内容> 一緒に政治を変えたい方。何でもどうぞ!
 ①県政を解かりやすく説明します。出前訪問も致します。
 ②議会へ条例案や議会方針等の提出をお考えの方。

県政なんでも課の課長に、自ら勝手に就任しております白土幸仁です。
 大盛況 24時間受付中
 連絡先: 090-9323-0330
 E-mail: yukihito@xj8.so-net.ne.jp

マンガでわかる 『令和5年度 12月議会』について



- ・LPガス料金高騰に対する補助
- ・ひとり親家庭への受験料と模擬試験の支援
- ・福祉施設、医療施設等に対する光熱費支援
- ・トラック運送事業者、公共交通事業者への燃料高騰支援

次ページへ続く 毎号の恒例になりましたマンガですが、もっと詳しくお知らせしたいのですが、濃い内容にするとうり難しくなるし、その間が難しいのですが、その時々注目のニュースを中心にお知らせして参ります。ぜひご意見下さい。

今回ご紹介した事業以外にもお知りになりたい方は、ぜひお気軽に「こども」までお問い合わせ下さい

「こども」では全てをお話する事ができませんでしたが

出前県政報告会も開催します。

電話:090-9323-0330
FAX:048-736-1568

春日部駅鉄道高架事業も目に見えるような形で本格化してきましたね

①現在 野田線 伊勢崎線
上り線 下り線 下り線下り線 下り線下り線 上り線

②伊勢崎線・上り線仮線化
野田線 伊勢崎線 上り線 仮上り線
上り線 下り線 下り線下り線 下り線 仮上りホーム

はい！順調に工事も進み、本年初頭には伊勢崎線仮線の共用も開始されます

議員提案条例にて、11月1日より「埼玉県思いやり駐車場制度」開始！

埼玉県福祉のまちづくり条例を一部改正
パーキングパーミット制度を導入！

利用証(3種類)
(駐車時にルームミラーに掲示)

交付対象者、申請方法は県ホームページで確認できます。

車椅子使用者用 其他の高齢者、障害者等用 妊産婦、けが人等用

目的 障害のある方や要介護高齢者、妊産婦の方など歩行が困難な方や配慮が必要な方のための駐車区画について、対象者に利用証を交付することで、区画の適正利用を推進する制度です。

利用できる駐車区画 (イメージ)

「車椅子利用者専用駐車区画」(幅3.5m以上の幅広区画)

「優先駐車区画」(幅3.5m未満の通常の幅広区画)

【窓口申請】▶制度に協力する市町村(お住まいの市町村に限り)の窓口で申請できます。▶窓口の詳細は県ホームページで確認して下さい。

【電子申請・郵送申請】▶県福祉政策課で電子申請、郵送申請を受け付けています。

県議会主催のシェイクアウト訓練へのご参加ありがとうございました。

関東大震災から100年の当たる昨年9月1日に実施した、シェイクアウト訓練に、県民約60万人の皆様にご参加を頂き、春日部市内でも学校や企業など、多くの方に実際にご参加を頂きました。皆様防災意識を高めるきっかけとなれば大変有り難く思います。引き続き、平時における備えと、ご家庭での災害時の確認をよろしくお願い致します。

県民の皆様参加者数
594,476人

議員提案「虐待禁止条例の一部改正」の取り下げから、新たなスタートについて。

皆様には、多大なご不安とご心配をお掛けいたしました事、深くお詫びを申し上げます。以下の内容が我々の真の思いでした。真摯に反省し、今後とも子育て支援は最重要事項として取り組んで参ります。

埼玉県虐待禁止条例の一部改正
反省と共に、我々の思いをお伝えして下さい！

去年の放置児童の事故が455件という事で、年々増加、児童目線に立って児童の安全を守りたいというのが立法事実です。

＜児童の放置の禁止＞
義務規定▶小学3年生以下の児童の安全確保に配慮しないで放置
努力義務▶小学4～6年生の児童の安全確保に配慮しないで放置

我々が想定していた本当の事例はこちら

子育て世代に義務を課す意図は無く、今一度子どもの安全を考える機会としたかった

【一部の報道による事例】

- × 子ども達だけの自宅での留守番
- × 子ども達だけで公園などで遊ぶ
- × 子ども達だけの登下校
- × 子どもだけを残してゴミ捨て、回覧板

○ 施錠や留守番時の約束(火の扱い等)をした上で、自宅での留守番

○ 防犯ブザーの持参や公園時での約束をした上で、公園などで遊ぶ

○ 防犯ブザーの持参や寄り道時の約束をした上での登下校

○ 施錠をした上で、子どもだけを残してゴミ捨て、回覧板

＜通告・通報の義務＞ 虐待を受けた児童等を発見した場合は、速やかに通告又は通報をしなければならない。こちらの条文は、国の法律にて既に規定されております。この条例の施行当時に、この条文が欠けており、改正する際に加える必要があった為、今回の改正時に加えて頂きました。直接、今回の改正の内容と関係するものではありません。

＜県の責務＞ 県は、待機児童に関する問題を解消するための施策その他の児童の放置の防止に資する施策について検討を加え、その結果に基づいて必要な処置を講ずるものとする。児童の安全に対しては、家庭のみではなく、社会全体で支えていくと共に、特に県が大幅に予算を増加させ、積極的に責任を持ち、市町村と連携して学童保育の充実をはじめ、子育て環境を改善していく施策を求める為の条文になります。

県民の皆様から多くのご意見や署名を頂いた事を受け、更なる改革を！

・10万筆以上の反対署名を頂く
・様々な団体からのご意見
・自民党県議団より撤回の声明

① 議員提案条例に係るパブリックコメント手続に関する基本方針を策定

① 県民の皆様へ、透明性のある議論が必要
② 条例作成段階で、執行部との事前の意見調整
③ 県議会他党派との事前の意見調整

① 頂いたご意見は、基本的に全て公開します
② 検討段階から執行部との頻繁な意見交換
③ 検討段階から他党派との頻繁な意見交換

新たな議員提案条例から適用

・議員提案のスクラップヤード規制に関する条例案 スケジュール
【11月中 各市町村への意見照会】【12月上旬 他党派への情報提供と意見交換】
【12月中 県民コメント実施】引き続き、基本方針に準じて丁寧に進めて参ります。

詳しい内容は kengidan.jimin-saitama.net (埼玉県議会自民党議員団ホームページ)をご覧ください。

② こどもまんなかプロジェクトチームにて引き続き子育て支援を推進します

引き続き、子どもへの支援と子育てに関わる多くの皆様への支援に重点を置きながら、政策の実現については丁寧に、現場の声に耳を傾け、特に子育て世代の負担には、特段の配慮をしながら、社会全体で子育てをする環境を作ります。

▶前小倉こども政策大臣より最新のこども家庭庁の課題をご教授

埼玉県議会自由民主党議員団 政調研修会

▶十文字学園女子大学 学野教授より教育現場についてご教授

事業名	予算額(千円)	事業概要
舗装道整備費	31,000	県道川越栗橋線(舗装修繕)W=7.0mL=300m
舗装道整備費	39,000	県道今福木野目線(舗装修繕)W=5.1mL=500m
舗装道整備費	25,000	県道川越新座線(舗装修繕)W=6.0mL=300m
舗装道整備費	21,000	国道254号(舗装修繕)W=6.5mL=200m
舗装道整備費	26,000	国道254号(舗装修繕)W=6.5mL=250m
舗装道整備費	50,000	国道254号(舗装修繕)W=9.2mL=350m
舗装道整備費	22,000	県道川越日高線(舗装修繕)W=7.0mL=200m
舗装道整備費	19,000	県道川越入間線(舗装修繕)W=6.2mL=200m
舗装道整備費	37,000	県道鯉井狭山線(舗装修繕)W=6.0mL=400m
橋りょう修繕費	100,000	国道254号(川越線高架橋)塗装塗替(JR委託)
橋りょう修繕費	90,000	国道254号(南古谷高架橋)伸縮装置修繕
橋りょう修繕費	94,000	国道254号(小仙波③橋)塗装塗替
橋りょう修繕費	30,000	さいたまふじみ野所沢線(養老橋)ひび割れ補修
橋りょう修繕費	10,000	国道254号(市道5132号線函梁橋)ひび割れ補修
橋りょう修繕費	80,000	国道254号(落合橋)防護柵修繕
橋りょう修繕費	65,000	川越生線(八瀬大橋①)支承修繕
橋りょう修繕費	10,000	川越坂戸毛呂山線(雁見橋)補修設計
橋りょう修繕費	25,000	国道254号(高階歩道橋)塗装塗替
橋りょう補修事業費	200,000	国道254号(川越線高架橋)塗装塗替(JR委託)
河川改修費	415,000	新河岸川において、橋りょう架換工や護岸工を実施する。また新河岸川放水路では、水門の遠隔操作に向けた調査・検討等を実施する。
河川改修費(水辺)	242,307	河川管理施設修繕工事及び設計(小畔川、九十九川、新河岸川)
排水機場等維持修繕費	127,700	ポンプ設備整備工、保守点検(九十九川外)
緊急浚渫推進費	200,000	堆積土砂除去及び樹木伐採(新河岸川、小畔川、南小畔川、九十九川、不老川)
社会資本整備総合交付金(防犯)	401,769	川越公園内にて以下の工事を行う。汚水処理設備更新工事・隠屋根更新工事・流水プール側壁パネル更新工事・テニスコート更新工事・複合遊具更新工事。
公園等建設費	91,854	川越公園内にて以下の工事及び設計を行う。チューブスライダ―塗装修繕工事・ベンチスライダ―改修工事設計・フットサルコート改修調査・設計。
県営公園指定管理者委託費	138,319	川越公園の指定管理者委託費。
管繕費	37,256	県営住宅の樹木剪定工事、浄化槽保守点検業務。
管理費(埼玉県県営住宅事業特別会計)(県営住宅所在市町村交付金)	53,762	県営住宅が所在する市町村に対して固定資産税相当額を支払う。
荒川右岸流域下水道事業費	1,500,194	【工事】処理場3系-2号送風機改築工事【越江川幹線第2-2号ほか流量計改築工事 など。
荒川右岸流域下水道事業費	110,000	【委託】総合地産対策計画策定業務委託 など。
教職員住宅等管理費	191,903	旧川越岸町二丁目教職員住宅の解体工事を行う。
いじめ・不登校総合対策費(中学校配置相談員助成)	15,810	中学校相談員の配置事業を実施する市町村に対し、助成金を交付する。
いじめ・不登校総合対策費(スクールカウンセラーの配置)	30,435	スクールカウンセラーを全小・中学校に配置する。
産業教育設備整備事業	11,930	技術革新の進展及び時代の要請に応える産業教育を行い、地域産業を担う人材を育成していくために、産業教育設備の整備を行う。
県立学校建物等維持管理費(県立学校維持修繕費)	22,840	教育財産の保全に努める適正な財産管理を実施するため、県立学校の建物、敷地等の維持・補修を実施する。
県立学校大規模改修費(高等学校大規模改修費)	326,797	県立学校の老朽化対策のため、校舎の大規模な改修を行う。
県立学校大規模改修費(特別支援学校大規模改修費)	280,894	県立学校の老朽化対策のため、空調設備の改修を行う。
県立高等学校エレベーター等設置費	327,558	歩行に障害のある生徒が進学先の高校を広く選択できる環境を早期に整備するため、エレベーター等を整備する。
警察本部	190,989	川越警察署設備改修費(総務事業第2年次支出額)
川越警察署の冷暖房設備の改修を実施する。		

県政へのご意見・ご要望をお寄せください。

須賀昭夫政務活動事務所 〒350-0066 川越市連雀町14-5 1F

電話/FAX: 049-299-7130 E-mail: info@akiosuga.net

QRコード: 須賀昭夫HP, 須賀昭夫FB

ホームページ フェイスブック

埼玉県議会議員 県政報告

令和5年(2023年)8月
 県議会5月臨時会
 6月定例会報告
 発行
 埼玉県議会自由民主党議員団
 須賀あきお

ス 須賀あきお

皆さまの負託に応えるため
 全力で働きます！

先の統一地方選挙を通じて、私たちは県民の皆さまから様々な「声」を頂いてまいりました。この「声」をしっかりと受け止め、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づき、誰もが安心して豊かに暮らせる郷土・埼玉を築いていかなければと決意を新たにしています。

私が所属する自民党議員団は総勢58名でスタートすることとなりました。県議会の過半数を占める最大会派として、その責任を重く感じているところです。また、私は今期、文教委員会と自然再生・循環社会対策特別委員会、図書室委員会に所属することになりました。県議団の仲間と力を合わせ、県政の課題に全力で取り組んでまいります。

今後とも皆さまのより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い致します。



役職 埼玉県議会
 自由民主党議員団彩優会(一期会)副会長

所属委員会 文教委員会/図書室委員会
 自然再生・循環社会対策特別委員会

県議会5月臨時会・6月定例会報告

大型補正予算
 約183億8千万円を議決

選挙後初となる県議会は5月23・24日に「5月臨時会」が開催され、第1号補正予算183億8,387万9千円の計上等を議決しました。また、6月19日からは「6月定例会」が開催され、「埼玉県税条例の一部を改正する条例」などを議決し7月7日に閉会しました。

5月臨時会で議決した第1号補正予算は、国の「物価高克服に向けた追加策」に対応した、エネルギー・食品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者への支援策です。その概要は次の通りとなります。

- ①物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援 **46億7,877万8千円**
- ②物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援 **115億4,191万1千円**
- ③物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援 **21億6,319万円**

農業者等の免税軽油の利用環境改善へ

6月定例会で議決した「埼玉県税条例の一部を改正する条例」は、主に自動車税(環境性能割)と軽油引取税の改正です。

自動車税の改正は、地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率を決める燃費基準を段階的に引き上げるためのものです。軽油引取税の改正は、原油価格の高騰を受け農業者等の税負担を軽減するとともに、県への報告制度を年1回に簡素化させることで、より免税軽油が利用しやすい環境となります。(詳細は下表を参照)

条例の概要

埼玉県税条例の一部を改正する条例

<自動車税(環境性能割)>
 地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率の基となる燃費基準の達成度合いを段階的に引き上げる。

<軽油引取税>
 トラクターや掘削機など公道を走らない車両の軽油は、免税を受けることが可能。この免税軽油の利用者のうち、**農業者等**について、軽油購入数量等の報告頻度を緩和する。

○緩和の内容(購入数量が年間3キロリットル以下の場合)

区分	報告頻度	改正後
免税1年目	毎月	1年に1回
2年目以降	1年に1度	

川越市に係る令和5年度埼玉県の事業予算

事業費として川越市のために使われる予算、並びに負担金・補助金・委託金として川越市及び関係する自治体に交付される予算です。1件1,000万円以上の事業をご紹介します。

事業名	予算額(千円)	事業概要
市町村交付金(県知事選挙の執行委託費)	75,986	県知事選挙に係る執行経費交付金。
市町村交付金(県議会議員選挙の執行委託費)	50,891	県議会議員選挙に係る執行経費交付金。
国土調査費(地籍調査事業費)うち地籍調査事業	10,883	地籍調査を実施する川越市へ補助金を交付する。
地方分権推進交付金(埼玉県分権推進交付金)	16,697	事務処理特別制度により県から市に移譲した事務処理に要する経費について交付する交付金。
学校法人等助成費(私立幼稚園運営費補助)	1,707,268	私立学校の教育条件の維持・向上、修学上の経済的負担の軽減及び私立学校の経営の健全化を図るため経常的経費に対して補助する。
子育てのための施設等利用給付費負担金	356,333	園児の健やかな成長と、保護者の経済負担の軽減のため、私立幼稚園(未移行園)に対して市町村が行った保育料等の無償化に係る施設等利用給付費の一部を負担する。
私立幼稚園等特別支援教育費	23,128	私立幼稚園等における特別支援教育充実及び障害等のある幼児の入園促進のため補助する。
学校法人等助成費(私立学校運営費補助)	2,535,755	次代を担う「人材」開発に寄与する私立学校の教育条件の維持向上及び経営の健全性の確保を図るため、私立学校の経常的経費に対して補助を行う。
私立学校父母負担軽減事業補助(私立学校父母負担軽減事業補助)	415,460	教育の機会均等を確保するとともに、生徒納付金の公私間格差を更に縮小するため、収入が一定金額以下の私立学校に通う世帯を対象に教育費の負担を軽減する。
私立学校父母負担軽減事業補助(私立高等学校等就学支援金)	813,839	私立高等学校等に通う所得が一定金額以下の世帯に対し、授業料に充てるための補助金を国が支給する。
私立学校父母負担軽減事業補助(私立高等学校等就学のための給付金事業)	40,028	教育の機会均等を確保するとともに、家計が厳しい世帯の教育費負担を軽減するため、一定の収入以下の私立学校に通う世帯を対象に高等学校等就学のための給付金を支給する。
県有財産管理営繕事業費(県有施設改修・修繕事業費)	64,689	県有施設の改修や維持修繕を実施し、適正な財産管理及び執務環境の整備を図る。
県有財産管理営繕事業費(県有施設エコオフィス化改修事業費)	114,236	県有施設の設備改修を実施し、適正な財産管理及び執務環境の整備を図る。
県有財産管理事業費(公有財産等管理事業費)	16,734	国有資産等所在市町村交付金法に基づき、地方税法上非課税である県有固定資産のうち県以外の者が使用している資産について、その所在市町村に対して固定資産税相当額を交付するもの。
埼玉県地域福祉支援計画推進事業費(地域包括ケアシステム深化・推進事業)	11,000	社会福祉法に基づき市町村が実施する重層的支援体制整備事業に必要な費用を交付するもの。
介護保険制度推進事業(地域支援事業交付金)	176,954	介護保険法に基づき市町村が実施する地域支援事業に必要な費用を交付するもの。
介護職員処遇改善特別対策事業費(施設開設準備経費等支援事業費補助)	67,706	地域密着型介護施設の開設準備等に要する経費について助成を行う。
介護基盤緊急整備等特別対策事業費	321,600	介護施設等の整備費を助成する。
在宅重症心身障害児レスパイトケア事業	10,905	医療的ケアが必要な在宅の重症心身障害児者をショートステイ及びデイサービスで受け入れた施設に対して、市町村が補助をした費用の1/2を助成する。
市町村地域生活支援事業費	43,205	市町村等が行う意思疎通支援や移動支援などの地域生活支援事業に対して経費の一部を補助する。
放課後児童対策事業助成費(埼玉版放課後児童健全育成事業)	145,503	市町村に対し放課後児童健全育成事業に要する経費を助成する。新たに放課後児童クラブを設置するため、新設整備や余裕教室等を活用した改修整備を行う市町村に対し必要な経費の一部を助成する。
子育て支援特別対策事業費(地域子育て支援事業費)	65,424	地域子育て支援拠点事業、ファミリー・サポート・センター事業及び保護者のニーズに合った子育て支援サービスを提案する利用者支援事業を実施する市町村に対して、運営費を助成する。
保育所地域子育て支援事業費	55,253	子育て支援及び保育に対する多様なニーズに対応するため、延長保育促進事業、一時預かり事業、病児保育事業等に対して助成する。
保育体制強化事業	25,040	地域住民や子育て経験者などの多様な人材を保育に係る周辺業務に活用する費用に補助する。
多子世帯保育料軽減事業	48,913	保育所等に入所する第三子以降の児童の保育料を助成する。
新型コロナウイルス感染症対策事業費	91,240	【専用医療施設(仮称)の整備】仮設のコロナ専用病棟を整備する医療機関に対し、設備整備費用を補助する。
保険給付費等交付金(特別交付金のうち特定健康診査等負担金)	73,196	特定健康診査及び特定保険指導に要する費用の一部を県及び国が負担する。
後期高齢者医療対策費(保険基盤安定事業負担金)	532,080	低所得者等に対する保険料軽減分の3/4を市町村へ交付。
乳幼児医療対策助成費	127,863	乳幼児の医療費の自己負担部分を助成する。
重度心身障害者医療対策助成費	272,997	重度心身障害者の医療費の自己負担部分を助成する。
ひとり親家庭等医療対策助成費	33,625	ひとり親家庭等の医療費の自己負担部分を助成する。
険給付費等交付金(特別交付金のうち県繰入金)	109,381	国保財政の安定化・健全な運営に資する事業・評価に対し、交付する。

事業名	予算額(千円)	事業概要
国民健康保険基盤安定事業負担金	495,436 130,915 34,178	①低所得者に対する保険料軽減相当額の一部を負担する。②軽減対象となった一般被保険者数に応じた一定割合を負担する。③未就学児の均等割保険料軽減相当額の一部を負担する。
新型コロナウイルス感染症対策事業費(設備整備事業)	369,718	新型コロナウイルス感染症対応に必要な医療機関の設備整備等を助成する。
新型コロナウイルス感染症対策事業費(医療提供体制支援事業)	6,036,995	新型コロナウイルス感染症に対応する入院医療体制を確保するため、医療機関への病床確保料、入院患者受入協力金、医療従事者手当等を交付する。
新型コロナウイルス感染症対策事業費(新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業)	55,689	新型コロナウイルス感染症に対応するため、市町村が実施する感染拡大防止や医療提供体制の整備等の事業に対して交付金を交付する。
周産期医療体制整備費(周産期医療体制整備費)	200,159	周産期医療施設の運営費に対する助成。
救命医療対策費(救命医療体制施設・設備整備事業費)	16,380	救命救急センター等の機能強化に係る医療機器設備に対する助成。
周産期医療体制整備費(NICU後方支援体制整備費)	30,929	NICU等に入院している乳幼児等を対象に、その円滑な退院を促進する。
救急医療対策費(母体救命コントロールセンター運営事業)	43,349	救命を必要とする妊産婦の受入等を実施する母体救命コントロールセンターを設置し、搬送体制の確保を図る。
救急医療対策費(二次救急医療において夜間・休日小児救急患者の診療を行う事業に対する助成)	42,707	二次救急医療圏において夜間・休日小児救急患者の診療を行う事業に対する助成。
救急医療対策費(救命救急センターの運営費等に対する助成)	57,225	救命救急センターの運営費等に対する助成。
救急医療対策費(小児救命救急センターの運営費等に対する助成)	211,614	小児救命救急センターの運営費等に対する助成。
救急医療対策費(小児救命救急センターの運営費等に対する助成)	12,612	小児の集中治療に係る専門的な実地研修への補助。
救急医療対策費(ドクターヘリの運航に対する助成)	260,045	ドクターヘリの運航に対する助成。
救急医療対策費(搬送調整体制強化事業)	24,982	全県の救急患者を対象とした搬送調整の実施。
看護師等養成所運営費補助	54,400	看護師等養成所における養成力の強化と教育内容の充実を図るため、看護師等養成所の運営費に対して補助を行う。
病院内保育所運営費補助	27,028	子供をもつ医療従事者の離職防止・復職を支援するため、病院内保育所を有する医療機関に対して、その運営に係る人件費・委託料の補助を行う。
母子保健推進費(出産・子育て応援事業費のうち伴走型相談支援分)	20,864	市町村が実施する、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信を行うことを通じて必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」実施に係る職員人件費等の費用を補助する。
母子保健推進費(出産・子育て応援事業費のうち出産及び子育て応援ギフト分)	75,091	市町村による、伴走型相談支援に併せて実施する妊娠届出時及び出生届出後にギフトを交付する事業に対し、補助金を交付する。
小規模事業者経営支援推進費	67,041	商工会議所の行う小規模事業者の経営の改善・発展を図るための経営改善普及事業に対し補助する。(川越商工会議所)
西部地域振興ふれあい拠点施設管理費	91,508	西部地域振興ふれあい拠点施設の管理費等。
シニア活躍推進事業費(シニアの多様な働き方支援事業)	143,673	セカンドキャリアセンター(県内9か所)において、全ての求職者を対象に、就職相談から職業紹介まで一体的に就業支援を実施する。(9か所のうち1か所が川越市)
高等技術専門校施設管理費	21,366	高等技術専門校の施設維持管理により、施設・設備の保守や修繕等を行い、訓練環境を整備する。
技能向上訓練推進費	263,588	高等技術専門校において職業訓練を実施するための運営経費。
県内企業の人材育成総合支援事業費	84,415	在職者や中小企業を対象とした技能講習を高等技術専門校において実施するための運営経費。
かんがい排水事業費	40,845	伊佐沼代水路測量・設計一式。
多面的機能支援事業	30,847	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援するもの。
水辺周辺活用事業(農業用水)	150,000	伊佐沼代水路水辺空間の利活用を推進するため、市町村と連携し水辺拠点の整備、水辺再生箇所の整備を行うもの。
家畜保健衛生所機能強化事業費	156,268	バイオセキュリティの向上を図り、家畜防疫体制の強化を目指すため、川越家畜保健衛生所の耐震及び改修工事を行う。
交通安全施設整備事業費	10,000	川越所沢線(今福)L=300mW=9.0(16.0)m
交通安全施設整備事業費	126,520	川越栗橋線(府川)L=340mW=9.0(17.5)m
社会資本整備総合交付金(交通安全)事業費	30,000	川越日高線(笠橋)L=180mW=8.8(12.0)m
社会資本整備総合交付金(街路)事業費	10,000	川越北環状線L=1,250mW=14.5(25.0)m
交差点整備費	83,700	川越栗橋線(府川)L=340mW=9.0(17.5)m
交差点整備費	10,000	川越日高線(笠橋)L=180mW=8.8(12.0)m
橋りょう架換費	419,450	川越日高線(新琵琶橋)L=200mW=7.0(15.0)m
自転車歩行者道整備費	10,000	国道254号(山田)L=24mW=16.0m
社会資本整備総合交付金(交通安全)事業費	10,000	川越越生線(釣場)L=495mW=6.0(14.0)m
舗装道整備費	80,000	県道川越越生線(舗装修繕)W=11.0mL=300m

ス 須賀あきお

県議会9月定例会報告

補正予算
【第2号】 **165億1,057万9千円**

コロナ支援継続・重要公共事業の追加・eスポーツ普及へ

県議会9月定例会は9月22日から10月13日にかけて開催され、一般会計補正予算【第2号】165億1,057万9千円の計上等を議決しました。

補正予算の主な内容は、高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続のための予算として69億4,946万6千円、重要な公共事業の追加予算として21億6,345万3千円、企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大のためのイベント開催に要する予算として1,062万9千円など、当面对応すべき事業に対する補正予算が盛り込まれました。



初の県議会一般質問終了後、大野元裕知事と(10月2日)。

氏名 埼玉県議会 自由民主党議員団員褒会(一期会)副会長
所属委員会 文教委員会/図書室委員会 自然再生・循環社会対策特別委員会

公共事業の追加/企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大

公共事業の追加	21億6,345万3千円	企業版ふるさと納税を活用したeスポーツイベントの開催	1,062万9千円
公共事業の内定増に伴う追加工事の実施 > 道路・街路事業 21箇所 > 河川事業 13箇所 > 公園事業 1箇所 計 35箇所 例: 越谷野田線(松伏町) ・地盤改良工事 ・工事着手の前倒し (令和6年4月予定→令和5年10月予定) 例: 飯盛川(坂戸市) ・排水機場整備工事、用地買収 ・工事着手の前倒し (令和6年4月予定→令和5年10月予定) 熊谷スポーツ文化公園(熊谷市) ・損傷の激しい駐車場舗装の改修を実施 ・工事着手の前倒し (令和6年4月予定→令和5年10月予定)		概要 eスポーツの普及・裾野拡大に向け、その地域活性化など多彩な可能性を実証するため、2つのイベントを開催 (1) 普及イベント > 対象: 誰もが参加可能(参加無料) > 内容: ・プロ選手エキシビジョンマッチ ・ビギナー向け体験会 ・プロ選手との交流会 等 (2) トレーニングキャンプ > 対象: 高校生(公募25名程) > 内容: ・プロチームによる指導(操作技術、戦術等) ・メンタル、食事等指導 ・学校関係者、県内企業の見学受入れ 等	

シェイクアウト埼玉へのご参加、ありがとうございました。

■実施日: 令和5年9月1日 11時58分～ ■参加人数: 594,476人
関東大震災から100年を契機に、県議会が中心となって県内一斉防災訓練を働きかけることで、県民をはじめ県内在勤・在学の方の「自助」「共助」の意識向上をめざし、シェイクアウト埼玉(埼玉県内一斉防災訓練)を実施させていただきました。多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。



地元の川越市役所でもしっかりと実施して頂きました。川合善明川越市長と。

A 県土整備部長 現在、地元川越市や交通管理者と協議しながら、交差点の設計を実施している。この設計がまとまり次第、地元への説明会を行い、用地取得を進めていく。

いく。地元の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、地元川越市と連携し、円滑な交通と安全の確保に向けて取り組んでいく。

イ「県道川越所沢線と県道川越入間線が交わる今福交差点」について

A 県土整備部長 この交差点は右折レーンがないため、朝夕を中心に深刻な交通渋滞が発生しており、地元では早期の完成を望んでいる。現在の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

A 県土整備部長 これまでに交差点の設計が完了し、今年度は地元説明会や用地測量を進めている。今後は、地元川越市と連携しながら用地取得に着手し、円滑な交通と安全の確保に向けて取り組んでいく。

ウ「県道川越栗橋線と釘無橋南側にある市道23号線との交差点」について

A 市道23号線は川越工業団地へのアクセス向上などを目的に拡幅整備が進められており、今後、さらなる交通量の増加が見込まれている。地元では早期の完成を望んでおり、この交差点整備の現在の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

A 県土整備部長 現在の用地買収率は41%。令和5年度は、引き続き用地取得を進めるとともに、用地がまとまって確保できた交差点南側の60m区間の工事に着手する。今後も、地元川越市と連携しながら、円滑な交通と安全の確保に向け取り組んでいく。

一般質問全項目

(令和5年10月2日/一問一答式)

- 知事公約について(知事)
 - 埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進のための官民連携の取組について
 - 知事の観光に関する認識について
 - 県DMO事業本部長に期待することについて
 - 観光における本県の強みと施策について
 - 観光における地域間連携について
- 県立中高一貫校の設置について(教育長)
 - 中高一貫校の教育効果について
 - 県立中高一貫校設置拡大について
- 横断歩道における歩行者優先の意識づけについて(県民生活部長)
- 公払法と用地取得について(県土整備部長)
 - 公払法における譲渡制限期間について
 - 円滑な用地取得について
- マンションの老朽化について(都市整備部長)
- 商店街のインフラ整備に対する支援について(産業労働部長)
 - 各商店街のニーズについて
 - 県の支援について

- 「近いがうまい埼玉産」について(農林部長)
 - 「近いがうまい埼玉産」の意義について
 - 立地の優位性を販売促進につなげる取組について
- 激甚化する異常気象による農業への影響について(農林部長)
 - 異常気象による農業への影響について
 - 異常気象下の農業支援について
- 地元問題(県土整備部長)
 - 川越市内の渋滞対策について
 - 県道川越日高線と県道川越越生線が交わる的場交差点について
 - 伊「県道川越所沢線と県道川越入間線が交わる今福交差点」について
 - ウ「県道川越栗橋線と釘無橋南側にある市道23号線との交差点」について
 - 都市計画道路川越北環状線の4車線化整備について
 - 新河岸川の河川改修について



※一般質問の全文はこちらから

地域の発展と安心・安全の実現に向け東奔西走

文教委員会で茨城の先進事例を施策

8月28日・29日の2日間、文教委員会で茨城県立IT未来高等学校(笠間市)と牛久シャトー(牛久市)を視察してきました。

茨城県立IT未来高等学校は、全国初のIT専科公立高校として今年4月に開校。コンピュータ機器をはじめ、VR機器、3Dプリンター、CG制作ソフトなど最先端技術を導入し、県内随一のICT環境を整備しています。特色ある高校づくりについて学ばせて頂きました。

続いて牛久シャトー。平成19年に「近代化産業遺産」に認定され、平成20年には国の重要文化財に指定、令和2年に「日本遺産」に認定されるなど、近年、その歴史的価値の高さが広く認められています。文化資源の保存・活用に係る取り組みを学びました。



▲茨城県立IT未来高等学校正門前にて

和光富士見バイパス 開通記念式典に出席

国道254号和光富士見バイパス開通記念式典が7月30日に開催され出席しました。

今後も更なる延伸にむけ、私もしっかりと勉強させて頂きながら、皆さんと力を合わせて頑張ります。



県政へのご意見・ご要望をお寄せください。

須賀昭夫政務活動事務所 〒350-0066 川越市運雀町14-5 1F

電話/FAX: 049-210-3323 E-mail: info@akiosuga.net



ホームページ



フェイスブック

一般質問に登壇し県の施策に対し質問・提言

9月定例会では一般質問に登壇し、県の施策に対して9項目22件について質問・提言を行いました。今号はその中から3項目について概要を掲載しました。どうぞ一読いただき、県政に対するご意見などをお寄せください。

知事公約について

(1) 埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進のための官民連携の取り組みについて

Q 先の知事選挙において、知事の政策集に「埼玉版スーパー・シティプロジェクトを拡大させると同時に、参加する応援企業等の拡充や市町村とのマッチング機会の増加を図る」との記載がある。そこで、プロジェクト推進のための民間企業等とのマッチングについて、どのように取り組んでいられるのか伺いたい。

A 知事 本年4月に県が実施したアンケート結果で、課題として最も多かったのは、「ノウハウ不足」。そこで、県は、企業等が持つノウハウを市町村のまちづくりに生かせるよう、「市町村と民間企業等との交流会」や「ガバメントピッチ」など、市町村と民間企業等とのマッチングを進めている。

7月の「交流会」は、市町村・民間企業等から合計140人が参加。また「ガバメントピッチ」を8月に開催し2日間で合計



365人が参加、全ての参加者から高い評価を得ている。これらの取り組みを通じ、連携を加速したいと考えている。

Q 民間企業等からの提案を生かして市町村における事業化が進むよう、県も支援を講じるべきと考えるが、知事の見解を伺いたい。

A 知事 議員ご指摘のとおり、県も民間企業等からの課題解決への提案を生かし、事業化が進むよう支援することは重要と考えている。今後は、民間企業等からの提案について、県がその内容や市町村のニーズとの整合性をしっかりと精査をした上で、市町村に対しアドバイスを行うなど、両者のマッチングの支援をするなど、丁寧に伴走型で支援をしていく。

(2) 知事の観光に関する認識について

Q 知事の政策集に観光についての記載がない。これは知事が観光を重視していないことの表れなのか、知事の観光に対する認識を伺いたい。

A 知事 私の政策集では「時宜を逃さず、変化する社会・経済情勢に応じた経済施策を確実に実行する」と掲げたが、正に今、観光施策を進めるチャンスと考えている。観光は、宿泊、交通、飲食、物販など地域の幅広い業種に経済効果が及ぶ極めて重要な分野。この機を逃さず地域経済の活性化を図っていききたい。

(3) 県DMO事業本部長に期待することについて

Q コロナの5類移行後、観光業に追い風が吹いていると認識している。観光振興のかじ取り役となる県DMO、本県では埼玉県物産観光協会がその役割を担っているが、DMO事業本部長を10月1日付けで新たに外部から登用したと聞いている。観光の魅力を高めていくため、新DMO事業本部長にどのようなことを期待し、その能力が発揮できる環境を整えるためにどのような支援を行うのか伺いたい。

Q 政策集に観光の記述がなかったことに、観光に携わる方々からは「残念だ」という声も聞いている。改めて知事の強い決意を伺いたい。

A 知事 本県のDMOについて物産については充実してきたものの、観光については期待していた結果ではなく、人事に着手したり、あるいは、二期目に入ってからインバウンドキックオフミーティングとして、海外に向けた取り組みを進めている。この時宜を捉え、着実に観光振興を図るとともに、結果に結びつくように努力したいと決意を新たにしている。

A 知事 私も直接話したが、広域DMOや日本政府観光局においてインバウンド誘客などに携わっていたほか、海外で生活した経験から諸外国の文化にも精通しており、県DMOで大いに力を発揮していただける人物と確信した。

新本部長がその能力を存分に発揮をするため、県DMOではインバウンド、地域の観光づくり、デジタルマーケティングの各分野で新たに人材を採用し、本部長を支える体制を整えた。引き続き県としても着実に支援をしていく。

(4) 観光における本県の強みと施策について

Q 忘れてはならないのは、観光誘客に取り組んでいるのは本県だけではないということ。本県にも魅力的な観光地が数多くあるが、他都県と戦っていくためには、本県の

強みをしっかりと認識し、その強みを最大限に生かすことが大切。観光における本県の強みは何か、それを生かした観光施策にはどのようなものがあるか伺いたい。

A 知事 本県は魅力的な観光資源が海以外は全てそろっていることが最大の強みと考えている。しかも東京発の7路線の新幹線のうち、6路線が埼玉を經由している等、特に交通の利便性が高い点を生かしたいと思っている。例えば9月19日には、「埼玉県インバウンド・キックオフミーティング」を開催し、私から都内ホテルのコンシェルジュやあるいは観光事業者に対し、本県観光の魅力やPRし、埼玉に来てほしいと強く訴えた。自然や歴史、文化など多彩な観光の魅力

に恵まれ、首都圏からアクセスが良いという本県の強みを生かし、更なる観光振興の取り組みを進める。

▶都道府県会館で行われた「埼玉県インバウンド・キックオフミーティング」の様子(9月19日)



(5) 観光における地域間連携について

Q 考えなければならないことは世界が相手だ、ということ。近隣都県は強力なライバルだが、連携すべき仲間でもある。埼玉県が単独で作戦を練って戦うのではなく、近隣都県との地域間連携でインバウンドを広い「面」で受け止め、その中で本県の魅力を発信していくべきではないかと考える。知事の所見を伺いたい。

A 知事 平成30年に関東近県の1都10県や交通事業者などで一般社団法人関東広域観光機構を設立し、各

地の観光情報をSNSで発信するなど、共同してプロモーションを実施している。8月には東京都と連携して、オリパラのレガシーをテーマにアメリカ人インフルエンサーを招聘し、会場となった国立競技場やさいたまスーパーアリーナに加え、新宿や川越などを周遊するツアーを行った。こうした連携により本県の観光の魅力を効果的に発信し、外国人観光客の誘致に努めるとともに、その中でも埼玉県を選んでいただける努力をしていきたい。

商店街のインフラ整備に対する支援について

(1) 各商店街のニーズについて

Q 商店街は身近な買い物場であると同時に、地域コミュニティになくはならないものであり、商店街を活性化させるためにはインフラ整備が重要だと考える。例えば街路灯や人々の安心・安全を守る防犯カメラ、天候に関係なく利用できるアーケードなど、様々なものが考えられるが、県は商店街のインフラ整備に対するニーズをどのように把握しているのか伺いたい。

A 産業労働部長 商店街のインフラ整備に対するニーズについては、毎年9月頃に市町村を通じて把握している。昨年度は、コロナ禍で苦しんでいる商店街の実状把握も兼ね、県職員が直接、県内のほぼ全ての商店街437商店街を訪問し、抱えている課題や今後の方向性、県への要望などを聞いた。商店街からの話を受け、専門家によるアドバイスにつなげ、賑わいイベントの支援に発展した事例もある。

(2) 県の支援について

Q 私は、各商店街にはニーズを具現化し、インフラ整備を進めて魅力を高めてもらいたいと考えている。ニーズに対して県はどのような支援をおこなっているのか伺いたい。

A 産業労働部長 県では、商店街の活性化につながるインフラ整備に対し、「商店街施設整備補助事業」を実施している。今年度は街路灯のLED化7件、防犯カメラの設置5件など、13の商店街から申請があった。一方で、商店街からは大規模事業の要望もあり、令和3年度からは、国の補助に県が上乗せすることで、補助率4分の3、最大4,000万円を補助する「地域商業機



Q 街路灯のLED化のニーズが多いとのこと。LEDは商店街を華やかにするだけでなく、防犯にも役立ち、また電気料金の上昇傾向が続いていることから、商店街には是非、街路灯をLEDに改修してもらいたいと思う。県としてどのように商店街にLED化を促していくのか伺う。

A 産業労働部長 県内商店街の街路灯LED化率は約8割。残り2割の商店街に対し、市町村と連携して個別に働き掛けていく。

◀設置されたLED街路灯(県内の事例)

地元問題

(1) 川越市内の渋滞対策について

ア「県道川越日高線と県道川越越生線が交わる的場交差点」について

Q 地元からは市内の渋滞解消を願う声をたくさんいただいている。現在、県は交差点の整備を進めているが、

地元は早期の完成を望んでいる。この交差点整備の現在の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

(2)異常気象下の農業支援について

物価高騰など厳しいなか、自然災害の激化により、農業生産者は厳しい追い打ちをかけられている。県は生産者支援の観点からどのような取り組みをしていくのか。これまでと同じでは生産者の支援にならず、思い切った新しい政策が必要と考えるが所見を伺う。

A 農林部長 高温に対応した品種開発や生産環境の整備が重要であり、水稲では従来品種から高温に強い彩

のきずなへの切り替えや、新たに開発した高温耐性品種みほころの県内への着実な導入を図る。施設園芸では、地下水式ヒートポンプや細霧冷房など、ハウス内の温度上昇を抑制する機器の導入を支援している。また花では、夏期の高温に対応した新品目、新品種の種苗購入費などを支援する取り組みを始めたところ。今後も自然環境の変化に対応した新品種や新技術の導入などに取り組む。

地元問題

都市計画道路川越北環状線の4車線化整備について

小室交差点から国道16号の脇田新町交差点までの区間は2車線であることから交通渋滞が生じ、地元の4車線化への期待が高まっている。県も全線4車線化に向け事業に着手したが、小室交差点から脇田新町交差点までの区間の現在の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

A 県土整備部長 小室交差点から国道16号の脇田新町交差点までの約1.2km区間は、令和5年2月に都市計

画事業認可を取得し、4車線化への拡幅事業に着手したところ。令和5年度は用地測量や道路詳細設計を行うとともに、道路の拡幅予定地にある鉄塔の移設について、東京電力と協議を実施している。

引き続き、鉄塔移設に向けた調整を進めるとともに、地元の皆様のご理解・ご協力をいただきながら用地取得を行い、4車線化の整備に取り組んでいく。

新河岸川の河川改修について

新河岸川流域の川越市寺尾地区や大仙波地区では、平成29年の台風第21号や令和元年の東日本台風で大規模な浸水被害となった。県は浸水被害を軽減させるために堤防や護岸を整備する工事を、新河岸川の置橋から貝塚橋までの区間で進めている。そこで、この区間の進捗状況について伺いたい。

A 県土整備部長 これまでに置橋の架換えが完了し、左岸側220m、右岸側380mの整備が完了している。令和5年度は、滝下橋・弁天橋の架換え工事を順次進めるとともに、左岸側120m及び右岸側200mの整備も進めている。

引き続き治水安全度の向上を図るため、河川改修の早期完成に努めていく。

議員団1期生有志で視察



▲自民党議員団1期生の有志で「元荒川水循環センター(桶川市)」を視察しました。



▲東日本大震災の遺構として保存・整備された「仙台市立荒浜小学校」の前で。

文教委員会視察

◀山形県初の併設型中高一貫教育校「山形県立東桜学園中学校・高等学校」を視察しました。



▲詳しい説明を受けた後の質疑の様子(山形県立東桜学園中学校・高等学校にて)。

県政へのご意見・ご要望をお寄せください。

須賀昭夫政務活動事務所 〒350-0066 川越市連雀町14-5 1F

電話/FAX: 049-210-3323 E-mail: info@akiosuga.net

本報りバックナンバーはHPからご覧いただけます。また、須賀昭夫政務活動事務所にバックナンバーがあります。(無くなり次第終了)



ホームページ



フェイスブック

埼玉県議会議員 県政報告(第3号)

令和6年(2024年)2月

県議会12月
定例会報告

執行
埼玉県議会自由民主党議員団
須賀あきお

ス 須賀あきお

県議会
12月
定例会報告

物価高への緊急支援に約115億円 猛暑被害の農家支援に約1億円を議決

県議会12月定例会は12月4日から22日の日程で開催され、一般会計補正予算【第3号】9,688万1千円、【第4号】18億1,140万4千円、【第5号】114億9,715万2千円等を議決しました。

補正予算【第3号】は、令和5年夏の猛暑による水稲、大豆の高温障害を受け、次期作付けにかかる種苗や肥料購入経費を補助するための予算、補正予算【第4号】は、職員給与の改定等に伴う予算が主な内容となっています。

補正予算【第5号】は、物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するための、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づくものです。これまで県が進めてきた福祉・医療施設等への光熱費等の支援やLPガスを使う一般家庭への支援等に加え、トラック運送事業者に対する燃料費の支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減策、一人親家庭の子供の進学等への支援等が新たに盛り込まれました。



▲大野元裕知事及び県執行部と議会の新年賀詞交換会にて。

埼玉県議会自由民主党議員団
彩優会(一期会) 副会長

所属委員会
文教委員会/図書室委員会
自然再生・循環社会対策特別委員会

一般会計 補正予算【第3号】 9,688万1千円	※高温などによる水稲及び大豆の被害への対応(9,676万5千円)など。
一般会計 補正予算【第4号】 18億1,140万4千円	※人事委員会勧告及び報告を踏まえた職員給与の改定等に伴う給与のため。
一般会計 補正予算【第5号】 114億9,715万2千円	※価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するため、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく補正予算を活用した予算。

《一般会計 補正後累計 2兆2,593億9,489万5千円》

農林業ドリームフェスタに出席

農林業ドリームフェスタが11月25日・26日の両日、4年ぶりに熊谷スポーツ文化公園で開催されました。



新鮮な農産物の販売やステージイベントなどの催しの他、「彩の国米まつり」や「おいしさいっぱい畜産フェア」なども同時開催され、たくさんの来場者でたいへんな賑わいでした。

◀JAいるま野出店ブースでは狭山茶の詰め放題が人気を呼んでいました。



▲農林業ドリームフェスタ式典終了後、大野元裕知事(中央)を囲み長峰秀和県議(左/鶴ヶ島市)と私(右)。

能登半島地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。



一般質問に登壇し 県の施策に対し質問・提言

(令和5年10月2日)

県議会9月定例会で行いました一般質問(全9項目)の中から、今号は7項目を抜粋し概要を掲載いたしました。

どうぞご一読いただき、県政に対するご意見などをお寄せください。



※一般質問の全文はこちらから

県立中高一貫校の設置について

中高一貫校の教育効果について

私は中高一貫教育は、高校入試のないゆとりある6年間の中で、自己の興味・関心に応じた様々な活動に集中して取り組むことができ、また、中学校と高校の指導内容を組み替えることで、より効果的なカリキュラムを編成できるなどのメリットがあると考えている。また、中学



生と高校生が学校行事や部活動と一緒に取り組むことで、異年齢交流ができることもメリットだ。中高一貫校での教育効果について教育長の所見を伺いたい。

A 教育長 議員お話しのとおり、中高一貫教育は幅広い年齢の生徒同士の交流ができ、ゆとりある6年間の中で教育課程を柔軟に編成し、生徒の発展的な学びにつなげている。また、6年間一人ひとりに合った学習をきめ細かに実践することで、進路実現に繋げている。さらに中学生から、校内の高校生や卒業生との交流によって、生徒自身が自ら進路を主体的に考える力の育成が図られるなどの教育効果がある。

県立中高一貫校設置拡大について

私の周りからは、「身近に通える場所に県立の中高一貫校があれば」という声や、「伊奈学園は遠いのであきらめようかと思う」といった声が寄せられている。

現在、県は新たな中高一貫校の設置検討を進めていると思うが、県立中高一貫校設置拡大の検討を速やかに進めるべきと考える。教育長の考えを伺いたい。

A 教育長 県では、伊奈学園中学校の生徒へのアンケート調査や、他県の特徴ある中高一貫校の視察などを行い、新たな中高一貫校の設置検討を進めている。県としては、これから進学を考える児童や保護者の中高一貫教育へのニーズ把握を行うとともに、特色ある教育課程や、生徒の通学の利便性にも配慮した配置の在り方など検討を進めていく。

横断歩道における歩行者優先の意識づけについて

JAF、日本自動車連盟が令和4年実施した調査によると、信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止率において、埼玉県は34.5%で全国平均の39.8%を5.3ポイント下回り、全国順位も27位と低迷している。改めて、横断歩道は歩行者優先である、しっかりと意識付けをしなければならないと考える。県では、どのような取り組みをしているのか伺いたい。

A 県民生活部長 県では、ホームページやSNS、彩の国だよりなどで、横断歩道上の交通安全について、広く周知を図っている。また、春と



秋の全国交通安全運動の重点項目に「横断歩道における歩行者優先の徹底」を掲げ、集中的に啓発活動を実施した。今後も歩行者の安全確保に努める。

Q 横断歩道における停止率が全国平均を下回っている現状をふまえると、運転者にさらなる意識付けを行う必要があると考える。運転者に対し、どのように周知を図っていくのか伺いたい。

A 県民生活部長 この冬の交通事故防止運動では、商業施設等でのキャンペーンや通勤時間帯を中心としたラジオCMなど、運転者に的を絞った広報を展開する。また高齢運転者へは、令和6年度開設する高齢者講習施設で運転シミュレータを活用し、横断歩道上の事故の危険性を体感する取り組みも予定している。今後も工夫して周知に取り組んでいく。

公拡法と用地取得について

Q 県内の公共事業において、用地取得がなかなか進まないという現状がある。県民の要望に応え、利便性向上のため、円滑な用地取得が望まれる。今後、用地取得のためにどのような方策を図っていくのか、県土整備部長に伺う。

A 県土整備部長 近年、県の事業量が大幅に増加し、円滑な用地取得が一層重要となっている。このため、研修会の開催等により用地担当職員のスキルアップを図るとともに、民間の補償コンサルタントや土地開発公社への業務委託も活用している。また、地域の実情に精通している市町村への委託や職員の人事交流など、連携を図っている。

マンションの老朽化について

Q 現在、埼玉県内にある約46万戸のマンションのうち、建築後40年を超えるものは約10万戸あり、全体の5分の1以上を占めている。居住者の高齢化等に伴い、管理組合の活動が停滞し、適切な管理や必要な修繕が困難なケースが増えている。このような状況下、管理組合の機能を維持し、建物を適切に管理していくためには、管理組合の自助努力に任せるだけではなく、行政の支援や指導が必要だと考える。県としてどのように支援していくのか伺いたい。

プラザにおける相談窓口の設置などを行っている。今後は、課題があるマンションを職員が直接訪問し、県の支援制度の活用を働き掛けるなど、より積極的に支援していく。

Q 県内のマンションの大部分が立地する市の部分については、各市が事務を担うということだが、県がしっかりと各市の状況を把握し、必要なバックアップをしていただきたいと思う。どのように取り組んでいくのか伺う。

A 都市整備部長 令和2年の「マンションの管理の適正化の推進に関する法律」の改正により、市部については市、町村部については県が、マンション管理の適正化の推進を図るための事務を担うことになった。県は令和5年に「埼玉県マンション管理適正化推進計画」を策定。この計画に基づき、マンションアドバイザーの派遣や、大宮駅西口の住まい相談

A 都市整備部 県では、各市へのアンケート調査を定期的に実施し、各市における管理適正化推進計画の策定状況などを把握してきた。アンケート結果に基づく各市の進捗状況などを踏まえ、市部の管理組合についても、マンションアドバイザー派遣などの県の支援制度を活用できるようにしている。今後とも、各市に対して管理適正化推進計画の策定や支援制度の創設を働き掛けていく。

「近いがうまい埼玉産」について

「近いがうまい埼玉産」の意義について

Q 本県では「近いがうまい埼玉産」というフレーズで、県民の地産地消につながる農産物のPRに取り組んでいる。どのような真意で取り組んでいるのか伺いたい。

産者の顔が見えて安心、輸送距離が短く環境に優しいという意味がある。また、本県は734万人の人口を抱える大消費地であり、最大の消費地である東京都にも近いという意味を持たせ、平成23年度から大田市場における知事のトップセールスなど、首都圏向けのPRでも使用している。引き続き地産地消の推進及び県産農産物の販売促進に努める。

A 農林部長 県では「地産地消運動」を積極的に進め、「近いがうまい埼玉産」は、平成20年度からキャッチフレーズとして使用している。「近い」には、産地に近く新鮮、生

立地の優位性を販売促進につなげる取り組みについて

Q 高速道路網の発達等により、北関東等も東京とのアクセスが格段に向上してきている。埼玉の農産物の販売促進に繋げるためには、今後どのような取り組みが必要と考えるか伺いたい。

物のニーズが高まると期待される。この機を捉え、県産農産物キャンペーンを、今後、都内の量販店などへ拡大する取り組みを検討していく。その際、いちごや梨、世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」によるさつまいもなど、県産農産物の強みを最大限生かすことが重要。都内において県産農産物の販売促進が図られるよう、様々な取り組みを実施していく。

A 農林部長 令和6年度からはトラックドライバーの時間外労働規制が始まるため、都内の市場から県産農産

激甚化する異常気象による農業への影響について

(1)異常気象による農業への影響について

Q 令和5年の夏は非常に暑く、「異常気象」というものを肌で感じた。また、ひょうや大雨など、これまでになような気象が続発している。もはや異常気象ではなく、新しい平常の気象になってしまったのではないかとさえ感じている。こうした気象状況の農業に対する影響について現状認識を伺いたい。

A 農林部長 近年、台風や豪雨、記録的猛暑などにより、県内農業に大きな被害が出ており、農業経営への影響も大変大きいと認識している。

このため、県では農業経営収入保険などセーフティネット制度への加入を促すほか、災害発生前後には技術対策の周知を行っている。また、被害が大きい場合は、農作物の生育回復に要する経費等の補助を行うなど、早期に営農が再開されるよう支援していく。

川越まつり会館内覧会

川越市の一番街にある「川越まつり会館」がリニューアルされ、完成内覧会に伺いました(2月27日)。スクリーンが大きくなるなど、皆さんに喜んでもらえる改善点も多く見られました。私の意見も申し上げてまいりました。



東武鉄道に要望書提出

東武東上線利便性向上促進議連は2月26日、東武鉄道(株)への要望及び意見交換を行いました。ホームドアの設置や終電時間の延長など、利便性と安全性の向上を求める要望書を提出しました。



東武鉄道(株)本社にて

男女共同参画推進議員連盟総会

県議会男女共同参画推進議員連盟の総会が2月13日に開かれました。共同参画はまだまだ不十分な部分も多く、さらに推進するための議連です。



蚤の市・クラフト市準備作業

「第三回 大正浪漫夢通り 蚤の市・クラフト市(主催:大正浪漫夢通り商店街振興会)」開催の前日2月23日は、その準備作業をしました。



指が痛くなるほど寒い中で作業、皆さんお疲れ様でした。

コエド芋パークが開催

2月10日から12日の3連休は蓮馨寺にて「コエド芋パーク」が開催されました。お芋を使った美味しい食べ物はもちろん、色々なステージイベントや体験イベントもあり、多くの方々でたいへんな賑わいでした。



自民県議団一期生で県内視察

県議会自民党議員団一期生13名(彩優会)で2月17日、県内視察を行いました。

午前中は、埼玉が世界に誇る「埼玉環境科学国際センター」を訪問。環境問題を学ぶ上で、県内の児童・生徒の皆さんにはぜひ一度、訪れていただきたい素晴らしいセンターでした。

午後は、3月1日リニューアルオープン直前の「彩の国さいたま芸術劇場」へ伺いました。全てのホールに趣があり、また、耐震補強や感染症対策が施され、重厚感のある施設でした。



埼玉環境科学国際センター 彩かんかんにて



彩の国さいたま芸術劇場にて

自然再生・循環社会対策特別委員会視察

県議会自然再生・循環社会対策特別委員会は2月5日、前橋市の(株)東洋ゴムチップを訪問しました。同社は関東・東海を中心に資源循環・カーボンニュートラルを推進する企業グループの子会社で、ゴム製品の製造とリサイクル業を行っています。本県におけるサーキュラーエコノミー推進施策の参考になりました。



文教委員会視察

県議会文教委員会は1月25日、県立戸田かけはし高等特別支援学校及び白岡市役所を視察しました。



戸田かけはし高等特別支援学校にて



白岡市役所にて

狭山茶振興議員連盟視察



県議会狭山茶振興議員連盟で1月24日、入間市にある茶業研究所を視察しました。「色は静岡、香りは宇治よ、味は狭山でとどめさす」と謳われるように、狭山茶は甘く、濃厚で本当に美味しいお茶です。川越に茶の木を植えたのが元になったと言われている埼玉の名産、狭山茶を、これからも守り、さらに広く知れるよう、皆さんと共に頑張っていきたいと思います。

あかりの灯る川越の街を満喫

「あかり灯る大人な夜散歩 -川越城本丸御殿をライトアップ-」が2月9日から14日まで開催され、14日の最終日、天気良く暖かく、絶好のタイミングで伺うことができました。



県政へのご意見・ご要望をお寄せください。

須賀昭夫政務活動事務所 〒350-0066 川越市連雀町14-5 1F
電話/FAX: 049-210-3323 E-mail: info@akiosuga.net



ホームページ



フェイスブック

本紙のバックナンバーはHPからご覧いただけます。また、須賀昭夫政務活動事務所内にバックナンバーがあります。(無くなり次第終了)

埼玉県議会議員 県政報告(第4号)

令和6年(2024年)3月

県議会2月
定例会報告

発行
埼玉県議会自由民主党議員団
須賀あきお

ス 須賀あきお

県議会2月定例会 課題に真摯に挑戦する未来を切り拓く施策として

令和6年度 一般会計予算 約2兆1,197億4千万円の計上を議決

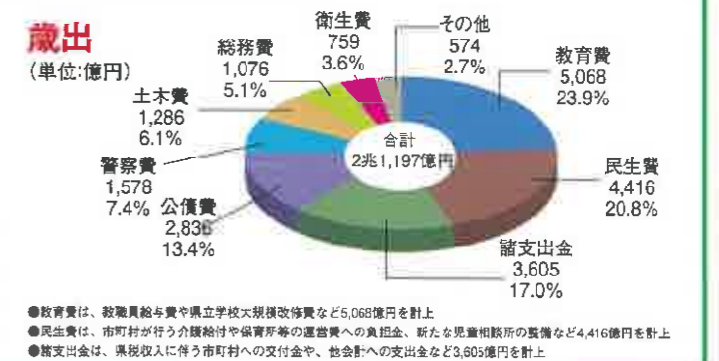


県議会2月定例会(2月20日~3月27日)は、令和6年度一般会計当初予算 2兆1,197億4,400万円、及び、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に連動した令和5年度一般会計補正予算【第6号】319億5,822万円等を議決しました。

埼玉県は今、人口減少・超少子高齢社会の到来、そして激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応という2つの大きな課題に直面しています。また、社会の在り方が変化し、多種多様な価値観が広がっている中、県民全ての人々が活躍でき、安心して暮らせる社会の実現が、一層強く求められています。

令和6年度当初予算は、これらの課題に真摯に挑戦する、未来を切り拓く内容となっています。「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け、これからも全力で働いてまいります。

令和6年度一般会計当初予算



県議会 部局別予算説明会

2月21日・22日は県議会にて令和6年度予算について、部局別の説明会がありました。初めて挑む予算審査、準備をしっかりと整えるべく日々奮闘中です!

- ▶説明会が終わり一息、一期の仲間と(2月21日/県議会委員会室にて)。
- ◀県議会自由民主党議員団控室にて。左から長峰秀和県議(鶴ヶ島市)、千葉達也県議(加須市)、私。

令和6年度 川越市の主な県事業(インフラ整備)

令和6年度、地元・川越市における予算を確保することができました主な県事業(インフラ整備)をご報告します。

県土整備部

令和6年度当初予算

路線名等 事業概要

- 1 川越北環状線 街路整備(L=1,250m、W=14.5(25.0)m)
- 2 川越北環状線 社会資本整備総合交付金(街路)事業(L=1,250m、W=14.5(25.0)m)
- 3 川越栗橋線(府川) 交差点整備(L=340m、W=9.0(17.5)m)
- 4 川越越生線(的場) 自転車歩行者道整備(L=495m、W=6.0(14.0)m)
- 5 川越栗橋線(府川) 交通安全施設整備事業(L=340m、W=9.0(17.5)m)
- 6 川越日高線(笠幡) 社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=180m、W=8.8(12.0)m)
- 7 新琵琶橋(川越日高線) 橋りょう架換(L=200m、W=7.0(15.0)m)
- 8 川越越生線(天沼新田) 舗装道整備(舗装修繕、W=10.9m、L=300m)
- 9 国道254号(南田島) 舗装道整備(舗装修繕、W=7.6m、L=210m)
- 10 川越越生線(上戸) 舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=250m)
- 11 川越日高線(笠幡) 舗装道整備(舗装修繕、W=7m、L=300m)
- 12 川越新座線(久下戸) 舗装道整備(舗装修繕、W=7m、L=250m)
- 13 川越越生線(的場北) 舗装道整備(舗装修繕、W=5.9m、L=200m)
- 14 今福木野目線(牛子) 舗装道整備(舗装修繕、W=7m、L=500m)
- 15 鯨井狭山線(安比奈新田) 舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=300m)
- 16 国道254号(砂新田) 舗装道整備(舗装修繕、W=10.3m、L=300m)
- 17 国道254号(山田) 道路環境整備(防草対策工、L=1,000m)
- 18 南古谷停車場線(並木) 電線地中化(道路)整備(予備設計)
- 19 国道254号(南田島) 自転車通行環境整備
- 20 南古谷高架橋(国道254号) 橋りょう修繕(伸縮装置修繕)
- 21 小仙波③橋(国道254号) 橋りょう修繕(塗替え塗装)
- 22 落合橋(国道254号) 橋りょう修繕(橋面舗装)
- 23 小堤橋(川越越生線) 橋りょう修繕(ひび割れ補修)
- 24 月吉陸橋(川越日高線) 橋りょう修繕(補修設計)
- 25 川越大橋(川越上尾線) 橋りょう修繕(補修設計)
- 26 小仙波跨道橋(国道254号) 橋りょう修繕(桁修繕)
- 27 北山田歩道橋(国道254号) 橋りょう修繕(塗替え塗装)
- 28 小堤歩道橋(川越坂戸毛呂山線) 橋りょう修繕(塗替え塗装)
- 29 新河岸川 河川改修(測量設計、借地、橋梁架換工、用地買収)
- 30 九十川外 排水機場等維持修繕(ポンプ設備整備工、保守点検)
- 31 新河岸川 河川改修(河川管理施設修繕)
- 32 入間川 河川改修(河川管理施設修繕)
- 33 小畔川・南小畔川 河川改修(河川管理施設修繕)
- 34 小畔川 河川改修(河川管理施設修繕)
- 35 小畔川 河川改修(河川管理施設修繕)
- 36 新河岸川 河川改修(河川管理施設修繕)

令和5年度2月分補正予算(国の補正対応分)

路線名等 事業概要

- 補1 川越栗橋線(府川) 交通安全施設整備事業(L=340m、W=9.0(17.5)m)
- 補2 川越日高線(笠幡) 社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=180m、W=8.8(12.0)m)
- 補3 川越越生線(的場) 社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=495m、W=6.0(14.0)m)
- 補4 落合橋(国道254号) 橋りょう補修事業(橋面舗装、床版補修)
- 補5 雁見橋(川越坂戸毛呂山線) 橋りょう補修事業(ひび割れ補修)
- 補6 新河岸川 社会資本整備総合交付金(河川)事業(築堤工、護岸工、橋梁架換工)

かんがい排水事業(一般型) 伊佐沼代用水路地区の概要

伊佐沼代用水路は未だに土水路であるため、法面の崩壊等により水路機能に支障をきたしています。また、法面崩壊した箇所の部分的な補修や草刈り、土砂払いなど維持管理に苦慮している状況です。このため、用水路を整備することにより、維持管理の省力化及び農業経営の安定を図ります。



- #### 事業概要
- 1.事業名 県営かんがい排水事業(国事業:水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業簡易整備型))
 - 2.受益面積 243ha(田243ha)
 - 3.事業期間 令和5年度~令和10年度(予定)
 - 4.負担区分 国50%、県27.5%、市11.87%、地元10.63%
- #### 今後の予定
- 令和6年度 用水路改修L=0.4km
 - 令和7年度 以降用水路改修L=2.0km

かんがい排水事業(農村整備課) 用水路改修(老朽化対策)

農業用水の安定供給と維持管理の省力化を図るため、用水路の改修を行います。

【地区】伊佐沼代用水路地区(川越市)



大井通信所の周囲約1km区域が「特別注視区域」に指定されました。

川越市では、ふじみ野市に所在する防衛省大井通信所を中心とした周囲おおむね1kmの区域が「特別注視区域※」に指定され、令和6年1月15日から施行されました。

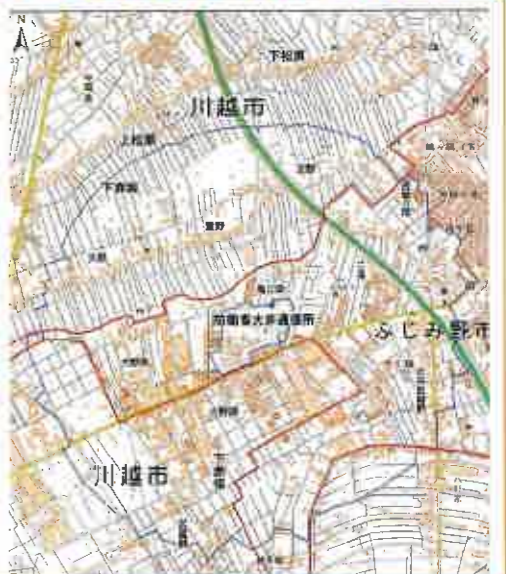
指定された区域内の土地・建物について、防衛関係施設等の機能を阻害する行為が行われていないか内閣府が調査を行うほか、「特別注視区域」内において面積が200㎡以上の土地・建物を売買等する際には届出が必要になります。

※特別注視区域とは一重要土地であって注視区域に指定されたもののうち、重要施設または国境離島等の機能が特に重要または阻害が容易であって機能の代替が困難である場合に指定される土地の区域。重要土地等調査規制法に基づき、内閣府が指定します。

■区域が所在する地域の町字
下松原・下赤坂・下赤坂(元大塚新田分)・下赤坂(元南大塚分)・上松原
※町字の「全部」または「一部」が、区域に包含されているものになります。

■区域の詳細やご不明な点などがある場合は、内閣府のホームページをご覧ください。内閣府のコールセンターまでお問い合わせください。

■内閣府重要土地等調査法コールセンター
TEL 0570-001-125(平日9時30分~17時30分)



らぽ〜と(rapport)とは「情報・報告・話し合う」という意味です。

埼玉県議会議員 北第4区(熊谷市)

らぽ〜と

杉田しげみ



県政報告

vol.15

発行日 2023年(令和5年)8月8日

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団

http://sugita-shigemi.com

封鎖資料



県行政を熊谷移転

【所属委員会】 常任委員会…県土都市整備委員会(委員長) / 特別委員会…公社事業対策特別委員会

2期目も杉田しげみは熊谷が元気であり続けるために信念を貫き通します!



▲県土都市整備委員長として委員会審査を進める。

猛暑の日が続いておりますが、皆さまにおかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。

多くの皆さまに支えられ、お陰様で県議会議員2期目を迎えることができました。選挙中、私たちは地域の皆さまから様々な「声」を頂きました。この「声」をしっかりと受け止め、「誰一人取り残さない」というSDGs理念に基づき、誰もが安心して豊かに暮らせる郷土・埼玉を築いていかなければと決意を新たにしています。

特に、国際情勢に左右されない「食料自給社会」の実現、そして危機管理・大規模災害対策のために

「行政の分散」を図り、県内の南北格差是正に取り組むことが、私に課せられた最も重要な課題と考えています。

今年度、私は「県土都市整備委員長」に就任し、特別委員会は「公社事業対策特別委員会」に所属することとなりました。熊谷に生まれ、育ち、暮らし、働いてよかった!と思えるまち、熊谷市民であることに誇りが持て、ワクワクドキドキできるまちづくりのために全力を尽くしてまいります。

埼玉県議会議員

杉田しげみ

県議会5月臨時会・6月定例会報告

大型補正予算約183億8千万円を議決

選挙後初となる県議会は5月23・24日の両日に「5月臨時会」が開催され、第1号補正予算183億8,387万9千円の計上等を議決しました。また、6月19日からは「6月定例会」が開催され、「埼玉県税条例の一部を改正する条例」などを議決し7月7日に閉会しました。

5月臨時会で議決した第1号補正予算は、国の「物価高克服に向けた追加策」に対応した、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者への支援策です。その概要は次の通りとなります。

- ①物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援 **46億7,877万8千円**
- ②物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援 **115億4,191万1千円**
- ③物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援 **21億6,319万円**

▶私が委員長を務める県土都市整備委員会の審査風景。



農業者等の免税軽油の利用環境改善へ

6月定例会で議決した「埼玉県税条例の一部を改正する条例」は、主に自動車税(環境性能割)と軽油引取税の改正です。

自動車税の改正は、地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率を決める燃費基準を段階的に引き上げるため

のものです。軽油引取税の改正は、原油価格の高騰を受け農業者等の税負担を軽減するとともに、県への報告制度を年1回に簡素化させることで、より免税軽油が利用しやすい環境となります。

(詳細は下表を参照)

埼玉県税条例の一部を改正する条例

条例の概要

概要

<自動車税(環境性能割)>

地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率の基となる燃費基準の達成度合いを段階的に引き上げる。

<軽油引取税>

トラクターや掘削機など公道を走らない車両の軽油は、免税を受けることが可能。この免税軽油の利用者のうち**農業者等**について、軽油購入数量等の報告頻度を緩和する。

○緩和の内容(購入数量が年間3キロリットル以下の場合)

現行		改正案
区分	報告頻度	
免税1年目	毎月	1年に一度
2年目以降	1年に一度	



軽油引取税の改正について

目的

原油価格の高騰を受け、**農業者等**の税負担を軽減するとともに、免税軽油を利用しやすい環境を整備する。

現状・課題

- ・軽油価格 令和5年5月 141.2円/ℓ (令和3年5月比+16.4円/ℓ)
- ・免税となった1年目は購入数量等が少量でも**毎月報告が必要**
▶ 繁忙期がある農業者等にとって事務負担が重い

県内の免税軽油利用者 農業従事者の約2%

改正による効果

<利用者にとって>

- ・免税による税負担の軽減 **1ℓにつき32.1円の軽減**
- ・免税手続に必要な事務負担の軽減 **毎月から年1回の報告に軽減**





4年ぶりの「通常開催」
 7月20日・21日・22日
八坂神社大祭
熊谷うちわ祭

宮内省の伝統と、熊谷人の心意気、大正の町日しかりの伝統を継ぎました。



今年も県議として祭事に参列し、最終日には大野知事をお迎えしました。今年の年番町である仲町区大総代 八木橋宏貴氏は「慎始敬終～初めを慎み 終わりを敬しむ～」のもと、最善を尽くされたとのこと。山車屋台の巡行や最終日の「曳っかわせ叩き合い」まで、熊谷人の熱い心意気のもと、3日間、大変多くの人で賑わいました。

「県民の安全・安心を」 県土都市整備委員長として、精力的に活動しています

県土都市整備委員会は、道路・河川事業、都市計画や住宅行政の推進、公園整備、治水対策等の所管事務調査を行っています。



利根川水系連合・総合水防演習 熊谷荒川緑地で開催された荒川北縁・南縁合同水防訓練 県土都市整備委員長として「久寿玉開披・祝賀パレード」に大野知事と共に来賓として出席

熊谷のため 地域のため 「皆さまのお声を聞きます。一緒に動きます！」



第74回「わんぱく相撲大会(夏場所)」。子ども達に元気をもらいました。次は11月に開催予定です。 雨模様の中、上川上長寿会の皆さまと、熊谷スポーツ文化公園の歌壇に花の苗を植えました。 埼玉バナソニックワイルドナイツ ファン交流イベント。大野知事からも激励をいただき「再びの最高峰へ」。 妻沼おふくちゃん会の会でのミニ県政報告。年4回の定例議会ごとに開催しています。

見逃さないで!
虐待 SOS
 虐待通報ダイヤル
#7171
 秘密厳守・24時間・365日
 くまがやオレンジハートの会(会長杉田しげみ)は2011年から児童虐待防止活動を続けています。

8月は道路ふれあい月間

道路を知ろう! 正しく利用しよう!

日常生活になくはならない道路。役割や重要性を知り、常に安全にきれいに利用するために、改めて道路について考えてみませんか?

県道路環境課 ☎ 048-830-5103

8月31日(木)まで! 参加するとプレゼントがもらえるかも? /

「道路ふれあい月間」イベント 道の駅クイズ

全5問のうち4問は道の駅の役割、最後の1問は道の駅にある一押し商品にまつわるクイズです。

- 道の駅で24時間利用可能なものは?
 ① 駐車場 ② トイレ ③ 両方 (駐車場及びトイレ)

実際に足を運んで、道の駅の役割や魅力を実感しよう!



彩の国ロードサポート制度

快適で美しい道路環境づくりを進めるために、活動団体、県、市町村、支援者が協力して、清掃や美化活動を行っています。



▲制度の詳細はこちら

引き続き 夢を実現してまいります

多くの皆さまにお支えいただき、4月9日投開票の県議選におきまして、14,305票をいただき、2期目の当選を果たすことができました。日々の活動の中、田畑の畦で農作業の手を止めて語りかけていただいた一言が、これからの議会活動の栄養素として体中に浸透してまいりました。とりも直さず、農業は私たちの生命線であり、国際情勢に左右されない、食料自給社会の早期実現を目指し、「農業の埼玉モデルづくり」を急ぎます。

「人の命を守る」ことは多くのテーマがあります。少子化・子育て・教育・高齢化社会等々の優先順位をつける必要はないと思いますが、「食べる」ことが一番でしょうか。今の農業は心配なことだらけです。引き続きのご指導をお願い申し上げます。

杉田茂実

県行政を熊谷へ移転!

子どもと女性が真ん中の社会を!

出陣式 3月31日

快晴の出陣式。だるまに目を入れて、いざ!



[八木橋 東口] 街頭演説 4月2日



大野県知事はじめ国会議員、県会議員の皆さまから激励をいただきました。お集まりいただいた多くの皆さまに「熊谷市と県北の発展のため、力を尽くします」とお約束しました。



土屋品子衆議院議員(左)、山口京子蓮田市市長(中)から、温かく力強い激励をいただきました。

[熊谷商工会館] 個人演説会 4月6日



熊谷商工会館にて。会場の空気がぐっつひとつにまとまりました。



[ピピア] 杉田しげみを 応援する会 2月26日

約700名の方からエールをいただきました。

打上式 (4月8日)

熊谷駅南口での打上式。冷たい風の吹く中、本当に多くの方々にお集まりいただき、感無量。皆さまの熱い声援が寒風を吹き飛ばしてくれました。

多くの皆さまのお支えにより、14,305票を獲得し、当選が決まりました。事務所にお集まりいただいた多くの皆さまに、心からの感謝と「熊谷のため」しっかりとお約束をしました。

投開票日 (4月9日夜)



各地域の集会においても、多くの皆さまから温かく熱い激励をいただきました。ありがとうございました。



主な県事業の進捗状況 報告

熊谷市内で進んでいる主な県事業の進捗状況をご報告します。



速報

6月定例会では県土都市整備委員長として、本会議において委員長報告を行いました(7月7日)。

■一般県道太田熊谷線 バリアフリー安全対策

安心して利用できる歩行空間を確保するため、バリアフリー整備を進めている。令和5年度は残り350m区間の工事を進め、事業を完了させる(予定)。



整備前

整備後

■福川の護岸修繕工事

令和5年度は江波橋上流左岸延長約168mの護岸修繕工事を予定。【施工時期】令和5年11月～令和6年3月(予定)



【参考】令和4年度実施箇所(上根橋上流右岸)

■一般国道407号新荒川大橋の耐震補強

令和4年度末時点で下部工18基のうち13基が完了し、令和5年度は1基の耐震補強(橋脚巻立工)を予定。また、過年度の点検結果を踏まえて修繕工事も予定している。



施工前

施工後

■県道青山熊谷線バイパス(東松山市岡～熊谷市中曾根)

和田吉野川に架かる(仮称)高本橋(延長:1,080m、幅員:15m)の工事が進められています。

■熊谷スポーツ文化公園

■再生可能エネルギーの導入(令和5年度(新規)500万円)

●都市公園における再生可能エネルギーの活用を推進するため、令和5年度は関連施設の設置工事に向けた詳細設計、令和6年度は工事を実施する(予定)。①年間消費電力の約20%を再生エネで対応。②民間が設置する再生エネ発電施設と県が設置する蓄電設備を連携させ、平常時の夜間電力及び災害時の電力として使用する」ことを想定している。



■照明設備更新工事(債務負担行為:3億2,676万円)

●陸上競技場及びくまがやドームにおいて照明設備をLED灯に更新する(令和5年度から令和6年度)。

■農業基盤整備事業箇所(令和5年度)

かんがい排水事業(長寿命化対策)	中条皇宮(上中条ほか)	地下水機場補修 1箇所 堰上ゲート更新 2箇所
かんがい排水事業(長寿命化対策)	男沼排水機場2期(男沼台ほか)	現地測量 1式 実施設計 1式 (令和5年度新規)
ほ場整備事業(経営体育成型)	池上(池上)	換地業務 1式
ほ場整備事業(経営体育成型)	下増田(下増田)	区画整理等 1.3ha
農地防災事業(河川応急)	真栄渡(沼黒ほか)	ゴム堤製作工 1式 家屋調査 1式
農地防災事業(河川応急)	上須戸(上須戸)	鋼製起伏堤製作工 1式 家屋調査 1式
彩の国ゆたかなむらづくり整備事業	柴・千代(柴ほか)	(機能強化)管路施設 1式 中継ポンプ 3箇所 実施設計 1式
彩の国ゆたかなむらづくり整備事業	上新田(上新田)	(機能強化)実施設計 1式(令和5年度新規)



ほ場整備事業(下増田)

2023 彩の国 3年ぶり、今年は熊谷で開催!!

食と農林業ドリームフェスタ

2019彩の国 食と農林業ドリームフェスタ

暮らしのとなりが産地です。～近いがうまい 埼玉産～

■日時: 11月25日(土)～26日(日)

■会場: 熊谷スポーツ文化公園 にぎわい広場

(式典: 11月25日(土) 11:00～12:00)

皆さまのお越しをお待ちしています。 ※詳細は随時発表されます。

シェイクアウト埼玉

県内一斉防災訓練

令和5年9月1日 11時58分

あなたがいるその場所で

3つの安全行動をその場で行うだけ!

- 1 まず低く
- 2 頭を守り
- 3 動かない

シェイクアウト訓練のあとは プラスワン

- ・災害用伝言ダイヤル(171)の継続利用
- ・避難場所の確認
- ・マイタイムラインの作成
- ・避難経路の確認
- ・備蓄品の確認 etc

埼玉県議会 防災・危機管理課

皆さまのご参加をお願いいたします。

お茶懇

杉田しげみの お茶でも飲みながら

よい仕事の場や学びの場があり、よい仲間がいる。
よい居住環境のもと、自然と風土を大切にしながら、よい文化をつくり共有したい。そして何より、よい行政があること。
杉田しげみが目指す地域づくりに皆さまの声をお聞かせください。
お茶でも飲みながら 一緒にお話しませんか!?

杉田茂実プロフィール

- ・昭和28年 熊谷市(旧江南町)生まれ
- ・平成19年 熊谷市議会議員初当選
- ・平成23年 熊谷市議会議員2期目当選
- ・平成31年 埼玉県議会議員初当選
- ・くまがやオレンジワートの会 会長(子ども虐待防止活動)
- ・保護司
- ・PDWC高校生イベント世界交流大会 副会長
- ・比企丘陵農業遺産推進協議会(※) 幹事会幹事
- (※)「ため池活用推進法」を日本・世界農業遺産に申請する協議会

携帯:090-3211-6225

天花粉(てんかふん)

しげみのひこう言

黄烏瓜(きからずり)のことを「天瓜(てんか)」ともいいました。その根からとれる濃粉が「天花粉」です。真っ白な「天花粉」はまるで雪の粉のよう。雪のことを「天花(てんか)」ともいいます。雪の結晶を天から降ってくる花に見立てた異名です。そこで「天花粉」と書くようになったのだそうです。こんなに素敵な命名だったとは...。汗疹(あせも)の予防に重宝されたことを覚えている方も多いのではないのでしょうか。まず「天花粉」をご存じでしたか。まだまだ夏の代名詞のひとつで人気者です。

埼玉県議会 自由民主党県政調査事務所
埼玉県議会議員 杉田茂実事務所
〒360-0042 埼玉県熊谷市本町1-181
Tel. 048-526-1313
Fax. 048-522-1218 E-mail: s@sugita-shigemi.com

【個人情報の取扱いに関するお知らせ】 ご加入される皆さまの個人情報は本会の目的以外には使用しません。ご紹介によりご加入頂きました方につきましては、ご本人の同意を得たものと理解させていただきます。

ら・ぽ〜と (rapport) とは「情報・調和・話し合う」という意味です。

埼玉県議会議員 北第4区(熊谷市)

ら・ぽ〜と

県政報告 vol.16

発行日 2023年(令和5年)11月5日

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団

http://sugita-shigemi.com

討論資料



県行政を熊谷移転



【所属委員会】 常任委員会…県土都市整備委員会(委員長) / 特別委員会…公社事業対策特別委員会



県土都市整備委員会委員長として、令和元年東日本台風で甚大な被害が発生した「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」による国・県・市が一体的に対策を実施している、国交省 千曲川河川事務所 治水対策箇所を視察しました。本県においても、流域治水に取り組んでいることから、今後の施策推進の参考といたします。

県議会9月定例会報告

補正予算【第2号】 165億1,057万9千円

コロナ支援継続・重要公共事業の追加・eスポーツ普及へ

県議会9月定例会は9月22日から10月13日にかけて開催され、一般会計補正予算【第2号】165億1,057万9千円の計上等を議決しました。

補正予算の主な内容は、高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続のための予算として69億4,946万6千円、重要な公共事業の追加予算として21億6,345万3千円、企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大のためのイベント開催に要する予算として1,062万9千円など、当面对応すべき事業に対する補正予算が盛り込まれました。

埼玉県議会議員 **杉田茂実**

公共事業の追加

21億6,345万3千円

概要

公共事業の内定増に伴う追加工事の実施…35箇所

- 公園事業…1箇所
熊谷スポーツ文化公園(熊谷市) / 損傷の激しい駐車場舗装の改修を実施
 - 道路・街路事業…21箇所
〈例〉越谷野田線(松伏町) / 地盤改良工事
 - 河川事業…13箇所
〈例〉飯盛川(坂戸市) / 排水機場整備工事、用地買収
- ※上記記載3工事とも工事着手を前倒しし、令和5年10月予定となります。(令和6年4月予定から変更)



eスポーツの普及・裾野拡大

1,062万9千円

企業版ふるさと納税を活用!

概要

eスポーツの普及・裾野拡大に向け、その地域活性化など多彩な可能性を実証するため、2つのイベントを開催



普及イベント

- 対象: 誰もが参加可能(参加無料)
- 内容: ・プロ選手エキシビジョンマッチ・ビギナー向け体験会
・プロ選手との交流会等

トレーニングキャンプ

●対象: 高校生(公募25名程)

- 内容: ・プロチームによる指導(操作技術、戦術等)
・メンタル、食事等指導・学校関係者、県内企業の見学受入れ等

シェイクアウト埼玉へのご参加、ありがとうございました。

■実施日: 令和5年9月1日 11時58分～ ■参加人数: 594,476人

関東大震災から100年を契機に、県議会の呼びかけで、県民をはじめ県内在勤・在学の方の「自助」「共助」の意識向上をめざし、シェイクアウト埼玉(埼玉県内一斉防災訓練)を実施させていただきました。多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。

県民の日記念行事

暮らしのとなりが産地です。

近いがうまい 埼玉産

2023 彩の国 食と農林業 ドリームフェスタ

4年ぶりの開催!

令和5年 **11/25±26日** 入場無料

AM10:00▶PM3:00 雨天決行

主催: 農林産物加工品卸売、農林水産産物紹介、畜産相産木工教室、アトラクション

会場: 熊谷市 熊谷スポーツ文化公園(にぎわい広場) 住所: 熊谷市上川上300

お問い合わせ: 熊谷スポーツ文化公園管理事務所

TEL: 048-829-3309 (JA埼玉南中央会内)

県会議員として熊谷市と県北地域発展のため全力で!

「学びを県政に生かします」県外視察

県土都市整備委員会

国・県・市町村一体の防災・減災対策を推進
 長野市 千曲川河川事務所 ①
千曲川の流域治水対策
 公園の魅力向上と周辺地域の活性化
 小諸市 飯綱山公園「スタラス小諸」
 公共事業における**Park-PFI等の民間活用**



千曲川では水位低減を図る河道掘削や粘り強い河川堤防事業等を推進

公共事業対策委員会

企業版ふるさと納税等により財源を確保
 盛岡市 盛岡市動物園ZOOMO ②
 出資法人における**経営改善の取組**
 多様な公民連携手法(P P P)
 紫波町「オガール」 ③
 出資法人における**公民連携の取組**



多くの来場者があるZOOMO 公民連携手法を活用しているオガール

熊谷市内 各地域で「皆さまのお声を聞きます・動きます」



今こそみんなで守る子どもの今と未来

「ご参加ください」(子ども虐待防止)
オレンジリボン活動

児童虐待防止推進月間
 熊谷市が11月のキャンペーン期間、熊谷駅をシンボルカラーのオレンジに染めてくれました。



「くまがやオレンジハートの会(会長 杉田茂実)」では、2011年から子ども虐待防止活動に取り組んでいます。

「悩んだら、すぐに電話を!」
 最寄りの児童相談所が話を伺います。
 ●子育てがつらくてイライラしてしまふ
 ●虐待を受けているかもしれない子供がいる など
 児童相談所虐待対応ダイヤル
 189 (24時間・365日対応)
 緊急の場合は、110番通報を!!
 (「おの国」より11月号より)

“楽しみながら 魅力を満喫!”
11月14日は 県民の日
 県庁を開放する「県庁オープンデー」には、11月23日公開の映画「翔んで埼玉〜琵琶湖より愛をこめて〜」主演のGACKTさん・二階堂ふみさんを招き、500人を招待してのスペシャルステージを開催。
 県内およそ60か所の施設でも協賛事業を実施しています。お出かけしてみませんか?
 協賛事業一覧

県議会12月定例会で一般質問に立ちます 12月14日(木)予定

※日程は変更になる場合があります

❖ 傍聴にご参加ください。お問合せは杉田茂実事務所まで ❖ 県政・地域の問題などがありましたら、ご意見をお聞かせください。

杉田しげみの
お茶でも飲みながら
 よい仕事の場や学びの場があり、よい仲間がいる。
 よい居住環境のもと、自然と風土を大切にしながら、よい文化をつくり共有したい。そして何より、よい行政があること。
 杉田しげみが目指す地域づくりに皆さまのお声を聞かせください。
 お茶でも飲みながら 一緒にお話しませんか?!

杉田茂実プロフィール

- 平成19年 熊谷市議会議員初当選
- 平成23年 熊谷市議会議員2期目当選
- 平成31年 埼玉県議会議員初当選
- 令和 5年 埼玉県議会議員2期目当選
- くまがやオレンジハートの会 会長 (子ども虐待防止活動)
- 保護司・PDWC高校生ディベート世界交流大会 副会長
- 社企丘陵農業遺産推進協議会(※) 幹事会幹事 (※)「たの地産物産法」を日本・世界農業遺産に申請する協議会

2023.1.17「日本農業遺産」認定
 携帯:090-3211-6225

人生の幸せは後半にあり
 敬愛する、帯津良一先生著「素晴らしき哉、80代」にふれました。先生はホリスティック医学界の先駆者であり代名詞です。私にとっては良質な自然食のような存在です。既に30年程お目にかかれておりませんが...
 人生の幸せは後半にあり。そして、五木寛之氏曰く「70代は大人の黄金期」さて、私の人生もこの様にありたいと養生を重ねます。養生の秘訣は己をつつみ、相手を敬うこと。胸に刻み込みます。

しげみのひとり言

埼玉県議会 自由民主党県政調査事務所
 埼玉県議会議員 **杉田茂実事務所**
 〒360-0042 埼玉県熊谷市本町1-181
 Tel. 048-526-1313
 Fax. 048-522-1218 E-mail: s@sugita-shigemi.com
杉田しげみ 検索

【個人情報取扱いに関するお知らせ】ご加入される皆さまの個人情報は本会の目的以外には使用しません。ご紹介によりご加入頂きました方につきましては、ご本人の同意を得たものと理解させていただきます。

らぽ〜と (rapport) とは「信頼・調和・話し合う」という意味です。

埼玉県議会議員

北第4区(熊谷市)

らぽ〜と

杉田しげみ



県政報告

vol.17

発行日 2024年(令和6年)1月1日

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団

http://sugita-shigemi.com

討議資料



県北地域の更なる活性化へ

【所属委員会】 常任委員会…県土都市整備委員会(委員長) / 特別委員会…公社事業対策特別委員会、予算特別委員会

～杉田しげみが提案し続けてきた～

熊谷県北の最重要課題実現へ!!

災害時のリスク回避・南北格差の是正に向け 北部地域振興交流拠点の整備による北部地域の活性化

熊谷市本町の「コミュニティひろば」に整備する北部地域振興交流拠点事業の整備に向けた来年度当初予算(案)に盛り込む準備を進めています。

大野知事は県議会で「県庁舎の再整備に先立ち、先行モデルとして北部拠点を検討している」との考えを示しており、令和5年10月20日には県庁内



北部地域振興交流拠点(仮称)の整備が計画されているコミュニティひろば(熊谷市本町)

関係課等との総合調整を行う「第1回 北部地域振興交流拠点連絡調整会議」が、10月26日には県と市の関係職員による「第1回 北部地域産業振興施設等検討委員会」が行われ、具体的な検討が進められています。

私は、皆さまから県議会に送り出さずして以来、一貫して「危機管理・大規模災害対策のための南北格差の是正」に取り組んでまいりました。

私の最も重要とする課題が、今、実現に向け動き出しました。



大野元裕知事と連携して、北部地域振興交流拠点(仮称)の整備による北部地域の活性化に取り組んでいます。

リスクを回避し県北部に笑顔と活力を運ぶ

大規模災害やパンデミック時、県の機能が1ヶ所に集中している現状はリスクが高すぎます。北部地域振興交流拠点の整備は、県政のリスク回避のための必須条件だと私は考えます。

熊谷市内に点在している県の地域機関を集約し、熊谷市役所と一体化することでサービスのワンストップ化が図られます。また、DXの推進に伴い、県庁に行かなくても、同様のサービスを受けられることが可能となります。これにより、県南に集中していた人やモノの流れが変わり、それに伴う官民の情報の集積は、県北地域の存在感や資産価値を高め、周辺の商業地・住宅地に大きな波及効果をもたらすでしょう。新たな公共交通の創出へと発展する可能性も十分考えられます。この新しい潮流は、県北部の人々に笑顔と活力を運びます。

県議会12月
定例会報告

物価高への緊急支援に約115億円 猛暑被害の農家支援に約1億円を議決

県議会12月定例会は12月4日から22日の日程で開催され、一般会計補正予算【第3号】9,688万1千円、【第4号】18億1,140万4千円、【第5号】114億9,715万2千円等を議決しました。

補正予算【第3号】は、令和5年夏の猛暑による水稲、大豆の高温障害を受け、次期作作付けにかかる種苗や肥料購入経費を補助するための予算、補正予算【第4号】は、職員給与の改定等に伴う予算が主な内容となっています。

補正予算【第5号】は、物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するための、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づくものです。これまで県が進めてきた福祉・医療施設等への光熱費等の支援やLPガスを使う一般家庭への支援等に加え、トラック運送事業者に対する燃料費の支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減策、一人親家庭の子供の進学等への支援等が新たに盛り込まれました。



北部地域が元気になるための「北部地域振興交流拠点の整備について」

県議会 令和5年12月定例会

北部地域振興交流拠点の整備について

北部地域は県下随一の農産物の産地であり、ラグビーなどのスポーツが盛んで、豊かな自然環境や歴史・文化資源にも恵まれています。こうしたポテンシャルを最大限生かし、北部地域の活力を高めていくには、県の本気度を示す思い切った政策が不可欠と考えます。



全庁的な推進体制の必要性を提言

杉田しづみ 南北格差を解消し、県土の均衡ある発展を実現する、これは県北部選出議員である私のライフワークであり、アイデンティティともいえる最重要テーマです。その背景には、北部地域の将来に対する切実な思いと、強い危機感があります。

知事は令和5年2月定例会において、「北部地域振興交流拠点」を県庁舎再整備の先行モデルと位置付け、新たな働き方や県庁の未来の姿を見せるショールームとして先行整備する意向を表明しました。地元熊谷市で11月22日に「市議会全員協議会」が開催され、県の北部拠点の検討と並行して、市庁舎の在り方を検討する方針が発表されました。県と市がしっかりと手を携え、「北部地域振興交流拠点」の1日も早い整備・開業の実現に向けて取り組むことが重要です。県はどのような推進体制で取り組むのか、知事の所見を伺います。

大野知事 令和5年9月、企画財政部を中心に部局横断のプロジェクトチームを立ち上げました。未来の県庁の先行モデルとなるデザインを描きたいと考えています。また、令和5年9月に県と熊谷市で構成する北部地域振興交流拠点連絡調整会議を立ち上げ、10月に第1回の会議を開催し、新たな時代の要請を踏まえた施設整備を目指していく方針を確認しました。県と市の思いや課題を共有し、連携しながら早期整備への道筋をつけてまいります。



北部地域の活性化に向けた取り組みについて

杉田しづみ 地域の経済活性化に真に必要な機能とは何か、原点に立ち返って考え直すべきではないでしょうか。地域で活躍できる人材を育成・確保するために、北部拠点が果たすべき役割があるはずです。北部地域の活性化に向けた取り組みはどう変わるのか、知事の考えを伺います。

大野知事 令和4年度、有識者や地元熊谷市の関係者等で構成する北部地域産業振興機能検討委員会を設置し、議論を重ねてきました。その結果「創業支援、人材育成、研究開発・経営支援、交流促進・情報発信」の4つの機能を導入すべきとの提言をいただきました。そこで、北部地域の強みでもある農業や食品関連産業の視点とデジタル技術の活用を加え、地域の活力を生み出したと考えています。スピード感をもって全庁的な検討を進め、北部地域の活性化につなげてまいります。



分散する地域機関の集約を提言

杉田しづみ 知事は先の9月定例会において、「将来的には、地域機関を含めた庁舎の規模や機能、立地など組織の在り方も大きく変えていく可能性が出てくる。先行するモデルとして、北部地域に点在している地域機関を「北部地域振興交流拠点」に集約できないか検討したい」と答弁されました。熊谷市には、地域振興センター、県土整備事務所、農林振興センター等、各部局の地域機関が立地しています。しかし各機関が分散立地し効率的な配置になっていません。地域機関を集約すれば、県民の利便性も高まります。地域機関の集約について知事に伺います。

大野知事 地域機関の集約による建設コストの縮減をはじめ、複数のサービスをワンストップで利用できるようになるなどのメリットが期待できます。一方、今後DXが進むことで地域機関の仕事の在り方も変わる可能性があり、現在地域機関で行っている業務を本庁に、逆に本庁業務を地域機関に移せないかなど、大胆な発想で検討する必要があります。北部地域振興交流拠点の整備と併せて、地域機関の最適な配置の在り方を検討してまいります。



未来型オフィスの在り方について

杉田しづみ 知事は「新たな働き方や県庁の未来の姿を見せるショールームとして、「北部地域振興交流拠点」を先行整備する」と発言しています。未来の県庁の先行モデルが、まず北部地域でお披露目となることは大変誇らしいことで、大きく期待が膨らみます。北部拠点において整備しようとしているオフィスの在り方や職員の働き方について、知事の描いているイメージについて伺います。

大野知事 未来型オフィスとは、デジタルツールやモダンな設備を導入したオフィスのことではありません。DXを前提に仕事のやり方を根本から見直し、県民が求めるサービスを的確に提供でき、働きやすく生産性を引き出せるオフィスを目指しています。例えば、アクティビティ・ベースド・ワーキングに対応したオフィスの実現により、作業に集中したい時は個室のブースと、開放的なミーティングスペースなどを柔軟に選択できるようにし、職員的能力を最大限引き出し、生産性の向上につなげてまいります。未来の県庁のショールームである北部地域振興交流拠点において展開していきたいと考えています。

もっと発展できる本格的な農業県埼玉を目指して

政府は令和5年6月に食料・農業・農村基本法の見直しの指針となる「新たな展開方向」を示しました。生産や流通、販売など各段階の関係者が適正な価格転嫁を進めるための仕組みを創設するようです。埼玉県農業の未来を切り拓くためには、改正基本法の先取りをする位の準備に取り組むべきと提言しました。



県の目指す農業の姿とは

杉田しづみ 令和5年6月、政府は食料・農業・農村基本法の見直しの指針となる「新たな展開方向」を示しました。見直しの目玉の1つに「適正な価格形成」があります。旧来の価格政策から脱却し、適正化に向けた法制化を進め、適正な価格転嫁を進めるための仕組みを創設するようです。また、基本法の見直しの本丸はスマート農業の推進のようです。この2法だけでも農業の問題点の多くが解決に向かうのではないのでしょうか。とにかくスピード感を持って推進し、額縁に入った絵から、圃場に飛び出してほしいのです。崖っ淵に立たされている農業、県には改正基本法の先取りをする位の準備に取り組んでいただきたいと思えます。

生命の根幹である食を安定的に支えることは行政の役割であり、そのために地域農業の維持・活性化を図ることは、県の重要な使命です。埼玉農業は、産地イコール大消費地という好立地下にあります。また災害時には大都市住民の食料を支えるという、重要な役割があります。県はどのような農業の姿を目指し、何に力を入れていくのか、知事の考えを伺います。

大野知事 生産現場の近くに大消費地があるという本県の強みを生かして収益性を向上させ、儲かる農業の実現を目指します。生産面ではスマート農業技術の普及や農地の集約・集積、農業生産基盤の整備などに加え、収益性の高い作物への転換に力を入れていきたい。販売面では大都市圏への販路拡大と輸出の促進に力を入れ、儲かる農業を推進してまいります。



農業の振興を進めるため予算確保を

杉田しづみ 本格的な農業県に向けて、農業の振興を力強く進めていくためには、県が予算を安定的に確保して支えることが重要です。今後、しっかり予算を確保してほしいと思いますが、知事の考えを伺います。

大野知事 農業予算については、厳しい財政状況ではありますが、本県農業を更に振興し持続的発展を図るため、農業者の声を伺いながら生産現場の課題を的確に把握し、必要な予算を措置してまいります。



支援策を組み合わせ後押しすることが重要

杉田しづみ 農業の担い手を確保していくためには、販売支援、農地、生産資材の安定確保や新技術・新品種の開発・導入、生産基盤整備などの施策を組み合わせ後押ししていくことが重要です。そして県の支援策をもっと見える形にしていくことが必要と考えますが所見を伺います。

農林部長 本県では、生産から販売までの研修を行う「明日の農業担い手育成塾」をはじめ、栽培技術の習得や農地の取得、資金確保などの様々な新規就農支援策を講じ、これまでも就農支援ガイドや優良事例のホームページでの紹介、就農相談時の情報提供を行ってきました。今後は、県の女性キャリアセンターと連携した女性の就農希望者への情報提供、SNSを活用した新規就農者の事例の情報発信を検討するなど、一層の見える化に取り組んでまいります。

流拠点の整備について」など6項目を質問・提言!!

一般質問に登壇



地元問題について

利根川新橋アクセス道路整備の早期実現を

杉田しげみ 利根川新橋建設の実現に向けては、地元住民で組織する市民の会及び「利根川新橋建設促進期成同盟会」が長年、埼玉県および群馬県への要望活動を続け、私も地元議員として活動をしてまいりました。こうした地道な努力の結果、県では令和5年度当初予算に調査費が計上され、群馬県でも令和5年度9月補正予算が計上されたところです。

利根川新橋及びアクセス道路の整備は、利根川上流の国道407号刀水橋の渋滞緩和だけでなく、周辺地域の観光や産業の振興、防災力の向上など多岐に渡って大きな効果が見込まれます。道路整備の早期実現に向け、現在の取り組み状況と今後の予定について伺います。

国土交通部長 利根川新橋については、埼玉県と群馬県で協定を締結し、令和5年度内に測量に着手する予定です。新橋へのアクセス道路については、現在ルートを検討を進めており、令和5年度に測量に着手します。今後とも、道路整備の早期実現に向けて鋭意取り組んでまいります。

県道青山熊谷線バイパスの早期整備を

杉田しげみ この県道は、熊谷市東部地域と東松山市方面を結ぶ、熊谷、東松山両市民の生活を支える道路です。現在、県ではこの道路のバイパスとして、熊谷市道大里70号線から先の区間の整備を進めていますが、道路はつながってこそ、その効果が発揮されます。早期にバイパスを開通させ、現道は地域の生活道路として安全に通行できるようにしていただきたい。県道青山熊谷線バイパスの事業区間の現在の進捗状況と今後の見通しについて伺います。

国土交通部長 現在の用地買収率は92%で、工事は和田吉野川に架かる橋りょうの下部工事や国道407号との交差点部の道路改築工事を実施しており、進捗率は40%となります。令和5年度は、引き続き用地取得を進めるとともに、熊谷市側の橋りょう取付部の工事を実施します。今後とも、地元の皆さまのご理解・ご協力をいただきながら用地取得を進め、早期完成を目指し工事を実施してまいります。

教職員による児童生徒に対するわいせつ行為等の防止について

児童生徒が信頼を寄せている教職員による、弱い立場にあり、だれにも相談することもできない児童生徒に対するわいせつ行為は、将来のある児童生徒の心に深い傷を残す断じて許されない行為として、特に重要課題として取り組む必要があると考えます。

アクションプログラム改訂の経緯について

杉田しげみ アクションプログラムは令和5年5月に改訂されましたが、改訂に至った経緯について伺います。また、主な改訂事項について、これまでどのような取り組みがなされたのか伺います。

教育長 処分件数が減少せず、また環境の変化から新たな課題も見え、さらに令和4年に「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が施行され、この内容も取り入れプログラムを改訂しました。

現在、過去の不祥事について分析作業を進めるとともに、研修の在り方について検討を進めています。令和5年度中には分析結果をとりまとめ、研修資料に反映させるなど不祥事根絶に向け強力に取り組んでまいります。

相談ホットラインへの相談対応について

杉田しげみ 「教職員コンプライアンス相談ホットライン」について、令和3年度から現時点までの相談内容、そのうち教職員の児童生徒に対するわいせつ事案の件数と対応について伺います。

するわいせつ事案の件数と対応について伺います。

教育長 主な相談内容は教職員の児童生徒への指導や保護者への対応の在り方、職場内のハラスメントなどです。この内、わいせつ行為に関する相談は令和3年度が8件、令和4年度が18件、令和5年度はこれまでに2件ありました。相談があった場合には当該学校長などが事実確認を行い、児童生徒へのわいせつ行為が確認された場合は厳正に対処しています。

法制化が検討されている日本版DBSについて

杉田しげみ 日本版DBSは、子どもに関わる仕事に就く際、雇用主側に政府管理の性犯罪歴システムで性犯罪歴の確認を求める制度です。特に学校等は確認が義務付けられますが教育長の考えを伺います。

教育長 児童生徒に対するわいせつ行為等の防止に向けた方策の一つとして検討されていることは重要と考えます。制度が成立した場合には、この制度を含め、あらゆる取り組みを通じてわいせつ行為等の根絶を図ってまいります。

社会的養育における家庭養育の推進について

子供たちにとって、特定の信頼できる大人がそばにいることは、愛着形成や自己肯定感を高めることにつながり、子供の健やかな成長に大変重要だと考えており、私は地域の皆さまとオレンジリボン活動を14年間続けています。

里親32%達成に向け取り組み強化を提言

杉田しげみ 県は里親等委託率を令和6年度末までに32%にするとしています。目標を達成するためどう取り組んでいくのか伺います。

福祉部長 これまでの取り組みを引き続き進めるとともに、普及啓発をあらゆる媒体を活用して行い、里親会や施設関係者などと連携して、効果的な取り組みについての検討、事業の一層の推進を図ってまいります。また国は各都道府県に「里親支援センター」の設置を求めており、今後検討を進めます。

里親委託強化推進員の成果について

杉田しげみ 県では里親委託強化推進員を児童相談所に配置していますが、これまでにどのような成果があったのか伺います。

福祉部長 里親委託強化推進員は、里親への委託を説得する役割を担っています。令和元年度から児童相談所に配置し、これまで里親委託に不同意であった82世帯に丁寧に説明した結果、42世帯が同意され、18人の子どもが里親委託につながっています。引き続き里親委託率の向上に努めてまいります。

信号機を始めとする交通安全施設の適切な整備について

交通事故を無くすためには、信号機等の交通環境を適切に整備することが重要です。令和5年10月、警察庁は「持続可能な交通規制の推進について」として、「既存の交通安全施設等を漫然と維持するのではなく、限られた予算等の資源を重要性・必要性に応じて最適な形で配分することが重要」と全国の警察に通達しました。

適切な交通安全施設整備の重要性を提言

杉田しげみ 交通事故を無くすためには、交通安全意識を高めるだけでなく、交通環境を適切に整備することが重要です。そこで1点目として、信号機等の交通安全施設の整備状況について伺います。2点目は、交通安全施設を維持管理するためには、必要性の低下した交通安全施設の撤去も検討が必要です。信号機の撤去の状況について伺います。3点目に、交通安全施設の整備について今後どのように取り組んでいくのか伺います。

福祉部長 信号機は令和4年度末現在、前年から10基増加し10,385基となります。路側標識は36万730本、横断歩道は6万2,653本が整備され、年々増加しています。撤去に関しては、令和元年度より点検を実施し、これまでに287基が撤去可能な信号機となり、令和4年度末までに52基の撤去が完了しました。

なお、信号機を撤去した6交差点について、一時停止の新設など代替の安全対策を実施しています。今後の交通安全施設の整備については、中長期的な視点に立った交通安全施設の管理を強力に推進し、持続可能な交通安全施設の整備に努めてまいります。

熊谷と県北地域の発展のため一般質問

録画映像
ご覧に
なれます▶



「北部地域振興交流拠点の整備について」をはじめ 全6項目を質問(内容は中面をご覧ください)

さらなる



埼玉県議会 本会議場にて(令和5年12月14日)



北部地域振興交流拠点(コミュニティひろば)整備、農業、教育、福祉、地元問題など6項目を質問。地元熊谷市から小林市長、須永議長・市議の皆さま(左写真)、そして多くの後援会の皆さまに傍聴にお越しいただきました。終了後のセレモニーでは、大野知事をはじめ立石議長、自民党県議団 田村団長と団役員の皆さまから熱い激励をいただきました。

県土都市整備委員長として

熊谷市内 各地域へ「お声を聞き、実現します」

下水汚泥の肥料化施設等を視察
(佐賀市下水道浄化センター)



「三郷流山橋有料道路開通記念式典」に来賓として参列



大野知事を来賓にお迎えして開催された「食と農林業の祭典(ドリームフェスタ)」「熊谷スポーツ文化公園」にて



熊谷市歯科医師会 創立90周年記念式典



県消防協会熊谷支部 消防特別点検



第46回 農業大学校祭



杉田しげみの提案で9年越しに実現!
「日本農業遺産」認定 記念講演会
杉田しげみが9年前に着目し「ため池を利用した比企地域の伝統農法を日本農業遺産に」と提案。推進協議会幹事として活動を続け、昨年1月に念願かない、認定を受けました。「強い農業」に向けて、さらに頑張ります。

くまがやオレンジハートの会(会長 杉田茂実) (子ども虐待防止) オレンジリボン活動

歯止めかからぬ子ども虐待 「一緒に活動しませんか」
杉田しげみは2011年から「オレンジリボン活動」に取り組んでいますが、子ども家庭庁の発表(2023年9月速報値)によると、令和4年度の児童相談所の児童虐待相談対応件数は21万9170件で過去最多。埼玉県でも対前年度比1142件増と、残念ながら歯止めがかからない状況です。引き続き、活動を続けていきます。



「1人で多くの方に」熊谷市産業祭で啓発活動



映画「189(いちばやく)」を涙の中で鑑賞

私(杉田しげみ)の役割と活動

「少年よ、世界を小とせよ」(石坂養平の言葉)

“地球の未来を担う高校生の国際交流を実現”

PDWC2024 (高校生パラメンタリー) デイバート世界交流大会



杉田茂実は「一般社団法人WakuPro」理事として、仲臺和子会長と共に、「高校生パラメンタリー・ディベート世界大会」の副会長を務めています。この大会は、世界十数か国のトップ校から招聘した高校生達と選抜された日本の高校生達が、パラメンタリー・ディベートを通して国際文化交流を行うもので、今回が9回目の開催。「WakuWaku」体験と「友情」がこれからの世界を大きく変えるキッカケになるかもしれません。引き続き、応援していきます。



会長 仲臺和子 副会長 杉田茂実
WakuPro代表理事 WakuPro理事

若水

元日の朝に初めて汲む水を「若水」といいます。「清々しい命の胎動する水」で、命が若返るとされる縁起のよい水です。若水を汲むのは卯の上刻(午前5時~5時40分)まさに初日の昇らんとするところで、最も清々しく事前が胎動し始めるタイミング。この水をいただくと一年の邪気を祓うとされているようです。本年も、すべてに若々しくありたいです。大切な皆さまがお健やかな一年をすぐされますよう お祈りいたします。

しげみの
ひとり言



埼玉県議会 自由民主党県政調査事務所 〒360-0042 埼玉県熊谷市本町1-181
埼玉県議会議員 杉田茂実事務所

E-mail : s@sugita-shigemi.com
Tel. 048-526-1313 携帯: 090-3211-6225
Fax. 048-522-1218

杉田しげみ

検索

【個人情報の取扱いに関するお知らせ】 ご加入される皆さまの個人情報は本会の目的以外には使用しません。ご紹介によりご加入頂きました方につきましては、ご本人の同意を得たものと理解させていただきます。

らぽ〜と(rapport)とは「信頼・協和・話し合う」という意味です。

埼玉県議会議員

北第4区(熊谷市)

らぽ〜と

杉田しげみ



県政報告

vol.18

発行日 2024年(令和6年)春号

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団

http://sugita-shigemi.com

討議資料



県北地域の更なる活性化へ

【所属委員会】 常任委員会…産業労働企業委員会 / 特別委員会…自然再生・循環社会対策特別委員会 / 図書室委員会

県議会2月定例会

県民の安心・安全を追求し激甚化する自然災害と新たな危機への強固な備えに向けて

令和6年度一般会計予算

約2兆1,197億4千万円の計上を議決

県議会2月定例会(2月20日~3月27日)は、2月補正予算[第6号][第7号]及び、令和6年度一般会計当初予算2兆1,197億4,400万円等を議決しました。

埼玉県は今、人口減少・超少子高齢社会の到来、そして激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応という2つの大きな課題に直面しています。また、社会の在り方が変化し、多種多様な価値観が広がっている中、県民全ての人々が活躍でき、安心して暮らせる社会の実現が、一層強く求められています。

令和6年度当初予算は、これらの課題に真摯に挑戦する、未来を切り拓く内容となっています。「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け、これからも全力で動いてまいります。



令和6年2月定例会 予算特別委員会(3月12日)

お元気ですか

大地が春の到来を告げ、草木が一斉に芽吹く頃となりました。皆様におかれましては、お健やかにておすごしのことと拝察いたします。年度末から年度初めの時期は気ぜわしさもありますが、ワクワクドキドキさせてくれる希望の時でもあります。

さて、1月1日の「令和6年能登半島地震」の発生から3か月が経ちます。改めまして、尊い命を失われました方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げます。被災地では復旧復興が進んでいるものの、日常を取り戻すことは容易ではないはずです。災害はいつ起こることも限りません。

県民の安心・安全を守るため、生活に欠かすことのできないインフラである道路・河川(橋梁)の整備や維持管理、危機管理対応をより前へ進めなければならないことを、県土都市整備委員長として改めて学び直しました。

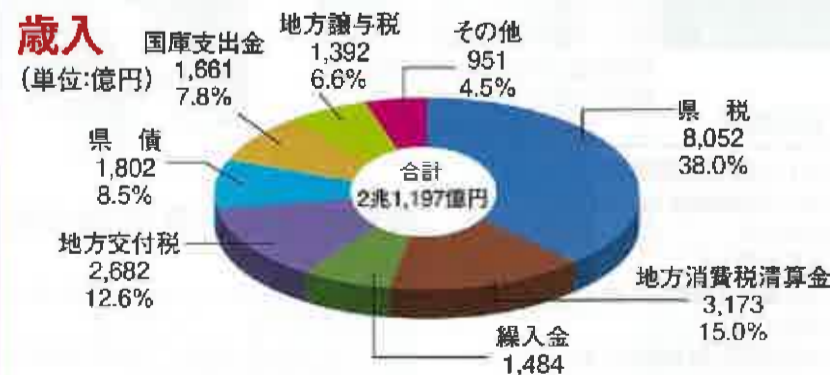
そして私の最大のテーマはやはり農業です。米国の環境活動家であるレスター・ブラウン氏は農業科学を研究し、「2030年頃に人類は食料不足による重大な危機に直面する」と警鐘を鳴らしておりました。

時おりしも、世界人口の増加による食料需要の増大や、気候変動による生産への重大な影響、紛争やテロはたまた感染症による物流の途絶など食料不足への条件が次から次へと押し寄せています。こんな状況のリスクヘッジとして「食料供給困難事態対策法」なる法案が今国会に提出されているようです。

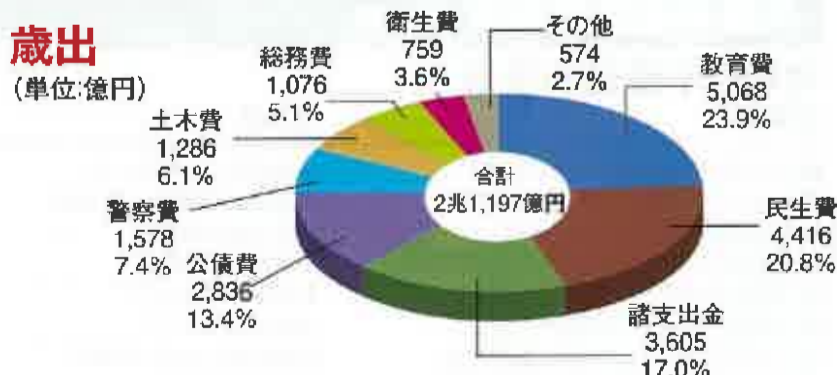
何としても農業を守り、若い就農者が他の産業と比較し十分な収入が得られる仕組みづくり、いわゆる「儲かる農業」への実現を急がなくてはなりません。誠心誠意、懸命に頑張ります。

杉田茂実

令和6年度一般会計当初予算



●県税収入は、個人県民税や法人二税など8,052億円を計上
 ●県債は、臨時財政対策債や緊急防災・減災事業債など1,802億円を計上
 ●国庫支出金は、義務教育費負担金や社会資本整備総合交付金など1,661億円を計上



●教育費は、教職員給与費や県立学校大規模改修費など5,068億円を計上
 ●民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金、新たな児童相談所の整備など4,416億円を計上
 ●諸支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、他会計への支出金など3,605億円を計上



進みます! 熊谷市内の県

令和6年2月定例会 県土整備委員会委員長報告

県土整備部

令和6年度当初予算

路線名等

- 1 深谷飯塚線(市ノ坪)
- 2 青山熊谷線
- 3 熊谷羽生線
- 4 葛和田新堀線
- 5 利根川新橋(熊谷館林線)
- 6 国道407号(中奈良)
- 7 太田熊谷線(箱田)
- 8 国道407号(弥藤吾)
- 9 武蔵丘陵森林公園広瀬線(平塚新田)
- 10 熊谷小川秩父線(江南中央)
- 11 弥藤吾行田線(上中条)
- 12 石原停車場線(石原)
- 13 国道407号(原島)
- 14 国道407号(中奈良)
- 15 国道407号(妻沼)
- 16 美土里町新堀線(美土里町)
- 17 国道407号(鎌倉町)
- 18 美土里町新堀線(美土里町)
- 19 刀水橋(国道407号)
- 20 新荒川大橋(国道407号)
- 21 熊谷大橋(武蔵丘陵森林公園広瀬線)
- 22 原島橋(右)(国道407号)
- 23 清水橋(下り)(国道407号)
- 24 久下橋熊谷高架橋(ランプ部・直線斜路)(青山熊谷線)
- 25 久下橋熊谷高架橋(青山熊谷線)
- 26 第二和田吉野橋(武蔵丘陵森林公園広瀬線)
- 27 久下橋大里高架橋(青山熊谷線)
- 28 榎町歩道橋(国道407号)
- 29 新荒川大橋(国道407号)
- 30 熊谷大橋(武蔵丘陵森林公園広瀬線)
- 31 押切橋(深谷東松山線)
- 32 新荒川大橋(国道407号)
- 33 原島橋(右)(国道407号)
- 34 星川
- 35 和田吉野川
- 36 和田川
- 37 福川
- 38 元荒川
- 39 岡排水機場(九頭龍川)
- 40 岡排水機場(九頭龍川)

事業概要

自転車歩行者道整備(L=460m、W=7.5(15.0)m)
 社会資本整備総合交付金(改良)事業(L=2,440m、W=6.5(15.0)m)
 道路改築(L=1,200m、W=13.0(25.0)m)
 道路改築(L=1,345m、W=6.0(12.0)m)
 道路改築(L=3,580m、W=6.5(12.0)m)
 舗装道整備(舗装修繕、W=6.5m、L=500m)
 舗装道整備(舗装修繕、W=6.8m、L=200m)
 舗装道整備(舗装修繕、W=6.5m、L=500m)
 舗装道整備(舗装修繕、W=3.3m、L=250m)
 舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=300m)
 舗装道整備(舗装修繕、W=6m、L=250m)
 道路環境整備(側溝修繕工、L=100m)
 道路環境整備(防草対策工、L=800m)
 道路環境整備(防草対策工、L=800m)
 道路環境整備(防草対策工、L=1,000m)
 電線地中化(道路)整備(本体管路工事)
 バリアフリー安全対策(波打ち改善)
 道路構造物維持事業(支障物件移設、本体管路工事)
 橋りょう修繕(伸縮装置修繕)
 橋りょう修繕(ひび割れ補修)
 橋りょう修繕(防護柵修繕)
 橋りょう修繕(ひび割れ補修)
 橋りょう修繕(ひび割れ補修)
 橋りょう修繕(ひび割れ補修)
 橋りょう修繕(補修設計)
 橋りょう修繕(補修設計)
 橋りょう修繕(補修設計)
 橋りょう修繕(補修設計)
 橋りょう修繕(橋面舗装)
 橋りょう修繕(橋脚補強)
 橋りょう修繕(環境調査、橋脚補強)
 橋りょう修繕(橋脚補強)
 橋りょう補修事業(ひび割れ補修)
 橋りょう補修事業(ひび割れ補修)
 河川改修(河道整備工、測量設計)
 河川改修(防護柵設置工、測量設計)
 河川改修(測量設計)
 河川改修(河川管理施設修繕)
 河川改修(河川管理施設修繕)
 河川施設震災対策(耐震工)
 河川改修事業
 (国庫補助、電気設備更新工)



耐震(橋脚補強)

21 30 熊谷大橋

(武蔵丘陵森林公園広瀬線)



耐震(橋脚補強、防護柵修繕)



令和5年度2月分補正予算(国の補正対応分)

路線名等

事業概要

- | | |
|---------------|-------------------------------------------|
| A 熊谷羽生線 | 社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,200m、W=13.0(25.0)m) |
| B 熊谷小川秩父線 | 社会資本整備総合交付金(維持)事業(舗装修繕、L=230m) |
| C 深谷東松山線 | 社会資本整備総合交付金(維持)事業(舗装修繕、L=230m) |
| D 刀水橋(国道407号) | 橋りょう補修事業(伸縮装置修繕) |
| E 押切橋(深谷東松山線) | 社会資本整備総合交付金(橋りょう維持)事業(橋脚補強) |
| F 和田吉野川 | 社会資本整備総合交付金(河川)事業(護岸工) |



令和6年2月定例会 予算特別委員会(3月12日)



護岸工

農業基盤整備事業(農林部)

令和6年度当初予算

事業名

箇所名

事業概要

- | | | |
|-----------------------|---------------|------------------|
| 1 かんがい排水事業(長寿命化対策) | 中条星宮(上中条ほか) | 地下水機場補修3箇所 |
| 2 かんがい排水事業(長寿命化対策) | 男沼排水機場2期(妻沼台) | ポンプ設備補修1式 |
| 3 ほ場整備事業(経営体育成型) | 池上(池上ほか) | 換地1式 |
| 4 ほ場整備事業(経営体育成型:機構関連) | 下増田(下増田) | 電柱移設1式 |
| 5 農地防災事業(河川応急) | 真栄堰(沼黒ほか) | ゴム堰製作掘付工1式、仮設工1式 |
| 6 農地防災事業(河川応急) | 上須戸環(上須戸) | 仮設工1式 |
| 7 彩の国ゆたかなむらづくり整備事業 | 中条星宮3(上中条ほか) | (機能強化)詳細設計1式 |
| 8 彩の国ゆたかなむらづくり整備事業 | 上新田(上新田) | (機能強化)詳細設計1式 |
| 9 彩の国ゆたかなむらづくり整備事業 | 柴・千代(柴ほか) | (機能強化)詳細設計1式 |

令和5年度2月分補正予算(国の)

事業名

箇所

- | | |
|-----------------------|----------|
| A ほ場整備事業(経営体育成型) | 池上(池上ほか) |
| B ほ場整備事業(経営体育成型:機構関連) | 下増田 |
| C 農地防災事業(河川応急) | 真栄堰 |
| D 農地防災事業(河川応急) | 上須戸 |

事業

私たちの安心・安全をまもるための
道路・河川(橋りょう)の
インフラ整備事業

生命産業である農業を守るため
「儲かる農業」の実現をめざした
農地基盤整備事業



① かんがい排水事業(中条星宮地区)

施設造成後約40年が経過し、設備の老朽化に対応するため、計画的な保全対策により施設の長寿命化を図っています。



水越地下水機場



大塚地下水機場

② かんがい排水事業(男沼排水機場2期地区)

設備の老朽化が著しいことから、早急な施設の保全対策工事を行い長寿命化を図ります。



男沼排水機場(全景)



男沼排水機場2号ポンプ原動機

③ ほ場整備事業(池上地区)

整備前

整備後



④ ほ場整備事業(下増田地区)

整備前

整備後



⑤ 農地防災事業(真栄堰地区)

真栄堰は設置から40年以上が経過し老朽化しておりことから、堰及び付帯施設を改修することで、周辺地域の安全確保、農業用水の安定供給及び農業経営の安定化を図ります。



真栄堰 倒伏状態



真栄堰 起伏状態

③A 熊谷羽生線



4車線化工事
(L=1,200m、W=13.0(25.0)m)

通殿川(中曽根)



浚渫箇所

忍川(戸出)



浚渫箇所

②⑨③② 新荒川大橋(国道407号)



耐震(橋脚補強、ひび割れ補修)

②③④ 熊谷スポーツ文化公園



くまがやドーム照明設備更新工事
くまがやドーム発電設備修繕工事

東地区大型遊具改修工事

陸上競技場照明設備更新工事
陸上競技場非常業務放送設備更新工事

② 青山熊谷線



道路改良工事業
(L=2,440m、
W=6.5(15.0)m)

補正対応分)

名	事業概要
也上ほか(下増田)	付帯工1式 区画整理等3.0ha
(沼黒ほか)	ゴム堰製作据付工1式
堰(上須戸)	鋼製起伏堰製作据付工1式

都市整備部

令和6年度当初予算

路線名等	事業概要
① 上之	公共団体区画整理事業県道整備(移転補償)
② 熊谷スポーツ文化公園	社会資本整備総合交付金(公園)事業(陸上競技場照明設備更新、くまがやドーム照明設備更新等)
③ 熊谷スポーツ文化公園	公園等施設整備(陸上競技場非常業務放送設備更新、東地区大型遊具改修等)
④ 熊谷スポーツ文化公園	公園等施設管理(くまがやドーム発電設備修繕等)
⑤ 荒川大麻生公園	公園等施設整備(木柵改修)

下水道局

令和6年度当初予算

路線名等	事業概要
元荒川幹線外	元荒川幹線外人孔浮上診断業務委託
元荒川幹線	元荒川幹線管渠人孔改築工事



令和6年2月定例会 県土都市整備委員会委員長報告

県会議員として熊谷市と県北地域発展のため全力で!



県土都市整備委員会で「一般国道140号大滝トンネル」を視察。原道の危険区域約7kmの区間を約2kmで通行でき、安心安全な道路になります。

「女性都道府県議会議員の会」を大雪の中、開催。三芳町長の世界農業遺産認定の講演。高校卒業資格を取得できる学校法人角川ドワンゴ学園 N高・S高(所沢市)の先生による勉強会。



令和6年3月16日 主要地方道「羽生外野栗橋線バイパス」が開通。走行時間の短縮と交通渋滞の緩和、災害発生時の避難等を支える防災機能の向上が期待できます。



今こそみんなで守る「一緒に活動しませんか」子ども虐待防止 オレンジリボン活動

子ども虐待防止 オレンジリボン活動
「くまがやオレンジハートの会(会長杉田しげみ)」は、2011年から活動を続けています。

第75回 全国植樹祭 埼玉 2025
「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」

開催場所 秩父ミュージアムパーク(秩父市・小鹿野町)
66年ぶりの埼玉開催。天皇皇后両陛下ご臨席のもと記念植樹等を行います。

令和7年 春季予定 (県HPより)

みんなで成功させよう!

康楽和親(こうらくわしん)

私が尊敬する故森田實先生が好んで揮毫されたこの成句を思い出しました。これは「人々が健康にして心安らかなる長寿を全うし、平和な、人々が親しく信じ合える社会をつくるのが政治の目的である」ということです。「健康にして心安らかなる長寿」とは、人間社会の最大の価値です。わが国では「少子高齢化社会」という言い方が広がりすぎたため、高齢化が社会の衰退というマイナスイメージと重なってしまっています。しかし「高齢化時代」の到来自体はたいへん素晴らしいことなのです。健康であれば人間は本来のもてる力を発揮できます。この力を本当に発揮できるようになるのは60歳、70歳代になってからかもしれません。この年代になると経験と知恵が身についています。若い時以上の忍耐力もあります。冷静です。中庸の心得があります。そして、悟りもあるのです。「健康にして心安らかなる長寿」を全うすることは、平凡なことのように見えますが、これこそ人間の最高の理想なのです。

しげみのひとり言

埼玉県議会 自由民主党県政調査事務所 〒360-0042 埼玉県熊谷市本町1-181 E-mail: s@sugita-shigemi.com
埼玉県議会議員 杉田茂実事務所 Tel. 048-526-1313 携帯: 090-3211-6225
Fax. 048-522-1218 杉田しげみ 検索

【個人情報の取扱いに関するお知らせ】 ご加入される皆さまの個人情報は本会の目的以外には使用しません。ご紹介によりご加入頂きました方につきましては、ご本人の同意を得たものと理解させていただきます。